

長崎歴史文化博物館 年報

平成21・22年度

目次

ごあいさつ	3
1. 沿革	4
2. 事業方針	6
3. 展示事業	
(1)企画展	10
(2)常設展	35
4. 教育普及事業	
(1)講演会・講座	36
(2)こども向けプログラム	40
(3)学校との連携	44
5. 地域連携事業	
(1)イベント	50
(2)ボランティア	53
6. 資料管理	
(1)収蔵資料・資料貸出	57
(2)資料修復	60
7. 調査研究事業	
(1)調査研究	71
(2)出版事業	73
(3)館外活動	74
8. 研修等	
(1)博物館実習	76
9. 広報マーケティング	
(1)新聞掲載実績	79
(2)広報印刷物	88
10. 来館者情報	
(1)来館者統計	91
(2)主な来訪者・出来事	92
11. 収支	93
12. 組織	
(1)職員	95
(2)ボランティア	97
(3)アドバイザー会議	98
(4)友の会	98
13. 建築概要	99
14. 関連法規	101

ごあいさつ



はや開館4周年、そして平成22年11月3日には満5周年になりました。これからが本番だと思いますが、ひとまず博物館としての基礎づくりはできたように思います。これには勿論、職員はじめ博物館運営にかかわるボランティア、スタッフ一同が懸命に取り組んできたこともさることながら、何といたしましては地域の皆様の心からのご支援によるものでありまして、心から感謝申し上げたいと存じます。

平成21年度における特記すべきことは、10月5日皇太子殿下の御来館を賜り、長崎奉行所の復元、常設展示等をご観覧の上、温かいお言葉をいただいたことであります。当博物館にとりまして大変光栄な一日でございました。事業は、企画展として長崎、九州、日本における鉄道の歩みを振り返る「大鉄道展」を皮切りに、地域展として「壱岐」を取りあげ、秋には日蘭400周年を記念し、1609年から幕末までの約250年間に及ぶ日本とオランダの交流の歴史を紹介する「阿蘭陀とNIPPON～レンブラントからシーボルトまで～」のほか、日本初の「道教の美術」展等を開催し、好評をいただきました。調査研究は、当博物館と交流協定締結館であるライデン国立民族学博物館所蔵の長崎関連資料調査以外は、長崎学研究が進展したとはいえ、なお研究体制の整備が課題として残りました。教育事業は、これまでの長崎学講座に加え、長崎学をより専門的に深める「エキスパート講座」を実施し、移動博物館「デリバリー・ミュージアム」や学校との連携事業「協力校・パートナーズプログラム」も徐々に効果が見えるようになってきました。

平成22年度は、当博物館にとりまして全国の人々の注目を高めた画期的な年になりました。NHK大河ドラマの放映に関連し、当館長崎奉行所を活用し、「長崎奉行所・龍馬伝館」を設置し、約47万人の観覧者を迎えるという成果を挙げることができたのであります。様々な課題を乗り越えて決断しましたが、長崎県や長崎市はじめ関係機関等のご支援なくしては成功できなかったと思います。長崎新聞社、NHK等と主催しました「実録・坂本龍馬展」「岩崎弥太郎展」「幕末長崎古写真展」などの企画展や、龍馬関連の多彩な教育プログラムの実施とも合わせ、22年1月から12月までの総入館者数が107万人を越すという驚異的ともいえる盛況さで、全国トップクラスになりました。多くの皆様のご支援を得て開館5周年で入館者300万人を迎え、まさに記念すべき年になりました。

また11月15日には、かねてから準備を進めて来ました中国福建博物院と当博物館との友好館交流協定締結書に、福建省において両館長が調印したことも重要な事項として挙げられます。これは平成24年に、長崎県・福建省交流30周年を迎えることを記する意味もあり、中村知事、福建省副省長立ち合いのもとサインしたものであります。グローバルな視点からの長崎学調査研究の準備に取り掛かる契機になりました。

平成22年4月から指定管理者制度に基づく運営が第2期目に入りましたが、博物館は経営形態のいかんにかかわらず、当然のことながらその全責任は館長にあります。従いまして館長を中心に、これからも地域社会との信頼関係構築を通して(館長を中心に)常に来館者の目線に立ち、未来を拓く博物館のさらなる進化を目指して参ります。

平成21年度、22年度に実践してきました記録として、ここに年報を作成いたしました。なにとぞご指摘・ご指導賜りますよう、お願い申し上げます。

平成23年6月

館長 大堀 哲

沿革

平成10年(1998)

11月18日 政策創造会議「諏訪の森部会」設置

平成11年(1999)

12月15日 「諏訪の森部会」最終提言

平成12年(2000)

11月30日 諏訪の森の再整備について(基本方針)公表

平成13年(2001)

1月15日 歴史文化博物館(仮称)基本構想専門家会議設置(3月報告書提出)

11月14日 県・市間で建設・管理運営等に関する覚書締結

11月16日 歴史文化博物館(仮称)基本構想(案)公表

12月27日 歴史文化博物館(仮称)基本構想策定

平成14年(2002)

2月22日 (株)乃村工藝社と展示設計業務委託契約締結

2月28日 (株)黒川紀章建築都市設計事務所と建設工事設計業務委託締結

平成15年(2003)

7月19日 起工式

平成16年(2004)

10月15日 長崎歴史文化博物館条例公布

平成17年(2005)

4月1日 (株)乃村工藝社を指定管理者として指定(指定期間:平成17年4月1日~平成22年3月31日5年間)

5月 博物館仮事務所開設

7月1日 大堀哲(日本ミュージアム・マネジメント学会会長)初代館長に就任

7月5日 長崎歴史文化博物館事業発表会

8月30~31日 建設工事、展示工事竣工

9月1日 博物館事務所開設式

11月3日 開館記念式典

開館記念特別展「長崎大万華鏡」開催(~1月9日)

12月12日 入場者数10万人突破

平成18年(2006)

1月21日 「北京故宮博物院展」開催(~3月5日)

3月18日 「長崎発・江戸時代のニューアート 九州南画の世界展」開催(~4月16日)

4月27日 日露修好150周年記念「ロマノフ王朝と近代日本展」開催(~6月4日)

6月10日 「開かれた港市 平戸の至宝とキリシタン文化展」(~7月9日)

7月15日 特別企画展「能!内なる不思議の世界へ」開催(~9月3日)

8月14日 入場者数50万人達成

9月13日 「くんち三七二年展~大諏訪の神宝と祭礼~」開催(~10月15日)

10月20日 開館1周年記念式典

- 10月21日 開館1周年記念特別展「ローマを夢みた美少年」開催(～12月13日)
12月22日 「吉村作治の早大エジプト発掘40年展」開催(～平成19年2月14日)

平成19年(2007)

- 2月24日 「中国文化的精華 BEIJING OPERA 京劇展」開催(～3月25日)
4月7日 「青い目の人形と長崎瓊子展」開催(～6月10日)
6月23日 入場者数100万人達成
7月7日 企画展「シーボルトの水族館」開催(～9月2日)
9月6日 長崎県博物館協会会長に大堀哲館長が就任。長崎歴史文化博物館に事務局を置く。(～平成23年度)
9月29日 「くんち三七三年展 長崎の伝統と誇り」開催(～10月21日)
11月3日 開館2周年
日蘭修好150周年・開館2周年記念特別展「勝海舟と幕末長崎」開催(～12月9日)
12月21日 「世界最大の翼竜展」開催(～平成20年2月24日)

平成20年(2008)

- 3月5日 企画展ながさき地域シリーズ「五島の教会群」開催(～3月31日)
3月5日 日蘭修好150周年記念特別展「屏風～将軍からの贈り物～」開催(～3月31日)
4月12日 「ノリタケデザイン100年の歴史 オールドノリタケからディナーウェアまで」開催(～6月1日)
6月14日 企画展「江戸のタイムカプセル 日蘭のコレクションに見る近世長崎」開催(～8月31日)
8月7日 入場者数150万人達成
9月13日 企画展ながさき地域シリーズ「宝の島 対馬」開催(～10月20日)
10月3日 「オランダ人の見た幕末の長崎 長崎大学所蔵ボードインコレクション展」開催(～10月20日)
10月31日 開館3周年記念式典
11月1日 列福式関連特別企画展「バチカンの名宝とキリシタン文化」開催(～1月12日)

平成21年(2009)

- 7月8日 指定管理者選定委員会
8月14日 入場者数200万人達成
10月5日 皇太子殿下御来館
10月31日 日蘭通商400周年記念「阿蘭陀とNIPPON」展開催(～1月11日)
11月3日 開館4周年

平成22年(2010)

- 1月9日 「長崎奉行所・龍馬伝館」開催(～平成23年1月10日)
4月1日 第2期指定管理期間開始(指定期間：平成22年4月1日～平成28年3月31日6年間)
5月2日 入場者数250万人達成
5月27日 九州博物館協議会会長に大堀哲館長が就任。長崎歴史文化博物館に事務局を置く。(～平成23年度)
10月11日 入場者数300万人達成
11月3日 開館5周年
11月19日 開館5周年記念特別展「岩崎彌太郎」開催(～1月10日)
11月15日 長崎歴史文化博物館(館長 大堀哲)と中国福建博物院(院長 呉志躍)との友好館協定締結
11月18日 開館5周年記念式典

平成23年(2011)

- 1月29日 「チャイナドレスと上海モダン展」開催(～3月27日)
2月11日 大河ドラマ50作記念企画展「長崎奉行所 大河ドラマ館」開催(～10月30日)

2

事業方針

<平成21年度事業方針>

長崎県長期総合計画後期5か年計画の「文化を活かした地域活力創出プロジェクト」及び長崎市第3次総合計画の「長崎文化の継承と創造」を推進するため、長崎歴史文化博物館は、つねに利用者満足創出、長崎の学術文化の継承・発展、地域振興に資することなどの視点に立った事業を計画し、効率的で効果的な管理運営を行う。

1 長崎歴史文化博物館の基本方針

- (1) 海外交流史の博物館：海外との貿易を通して繁栄し、多彩な文化を誇った、近世長崎に関する海外交流史を中心とする博物館活動を推進する。
- (2) 長崎学研究所の拠点となる博物館：県内外はもとより、世界に散在する長崎学に関する資料や情報の収集・保存・研究・活用に努め、長崎学の研究とその成果の情報発信を行う。
- (3) 開かれた博物館：子供から高齢者まで、県民・市民の誰もが気軽に利用でき、長崎の歴史に触れることのできる開かれた施設とする。また、多くの県民・市民やボランティアなどが運営に参加できる開かれた組織運営を行い、利用者本位の管理運営を実践する。
- (4) 連携する博物館：長崎県や長崎市との連携のほか、長崎県内の中核博物館として、県内外および海外の博物館・資料館、学校や研究機関、歴史団体、学会との連携を推進する。
- (5) 体験と発見の博物館：生涯学習の場として、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることができる、常に新たな発見のある事業、体験を通して楽しく長崎の歴史発見ができる事業を推進する。
- (6) 地域づくりに貢献する博物館：地域の個性や特色を生かした、新しい地域づくりに貢献できる博物館活動を推進する。
また、県民・市民や観光客などが県内の史跡等の情報を一覧できて、長崎の歴史と文化を知る出発点となり、観光的魅力を併せ持つとともに、長崎の歴史に育まれた伝統工芸の紹介と振興にも寄与する博物館活動を行う。

2 行動指針

- (1) 4年間の実績とノウハウを基に、博物館の絶えざる進化を図り、長崎の学術・文化の継承・発展及び地域の活性化、地域の人材育成に寄与する。また、展覧会や教育普及活動の多彩な実践を通じて新たな利用者層を開拓するとともに、より一層県民が利用しやすく、親しむことができる事業運営に取り組む。
- (2) 博物館活動の重要な柱の一つである調査研究活動の充実強化を図るため、資料の整理、保存学、そのマネジメント等について客員研究員の指導・助言を得るとともに、研究員との共同研究を実施する。
- (3) 集客目標50万人を達成するため、魅力ある展覧会の開催、教育普及事業の推進はもちろんのこと、マーケティング活動の新たな展開、効率的な組織運営など、総合的視点からのマネジメントを行う。
- (4) 博物館施設の有効活用やミュージアムショップ等の附帯施設の活性化、安定的な入館者の確保に取り組み、収益力向上を図る。

3 事業方針

(1) 進化する博物館のための多彩なプログラムの計画と実施

① 展示事業の創意工夫とその広報、普及の徹底

常設展示の展示替えや、タイムリーで地域のニーズに即した魅力ある企画展示、長崎ゆかりの展覧会や県内の地域との連携展を実施するとともに、長崎学講座等の教育普及プログラムを実施し、広報を早期に実施することにより、リピーターの増加を図る。

② 施設の有効活用と新規プログラムの開発

親子で楽しめるワークショップやコンサート等の多彩なイベント実施によるホールや立山亭等の施設の有効活用を推進する。また、学校や福祉施設等対象の移動博物館のさらなる充実した企画運営を行う。

③ 長崎歴史文化研究所の実践的活動と研究成果の創出

長崎学の研究拠点である「長崎歴史文化研究所」の活動について、当館研究員、県市学芸員、外来研究員との協働による長崎の歴史文化に関わる学術的研究成果の創出とその発信に努める。

(2) 博物館の目的・使命に沿った取組みの推進

① 学校教育利用の推進

学校教育の博物館活用に資するため、収蔵資料の複製品等の教育利用貸出し、ティーチャーズルームの活性化などを通じて、教師の博物館活動への理解を図る。とくに県内児童生徒に対する長崎の歴史・文化への理解を深めるため、学校等への出前講座の計画や遠隔授業についてもさらに充実を図る。

② 地域活性化への貢献

県・市の文化政策との連携を図りながら、地域の観光、経済の活性化に寄与すべく、観光拠点としての集客の増加に努める。また、さらに利用者満足に配慮し、地域住民とのリレーションシップ、信頼関係を構築し、地域の人々の生涯学習支援を強化するとともに、地域文化力の向上に寄与する。

(3) 博物館職員としての実力の養成

博物館の管理運営(マネジメント)については効果的・効率的に、また教育研究については実践的で実績の伴う活動を、さらにその情報発信を広報・営業活動を通じて行うべく、職員の研修を強化し、知識技術の習得並びに職員の規律ある行動の遵守に努める。ボランティアに対しては、生涯学習の一環になり得るよう、そして学習成果が活かせる環境づくり、その定着化と拡大に努める。

(4) 県内の中核博物館としての取組み

長崎県博物館協会、九州博物館協議会、日本博物館協会等との連携、ネットワークを活用し情報交換や職員研修を推進するとともに、長崎県博物館協会の会長館として新規事業や加盟館職員の研修機会を設けるなどを通して、県内博物館のレベルアップを図る。さらに、博物館の国際化の重要性に鑑み、中国、韓国等アジア地域の連携博物館を確保に向け取り組む。

(5) 指定管理者制度における博物館運営のモデルづくり

全国注視の中でスタートした指定管理者制度下の博物館として指定管理期間が最終年度となる本年度は、その運営の在り方がより一層問われる年であり、次期管理運営を目指して事業内容、組織としての効率的なとり組み方等を含め、全ての面について実践的、かつ研究的にさらなるモデル構築に努める。

(6) 集客目標

充実した事業運営と効率的な博物館の管理運営の推進により今年度の集客目標総数を50万人とし、より一層地域の振興に資することとする。

来館数の目標内訳は、常設展示室への入館者は13.4万人、展覧会・企画展への入館者は20.5万人、生涯学習支援事業への参加者は3.3万人、その他利用者は18.8万人(重複利用者6万人)とし、有料入館者比率向上を図る。

＜平成22年度事業方針＞

長崎県長期総合計画後期5か年計画の「文化を活かした地域活力創出プロジェクト」及び長崎市第3次総合計画の「長崎文化の継承と創造」を推進するため、長崎歴史文化博物館は、“つねに進化する博物館”を目指し、利用者満足の創出、長崎の学術文化の継承・発展、地域振興に資することなどの視点に立った事業の企画・実施、効率的で効果的な管理運営を行う。

1 長崎歴史文化博物館の基本方針

- (1) 海外交流史の博物館：海外との貿易を通して繁栄し、多彩な文化を誇った近世長崎に関する海外交流史を中心とする博物館活動を推進する。
- (2) 長崎学研究の拠点となる博物館：県内外はもとより、世界に散在する長崎学に関する資料や情報の収集・保存・研究・活用に努め、長崎学の研究とその成果の情報発信を行う。
- (3) 開かれた博物館：子供から高齢者まで、県民・市民の誰もが気軽に利用でき、長崎の歴史に触れることのできる開かれた施設とする。また、多くの県民・市民やボランティアなどが運営に参加できる開かれた組織運営を行い、利用者本位の管理運営を実践する。
- (4) 連携する博物館：長崎県や長崎市との連携のほか、長崎県内の中核博物館として、県内外および海外の博物館・資料館、学校や研究機関、歴史団体、博物館関連学会との連携を推進する。
- (5) 体験と発見の博物館：生涯学習の場として、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることができる、常に新たな発見のある事業、体験を通して楽しく長崎の歴史発見ができる事業を推進する。
- (6) 地域づくりに貢献する博物館：地域の個性や特色を生かした、新しい地域づくりに貢献できる博物館活動を推進する。また、県民・市民や観光客などが県内の史跡等の情報を一覧できて、長崎の歴史と文化を知る出発点となり、観光的魅力を併せ持つとともに、長崎の歴史に育まれた伝統工芸の紹介と振興にも寄与する博物館活動を行う。

2 行動指針

- (1) 5年間の実績とノウハウを基に、博物館の絶えざる進化を図り、長崎の学術・文化の継承・発展及び地域の活性化、地域の人材育成に寄与する。また、展覧会や教育普及活動の多彩な実践を通じて新たな利用者層を開拓するとともに、より一層県民が利用しやすく、親しむことができる事業運営に取り組む。
- (2) 博物館活動の重要な柱の一つである調査研究活動の充実強化を図るため、資料の整理、保存学、そのマネジメント等について客員研究員の指導・助言を得るとともに、研究員との共同研究を実施する。
- (3) 集客目標80万人を達成するため、魅力ある展覧会の開催、教育普及事業の推進はもちろんのこと、マーケティング活動の新たな展開、効率的な組織運営など、総合的視点からのマネジメントを行う。
- (4) 博物館施設の有効活用やミュージアムショップ等の附帯施設の活性化、安定的な入館者の確保に取り組み、収益力向上を図る。

3 事業方針

- (1) 進化する博物館のための多彩なプログラムの計画と実施

① 展示事業の創意工夫とその広報、普及の徹底

常設展示の展示替えや、タイムリーで地域のニーズに即した魅力ある企画展示、長崎ゆかりの展覧会や県内の地

域との連携展を実施するとともに、長崎学講座等の教育普及プログラムを実施し、広報を早期に実施することにより、リピーターの増加を図る。

②施設の有効活用と新規プログラムの開発

親子で楽しめるワークショップやコンサート等の多彩なイベント実施によるホールや立山亭等の施設の有効活用を推進する。また、学校や福祉施設等対象の移動博物館のさらなる充実した企画運営を行う。

③長崎歴史文化研究所の発展的解消と研究成果の創出

これまで長崎学の研究拠点として位置づけた「長崎歴史文化研究所」は平成21年度をもって発展的に解消したため、今年度からは教育研究グループを主体に調査研究機能の充実強化を図り、当館研究員、県市学芸員、外来研究員との柔軟でかつ機能的な共同研究体制の組成を可能にするプロジェクト・タイプによる長崎の歴史文化に関わる学術的研究成果の創出とその発信に努める。

(2)博物館の目的・使命に沿った取組みの推進

①学校教育利用の推進

学校教育の博物館活用に資するため、収蔵資料の複製品等の教育利用貸出し、ティーチャーズルームの活性化などを通じて、教師の博物館活動への理解を図る。とくに県内児童生徒に対する長崎の歴史・文化への理解を深めるため、学校等への出前講座や遠隔授業についてもさらに充実を図る。

②地域活性化への貢献

県・市の文化政策との連携を図りながら、地域の観光、経済の活性化に寄与すべく、観光拠点としての集客の増加に努める。また、さらに利用者満足に配慮し、地域住民とのリレーションシップ、信頼関係を構築し、地域の人々の生涯学習支援を強化するとともに、地域文化力の向上に寄与する。

(3)博物館職員としての実力の養成

博物館の管理運営(マネジメント)については効果的・効率的に、また教育研究については実践的で実績の伴う活動を、さらにその情報発信を広報・営業活動を通じて行うべく、職員の研修を強化し、知識技術の習得並びに職業倫理観の涵養とその遵守に努める。ボランティアに対しては、生涯学習の一環になり得るよう、そして学習成果が活かせる環境づくり、その定着化と拡大に努める。

(4)県内の中核博物館としての取組み

長崎県博物館協会、九州博物館協議会、日本博物館協会等との連携、ネットワークを活用し情報交換や職員研修を推進するとともに、長崎県博物館協会の会長館として新規事業や加盟館職員の研修機会を設けるなどを通して、県内博物館のレベルアップを図る。さらに、博物館の国際化の重要性に鑑み、中国、韓国等アジア地域の連携博物館の確保と交流協定の実現に向け取り組む。

(5)指定管理者制度における博物館運営のモデルづくり

全国注視の中でスタートした指定管理者制度下の博物館として指定管理期間の2期目となる本年度は、その運営の在り方、事業内容、組織としての効率的なとり組み方等を含め、全ての面について実践的、かつ研究的にさらなるモデル構築に努める。

(6)集客目標

充実した事業運営と効率的な博物館の管理運営の推進により今年度の集客目標総数を80万人とし、より一層地域の振興に寄与することとする。

来館数の目標内訳は、常設展示室への入館者は16.3万人、展覧会・企画展への入館者は45.7万人、生涯学習支援事業への参加者は3万人、その他利用者は22万人(重複利用者7万人)とし、有料入館者比率向上を図る。

(7)事業評価

利用者分析や企画展アンケート、目安箱などを参考に、事業ごとの評価を行ない、県市の政策評価の指標となる事業報告書の作成を実施する。

1 企画展

平成21年度

大鉄道展 ながさき鉄道ものがたり

1872(明治5)年の開業以来、鉄道はめざましいスピードで全国に路線網を広げ、昭和30年代には高度経済成長の牽引役として最盛期を迎えました。九州においても高度経済成長を支えた鉄道貨物や大都市圏への長距離移動を担う寝台特急が活躍しました。本企画展では、鉄道の黄金期といわれる昭和30年代に焦点をあて、長崎を中心とした九州、そして日本における鉄道の歩みを振り返りました。また、昭和のまちを走る長崎電気軌道のなつかしい写真など、長崎の鉄道にまつわる過去・現在・未来を取り上げました。

期 間：2009年4月18日(土)～6月15日(月)
 観 覧 料：大人 1,000円(800円)小中高生 500円(400円)
 主 催：長崎歴史文化博物館
 共 催：長崎新聞社
 企画協力：JR九州／長崎電気軌道／島原鉄道／松浦鉄道／九州鉄道記念館
 展示協力：星晃／長崎さしや倶楽部／長崎路面電車の会／きっちん・せいじ
 企画運営：東映株式会社
 監 修：小池滋／青木栄一
 企画コーディネート：米山淳一
 総入場者数：17,716名(1日平均311名)

<関連事業>

講演会

「鉄道遺産を活かしたまちづくりと観光」

日 時：4月18日(土)13:00～14:00
 場 所：ホール
 講 師：米山淳一氏(大鉄道展プロデューサー)
 参 加 者：31名

「鉄道ルネッサンス」

日 時：4月19日(日)14:00～15:00
 場 所：会議室
 講 師：水野正幸氏(JR九州長崎支社長)
 参 加 者：35名

昭和の路面電車記録映像上映会

日 時：5月6日(水)14:00～15:30
 場 所：ホール
 講 師：坪口満明氏(長崎路面電車の会会長)



駅長さん出張トーク

時 間：14:00～14:30
場 所：企画展示室
日 時：4月25日(土) 講師：有田駅 西田辰実駅長
参加者：30名
日 時：4月26日(日) 講師：ハウステンボス駅 山口満義駅長
参加者：30名
日 時：5月2日(土) 講師：長崎駅 渋谷正行駅長
参加者：60名
日 時：5月9日(土) 講師：佐世保駅 貞松雅春駅長
参加者：26名
日 時：5月16日(土) 講師：大村駅 竹下勉駅長
参加者：16名
日 時：5月30日(土) 講師：諫早駅 福地太志駅長
参加者：20名
日 時：6月6日(土) 講師：武雄温泉駅 明時久之駅長
参加者：56名



OMURA室内合奏団大鉄道展音楽コンサート

日 時：5月24日(日)14:00～14:50
場 所：ホール
演 奏：OMURA室内合奏団
参加者：120名



ミニ路面電車乗車体験

時 間：11:00～／13:00～／14:30～
場 所：イベント広場
日 時：4月18日(土) 参加者：100名
日 時：4月19日(日) 参加者：273名
日 時：5月30日(土) 参加者：282名
日 時：5月31日(日) 参加者：369名
日 時：6月6日(土) 参加者：177名
日 時：6月7日(日) 参加者：309名



ミニかもめ乗車体験

日 時：5月2日(土) 参加者：318名
日 時：5月5日(火) 参加者：460名

JR九州の客室乗務員との記念撮影会

時 間：11:00～12:00 13:00～16:00
場 所：企画展示室
日 時：5月2日(土) 参加者：130名
日 時：5月5日(火) 参加者：145名

Bトレインショーティー組立教室

時 間：11:00～／13:00～
場 所：講座室
日 時：5月2日(土) 参加者：32名
日 時：5月3日(日) 参加者：29名
日 時：5月4日(月) 参加者：30名
日 時：5月5日(火) 参加者：30名

日 時：5月6日(水) 参加者：29名
日 時：5月16日(土) 参加者：21名
日 時：6月6日(土) 参加者：30名

長崎の路面電車を知ろう 貸し切り電車&車庫見学&大鉄道展見学

時 間：12:00～14:30
講 師：崎戸秀樹氏(長崎路面電車の会)
日 時：5月10日(日) 参加者：12名
日 時：5月24日(日) 参加者：10名
日 時：6月7日(日) 参加者：26名
参加費：200円+電車代+企画展観覧料
協 力：長崎路面電車の会

島原鉄道で行く史跡めぐり

日 時：6月14日(日)12:00～15:00
参加費：交通費+鍋島邸観覧料
講 師：徳永真幸氏(雲仙市教育委員会)
谷守隆氏(神代小路まちなみ保存会)
森川太十郎氏(神代小路まちなみ保存会)
帆足治行氏(神代小路まちなみ保存会)
参加者：14名

大好き！長崎の鉄道 イラストコンテスト

展示期間：5月2日(土)～6月15日(月)
作品応募数：42点

長崎の鉄道写真コンテスト

展示期間：5月2日(土)～6月15日(月)
作品応募数：31点

ココウオークに「大鉄道展」がやってくる！

時 間：13:00～16:00
場 所：ココウオーク 5階お祭り広場
日 時：4月29日(水) 参加者：350名
日 時：5月23日(土) 参加者：230名
協 力：鮫島広氏(長崎路面電車の会)

かもめ広場に「大鉄道展」がやってくる！

時 間：13:00～16:00
場 所：JRかもめ広場
日 時：4月18日(土) 参加者：1,200名
日 時：5月4日(月) 参加者：1,500名
日 時：5月17日(日) 参加者：700名
協 力：鮫島広氏(長崎路面電車の会)

プラレールコーナー

日 時：5月24日(日)15:00～17:00
参加者：50名
日 時：6月7日(日)14:00～17:00
参加者：80名
場 所：エントランスホール
協 力：鮫島広氏(長崎路面電車の会)

邪馬台国への道 壱岐

玄界灘に浮かぶ壱岐は、大陸と日本を結ぶ「海上の道」として発展してきました。原の辻遺跡からは、大規模な船着場、朝鮮半島製の土器や日本各地で製造された土器などが発見されており、ここが魏志倭人伝に登場する「一支国」の都であったと考えられています。壱岐には多数の古墳も残されており、その規模は県内最大級です。古墳内部からは「亀形飾金具」(笹塚古墳)など光り輝く金銅製の馬具が発見され、重要文化財に指定されています。このほか東アジアの海で活躍した松浦党の姿や、安国寺の秘宝、松永安左エ門や山口麻太郎など壱岐出身の偉人、壱岐神楽など壱岐の伝統文化、そして来春オープンする一支国博物館を紹介しました。

期 間：2009年6月26日(金)～7月26日(日)

観 覧 料：大人600円(480円)小中高生無料

主 催：長崎歴史文化博物館

共 催：壱岐市 長崎県

後 援：長崎市／壱岐市教育委員会／長崎県教育委員会／長崎市教育委員会／長崎新聞社／西日本新聞社／朝日新聞社／日本経済新聞社長崎支局／毎日新聞社／読売新聞長崎支局／(株)壱岐日々新聞社／壱岐日報社／新壱岐新聞社／KTNテレビ長崎／NIB長崎国際テレビ／NCC長崎文化放送／NBC長崎放送／NHK長崎放送局／長崎ケーブルメディア／エフエム長崎

協 賛：アリアケジャパン株式会社／ORCオリエンタルエアブリッジ

総入場者数：5,269名(1日平均176名)

<関連事業>

講演会

「壱岐国歴史よもやま話」

日 時：6月27日(土)13:30～15:00

場 所：ホール

講 師：須藤正人氏(壱岐市教育長)

参 加 者：108名

「壱岐の古墳」

日 時：7月4日(土)13:30～15:00

場 所：ホール

講 師：田中聡一氏(壱岐市教育委員会文化財課)

参 加 者：102名

原の辻ワークショップ

場 所：企画展示室 講 師：原の辻サポーター

日 時：7月18日(土)14:00～16:00 勾玉づくり・土器パズル

参 加 者：49名

日 時：7月19日(日)10:00～12:00 勾玉づくり・土器パズル・
鬼風絵付け

参 加 者：117名

日 時：7月20日(月)10:00～12:00 勾玉づくり・土器パズル

参 加 者：76名



壱岐神楽

日 時：7月20日(月祝)11:00～12:00 / 15:00～16:00

場 所：ホール

出 演：壱岐神楽保存会

参加者：279名

壱岐の文化と折り紙体験

場 所：講座室

講 師：宮本眞理子氏(壱岐市観光大使、日本折紙協会学会認定講師)

(1) 壱岐に伝わる八朔雛の風習についての講演と折紙体験

日 時：7月4日(土)10:30～12:30

参加費：500円

参加者：14名

(2) 壱岐に伝わる百合若大臣と悪毒王の昔話と折紙体験

日 時：7月5日(日)14:00～16:00

参加費：300円

参加者：20名

壱岐史跡めぐり

日 時：8月1日(土)～2日(日)

講 師：安楽勉氏(長崎県教育庁原の辻遺跡調査事務所所長)

山西寛氏(壱岐市文化財保護審議会会長)

参加者：9名



くんち 三七五年展

2009年で375年目を迎える長崎くんちは、寛永11年(1634)に行われて以来、形を少しずつ変えながらも、長崎の人々によって連綿と守り継がれてきました。本展覧会では、今日まで受け継がれてきた長崎くんちを美術と工芸の視点から取り上げました。例えば、くんちの傘鉾の垂や衣装などに見られる長崎刺繍、傘鉾のダシなど、中国やヨーロッパの影響を受けながら発展してきた長崎の職人の技がそこに結集されています。さらに、奉納踊や演物とともに、この祭礼を盛り上げてくれるのがシャギリなどの音です。本展覧会では、くんちで使われる様々な音の世界についても取り上げました。そしてこれらの伝統の美と技を数百年にわたって守り受け継いできたのは何と言っても人です。くんちの継承を支える様々な人にも光を当てました。

期 間：2009年9月12日(土)～10月18日(日)

観 覧 料：大人 500円(400円)[800円]小中高校生無料

主 催：長崎歴史文化博物館

特別協力：鎮西大社諏訪神社

協 力：長崎くんち塾／万屋通り町会／籠町自治会／大黒町くんち奉賛会／元船町自治会／麴屋町自治会

後 援：長崎伝統芸能振興会／長崎県／長崎県教育委員会／長崎市／長崎市教育委員会／長崎新聞社／西日本新聞社／朝日新聞社／日本経済新聞社長崎支局／毎日新聞社／読売新聞長崎支局／KTNテレビ長崎／NIB長崎国際テレビ／NCC長崎文化放送／NBC長崎放送／NHK長崎放送局／長崎ケーブルメディア／エフエム長崎

協 賛：株式会社インテックス

総入場者数：14,485名(1日平均402名)

<関連事業>

講演会

再発見「長崎刺繍」

日 時：9月22日(火祝)14:00～15:00

場 所：ホール

講 師：嘉勢照太氏

参 加 者：80名

くんち塾例会

日 時：9月27日(日)10:00～12:00

場 所：ホール

参 加 者：105名

甦る能「諏訪」

日 時：10月12日(月祝)15:00～16:00

場 所：ホール

出 演：清水寛二氏(観世流シテ方)

企画協力：アド長崎新聞

参 加 者：140名



シャギリ公演

日 時：9月12日(土)13:30～
場 所：エントランスホール
演 奏：中尾シャギリ保存会
参加者：87名

くunch料理の試食会

日 時：10月4日(日)14:00～16:00
場 所：イベントの間
講 師：山口喜久子氏(表千家同門会長崎県支部参与)
参加費：2,000円
参加者：20名

長崎刺繍 刺繍と糸より実演

日 時：会期中毎週日曜日 10:00～12:00 / 13:00～15:00
場 所：企画展示室
実 演：長崎刺繍再発見塾

長崎刺繍体験

時 間：9:00～18:00
場 所：イベントの間 指導：長崎刺繍再発見塾
日 時：9月18日(金)19日(土)20日(日)25日(金)
10月2日(金)9日(金)16日(金)17日(土)18日(日)
参加者：39名

お話し会「赤いカップ 青いカップ」

日 時：10月3日(土)14:00～15:00
場 所：イベントの間
講 師：古賀智鶴子氏(長崎県童話会)
参加者：35名

こどもくunch

場 所：エントランスホール
出 演：諏訪幼稚園児と卒園児

○龍踊

日 時：9月12日(土)10:30～
参加者：243名

○コッコデショ

日 時：9月26日(土)10:30～
参加者：155名

龍踊体験教室

日 時：10月12日(月祝)10:30～11:45 / 13:30～14:45
場 所：イベント広場 エントランスホール
参加費：500円
指 導：ぜっと屋
参加者：39名

ミニチュア傘鉾づくり

日 時：会期中の土日祝日14:00～15:30(全16回)
場 所：企画展示室ロビー
参加費：100円



参加者：133名

踊町公開稽古

場 所：イベント広場

油屋町(9月13日)

鍛冶屋町(9月13日、9月19日)

元船町(9月19日)

筑後町(9月22日、23日、27日)

参加者：1,832名



阿蘭陀とNIPPON ～レンブラントからシーボルトまで～

2009年は徳川幕府がオランダに貿易許可証としての「朱印状」をはじめて発行してからちょうど400年目にあたります。17世紀以降、唯一交易を許されたオランダを通じて、様々な文物や情報が日本からヨーロッパへ、またヨーロッパから日本へもたらされました。この背景にはオランダ東インド会社(VOC)による活発な海上交易活動がありました。そして日本とオランダを結ぶ窓口となったのが長崎でした。この交流を通じて、ヨーロッパでは芸術や生活文化において日本や中国など東洋の文化を志向する風潮が生まれます。一方、日本では長崎を通じて入ってきたヨーロッパの様々な文物が日本人の生活や文化、学問に大きな影響を与えました。本展覧会では、日蘭通商400周年を記念し、1609年から幕末までの約250年間におよぶ日本とオランダの交流の歴史を、両国の博物館が所蔵する美術工芸資料、歴史・考古資料等を通して紹介しました。



期 間：2009年10月31日(土)～2010年1月11日(月)
観 覧 料：大人 1,000円(800円)小中高校生 500円(400円)
主 催：長崎歴史文化博物館／たばこと塩の博物館／オランダ王国大使館／K T Nテレビ長崎／西日本新聞社
協 賛：日本航空
後 援：長崎県／長崎県教育委員会／長崎市／長崎市教育委員会／NHK長崎放送局／長崎ケーブルメディア
助 成：(財)地域創造
協 力：海と船の博物館ネットワーク
総入場者数：8,323名(1日平均117名)

<関連事業>

講演会

第1部「阿蘭陀とNIPPON－近世異文化交流の点描」

講 師：W.ミヒエル氏(九州大学大学院教授)

第2部 マエストロ石井高トークショー

「古楽器の響きが誘う阿蘭陀・NIPPONそして伊太利亜」

講 師：石井高氏

日 時：11月1日(日)13:30～15:00

場 所：ホール

参 加 者：120名

「日本の近代化と長崎－武雄蘭学と長崎方控を中心に－」

日 時：11月22日(日)13:30～15:00

場 所：ホール

講 師：川副義敦氏(武雄市図書館・歴史資料館学芸員)

参 加 者：35名

「川原慶賀筆『人の一生』について」

日 時：12月13日(日)

場 所：ホール

講 師：原田博二(当館研究所長)

参 加 者：67名



「ものと知のクロスロード 近世日蘭交流と長崎・出島」

場 所：ホール
講 師：平岡隆二(当館主任研究員)
参 加 者：35名

史跡めぐり

日 時：12月19日(土)11:00～16:00
展覧会見学の後、史跡めぐり
講 師：原田博二(当館研究所長) 平岡隆二(当館主任研究員)
参 加 者：30名

ガリレオ式望遠鏡づくり

日 時：11月21日(土)14:00～16:00
場 所：講座室
講 師：許斐修輔氏(佐賀県立宇宙科学館館長)
参 加 費：500円
参 加 者：26名

絵巻物づくり

日 時：12月6日(日)13:00～16:00
場 所：エントランスホール
参 加 費：100円
参 加 者：15名

紙すき体験とクリスマスツリーづくり

日 時：12月19日(土)13:00～16:00
場 所：講座室
講 師：石田孝氏
参 加 費：500円
参 加 者：11名

絵付け体験

日 時：11月23日(月祝)13:30～15:30
場 所：講座室
講 師：笹原恵子氏(陶芸家)
参 加 費：1,000円
参 加 者：20名

紙すき体験と作品づくり

日 時：12月20日(日)13:00～16:00
場 所：講座室
講 師：石田孝氏
参 加 費：500円
参 加 者：20名

ミスターエルウィンのオランダトーク

日 時：12月13日(日)13:30～15:00
場 所：講座室
講 師：エルウィン・ワルストラ氏(長崎県文化振興課研修員)
参 加 者：35名

古楽コンサート 17世紀のオランダ音楽 ～レンブラントの時代を中心に～

日時：11月28日(土)19:00～21:00

場所：企画展示室ロビー

出演：井上周子(リュート、ヴァージナル) 大坪由香(リコーダー)

料金：1,500円

参加者：42名



不老長寿を夢みる魅惑の世界 道教の美術

道教とは、老子を祖として不老長寿を究極の理想とする中国で生まれた宗教です。道教の思想は、日本にも大きな影響を与えました。「不老不死」「仙人」「風水思想」「陰陽道」「地獄の閻魔さま」「北斗七星の信仰」、それに私たちにも親しみ深い「航海の女神・媽祖」「浦島太郎」「七福神」「七夕」なども、すべて道教と深い関わりをもつものです。これらをテーマとした美術作品を紹介し、これまで広く知られることのなかった中国の「道教」の世界をメインテーマとした展覧会を、日本で初めて開催しました。

期 間：2010年1月23日(土)～ 3月22日(月祝)

観 覧 料：大人1,000円(800円)小中高生 500円(400円)

主 催：長崎歴史文化博物館／読売新聞社／美術館連絡協議会／長崎国際テレビ

後 援：長崎県／長崎市／長崎県教育委員会／長崎市教育委員会／在長崎中国総領事館／長崎華僑総会

協 賛：ライオン／清水建設／大日本印刷／ニッセイ同和損害保険
総入場者数：5,757名(1日平均101名)



<関連事業>

講演会

「道教とはなにか」

日 時：1月24日(日) 13:30～15:00

場 所：ホール

講 師：坂出祥伸氏(元日本道教学会会長・関西大学名誉教授)

参 加 者：90人

「日本の陰陽道」

日 時：2月7日(日) 13:30～15:00

場 所：ホール

講 師：細井浩志氏(日本道教学会評議委員・活水女子大学教授)

参 加 者：85人

「江戸時代の媽祖・黄檗寺院」

日 時：3月7日(日) 13:30～15:00

場 所：ホール

講 師：原田博二(当館研究所長)

参 加 者：73人

「道教の尊像」

日 時：3月14日(日) 13:30～15:00

場 所：ホール

講 師：齋藤龍一氏(大阪市立美術館学芸員)

参 加 者：60人



「長崎の道教絵画」

日 時：3月21日(日) 13:30～15:00
場 所：ホール
講 師：植松有希(当館研究員)
参 加 者：40人

対談会「長崎に息づく中国文化 媽祖を中心として」

日 時：2月20日(土)13:30～15:00
場 所：ホール
講 師：松尾法道氏(興福寺 住職)
陳東華氏(日本媽祖文化交流協会 会長)
清島豊氏(日本媽祖文化交流協会 理事)
参 加 者：51人

ワークショップ「願いをかなえる年画・霊符づくり」

場 所：講座室
参 加 料：300円
第1回 学問・出世
日 時：2月11日(木・祝)13:30～15:30
参 加 者：11人
第2回 財運
日 時：2月21日(日)13:30～15:30
参 加 者：12人
第3回 健康・長寿
日 時：2月27日(土)13:30～15:30
参 加 者：2人
第4回 美・恋愛
日 時：2月28日(日)13:30～15:30
参 加 者：2人

史跡めぐり

日 時：3月6日(土)
11:00～12:00 企画展観覧(展示解説つき)
13:00～16:00 聖福寺・福濟寺・興福寺
講 師：原田博二(当館研究所所長)、植松有希(当館研究員)
参 加 者：72人



長崎奉行所・龍馬伝館

長崎歴史文化博物館は2005年11月開館以来、近世長崎の海外交流史をテーマに、長崎とヨーロッパや中国などとの海外交流の歴史文化の展示、江戸幕府の長崎奉行所立山役所整備復元とその歴史的な役割の紹介などを中心に活動している。坂本龍馬や岩崎弥太郎の生涯や本ドラマの部屋のセットの再現や使用される衣装や小道具などの紹介、主演者のロケ現場での龍馬や弥太郎への思いを語るインタビュー映像などの展示が行なわれる「長崎奉行所・龍馬伝館」設置に当たっては、大河ドラマ「龍馬伝」の放映を契機に、それらの展示とあわせて、舞台となる長崎県の貴重な歴史・文化などを全国で紹介することにより、長崎県のイメージアップと観光客の誘致促進並びに経済の活性化に館を挙げて積極的に貢献していく。

期 間：2010年1月9日(土)～2011年1月10日(月祝)
観 覧 料：大人500円(400円) 小中高生250円(200円)
主 催：長崎歴史文化博物館 長崎県 長崎市(実行委員会)
後 援：長崎県教育委員会／長崎市教育委員会／長崎新聞社／NHK長崎放送局／西日本新聞社／毎日新聞社／読売新聞社長崎支局／日本経済新聞社長崎支局／長崎ケーブルメディア／(株)エフエム長崎

制作協力：NHKエンタープライズ／NHKアート
総入場者数：466,995人(1日平均1,272人)

<関連事業>

坂本龍馬像・岩崎彌太郎像除幕式

日 時：2010年1月3日(日)10:30～11:00
場 所：エントランスホール
参 加 者：210名

長崎奉行所・龍馬伝館 節分豆まき

日 時：2月3日(水)16:30～
場 所：奉行所式台前
参 加 者：110名

みらいの龍馬養成塾

ゲ ス ト：濱田龍臣さん(子役)
日 時：2月21日(日)14:00～16:00
場 所：ホール・イベント広場
参 加 者：180名

松尾貴臣氏によるミニライブコンサート

日 時：3月9日(火)11:30～／14:00～
場 所：エントランスホール
出 演：松尾貴臣
参 加 者：70名



昇龍 婆羅門風の展示

期 間：3月20日～5月9日
場 所：エントランス(ホール前)
来場者数：50,635名

書で楽しむ龍馬伝

「龍馬伝」の題字を手がけた書家紫舟氏による
トークとライブパフォーマンス

日 時：3月6日(土)11:00～12:00
場 所：エントランスホール
参加者：234名

時代劇専門チャンネル「我ら、もの申す！」公開収録

収録日：3月17日
放送日：3月27・29日

「めざせ！龍馬」講座の開催。

日 時：5月2日(日)10:30～11:00
場 所：ホール
参加者：75名

夏休み特別企画 親子れきぶん探偵団「龍馬と奉行所のヒミツをさぐれ！」

日 時：7月19日(月)・8月13日(金)14:00～16:00
場 所：博物館全体(龍馬伝館・常設展示室・ホールなど)
参加者：109名

大活辨上映会

日 時：8月5日(木)～8日(日)10:30～12:00 / 18:00～19:30
場 所：ホール
演 目：「坂本龍馬」「チャップリンの冒険」「豪勇ロイド」「血煙り高田馬場」「血煙り荒神山」「国定忠治」
活弁士：麻生八咫 麻生子八咫
料 金：1,500円
参加者：333名

長崎奉行所・龍馬まつり

日 時：8月7日(土)17:00～21:00
場 所：イベント広場
参加者：451名

音楽イベント「サヨナラ龍馬！アバヨ彌太郎！新春ナガサキ音ハジメ」

日 時：平成23年1月10日(月)13:30～20:00
場 所：エントランスホール
出 演：新内枝幸太夫 平川波声 かわち家 MEWジックキッズ
木管五重奏エスプリ 銀屋町鯨太鼓 松尾貴臣 長崎検番
原さとみ 森美香 柴田健一アンサンブル 高浪慶太郎と
なんがさきふあいぶ&琴音
参加者：704名



幕末長崎古写真展 龍馬と彦馬

嘉永元年(1848)、長崎にオランダから最初の写真機がもたらされました。文久2年(1862)、市内の新大工町に上野彦馬が、わが国で草創期の写真スタジオを開設しました。西洋の近代技術や思想の集積地としての地位を確立した幕末期の長崎には、全国から志を持つ多くの人々が訪れました。この地で彼らは誰と出会い、どう生きたのか、それは後の日本の進路に大きな影響を与えることになります。本展は、長崎大学附属図書館や江崎べっ甲店などが所蔵する貴重な古写真コレクションを一挙公開する機会となりました。幕末から明治初期の長崎の風景や庶民の暮らし、そして坂本龍馬や上野彦馬をはじめ、歴史にその名を残すことになる人物の写真と関連資料およそ400点を通して、その時代と彼らのまなざしを感じていただく展覧会を開催しました。

期 間：2010年4月10日(土)～5月31日(月)

観 覧 料：大人500円(400円)小中高生 250円(200円)

主 催：長崎歴史文化博物館／長崎大学附属図書館

特別協力：東京大学大学院情報学環 馬場章研究室

協 力：(株)江崎べっ甲店／上野一郎／学校法人産業能率大学

後 援：長崎県／長崎市／長崎大学／長崎県教育委員会／長崎市教育委員会／長崎新聞社／西日本新聞社／朝日新聞社／日本経済新聞社長崎支局／毎日新聞社／読売新聞長崎支局／KTNテレビ長崎／NIB長崎国際テレビ／NCC長崎文化放送／NBC長崎放送／NHK長崎放送局／長崎ケーブルメディア／エフエム長崎

総入場者数：24,048名(1日平均293名)

<関連事業>

講演会

「古写真から見える幕末の長崎 彦馬と龍馬の出会い」

日 時：4月10日(土)

場 所：ホール

講 師：姫野順一氏(長崎大学教授)

参 加 者：140名

「幕末の長崎における日本と西洋の出会い」

日 時：5月16日(日)

場 所：ホール

講 師：ブライアン・バークガフニ氏(長崎総合科学大学教授)

参 加 者：134名

「古写真に見る坂本龍馬と幕末の長崎」

日 時：5月22日(土)

場 所：ホール

講 師：柴多一雄氏(長崎大学附属図書館長)

参 加 者：142名



史跡めぐり

「古写真に写る長崎探訪」

日 時：5月8日(土) 参加者：27名

親子で楽しむ写真講座

日 時：4月25日(土) 参加者：10名

牛乳パックカメラ実験教室

日 時：4月29日(木) 参加者：28名

日 時：5月1日(土) 参加者：30名

講 師：栗山恭直氏(東洋大学教授)

講演会「世界標準の科学って？」&実験ショー

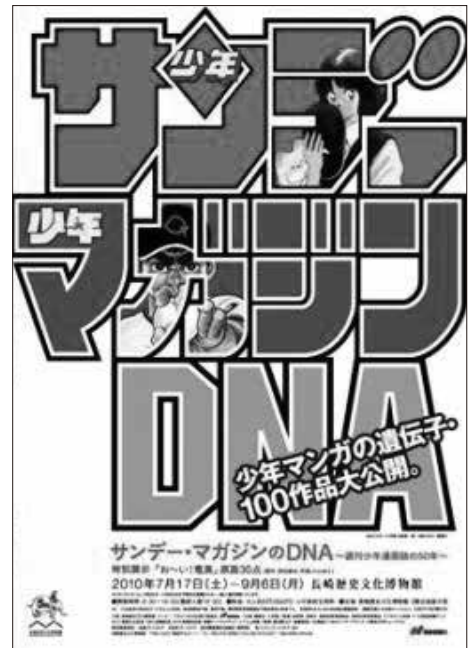
日 時：5月1日(土) 参加者：32名

講 師：柄山正樹氏(東洋大学教授)



サンデー・マガジンのDNA～週刊少年漫画誌の50年～

1959(昭和34)年、戦後の日本漫画史に輝かしい歴史を刻む「週刊少年サンデー」(小学館)と「週刊少年マガジン」(講談社)が同時に創刊されました。以来50年を超える歴史において、両誌は互いに意識をしながら数多くの名作を生み出しました。連載作品の単行本化や兄弟誌の創刊、テレビ・アニメ化の流れをつくるなど、両誌は戦後日本の視覚文化の中で大きな役割を果たしてきました。本展覧会では、昭和から平成にかけて、時代の象徴となった歴史的な名作漫画から現在のリアルタイムな人気作品まで、両誌を代表する100作品の原画を一堂に展示し、併せて当時の掲載誌やおもちゃ、関連グッズなども紹介し、少年漫画誌50年の歴史を振り返りました。「野球」「格闘技」「ラブコメ」などの各要素をDNAとしてとらえ、マンガというメディアの可能性を見出す機会となりました。「巨人の星」「あしたのジョー」の原作者・梶原一騎の直筆原稿や、「タッチ」「H2」のあだち充のアイデアノートなど、ここでしか見られない貴重な資料、さらに「お～い！ 竜馬」の原画30点を特別展示しました。



期 間：2010年7月17日(土)～9月6日(月)
観 覧 料：大人800円(650円)小中高生 無料
主 催：長崎歴史文化博物館／サンデー・マガジンのDNA実行委員会／長崎新聞社
共 済：講談社／小学館
後 援：長崎県／長崎市／長崎県教育委員会／長崎市教育委員会／NBC長崎放送／KTNテレビ長崎／NCC長崎文化放送／NIB長崎国際テレビ／NHK長崎放送局／エフエム長崎／長崎ケーブルメディア
監 修：夏目房之介／斎藤宣彦
企画協力：NHKエンタープライズ／川崎市市民ミュージアム
総入場者数：12,804名(1日平均246名)

<関連事業>

講演会

「マンガの吹き出しとコマの美術史」

日 時：9月4日(土)13:30～15:00
場 所：ホール
講 師：植松有希(当館研究員)
参 加 者：15名

トークイベント

「ぼくらのマンガ・アニメ トキワ荘の時代から現代まで」

日 時：7月18日(月)13:30～15:00
場 所：ホール
講 師：鈴木伸一氏(杉並アニメーションミュージアム館長)
 堀憲昭氏(長崎文献社専務取締役 元講談社マンガ編集者)
 高浪慶太郎氏(音楽プロデューサー)
参 加 者：32名



四コママンガに挑戦

日 時：会期中毎日
場 所：3階企画展示室前廊下
参加者：151名

マンガ缶バッジづくりを楽しもう

日 時：8月1日・5日・15日・17日・30日 14:00～16:00
場 所：3階企画展示室前廊下
参加料：50円
参加者：302名

子どもマンガ教室

「もし坂本龍馬が2010年に生きていたら？」

日 時：8月8日(日)14:00～16:00
場 所：講座室
参加料：300円
参加者：14名
特別協力：brew(グラフィックデザイナーグループ)

コンサート

「みんなで歌って暑さなんて吹き飛ばせ！
ようこそアニメの世界へ！」

日 時：8月22日(日)14:00～15:00
場 所：1階ホール
参加者：130名
演奏者：レガリーノ 山口修(ギター)
山口純子(歌) 後藤美樹(ピアノ)

わりばしで龍馬鉄砲をつくるぜよ

日 時：8月28日(土)14:00～16:00
場 所：講座室
参加者：18名



実録坂本龍馬展

坂本龍馬は、天保6年(1835)、土佐藩の郷士・坂本家の次男として生まれました。もともとは商家である坂本家の次男として、自由で合理的な町人気質に触れながら育った龍馬は、窮屈な土佐藩を飛び出し、幕臣勝海舟の門弟になり、航海術を習得します。その後、長崎で貿易会社を兼ねた政治結社・亀山社中、そして海援隊を組織します。対立していた薩摩藩と長州藩の間を調停し、薩長同盟の締結に尽力、さらに徳川慶喜の大政奉還を画策し、明治維新を大きく推し進める原動力となりました。しかし、慶応3年(1867)11月15日、何者かに暗殺され、「世界の海援隊を作る」という夢半ばにして、33年の短い人生の幕を閉じました。2010年NHK大河ドラマ「龍馬伝」の放送と連動して、高知や長崎、京都などに伝わる龍馬の遺品や書簡類、幕末の騒乱を伝える歴史資料などで構成しながら、坂本龍馬の波乱に満ちた生涯を浮き彫りにした展覧会を開催しました。

期 間：2010年10月2日(土)～11月3日(水祝)

観 覧 料：大人1,200円(1,000円)小中高生 700円(500円)

主 催：長崎歴史文化博物館／NHK長崎放送局／NHKプラネット九州／長崎新聞社

後 援：長崎県／長崎市／長崎県教育委員会／長崎市教育委員会／長崎県社会福祉協議会／NBC長崎放送／KTNテレビ長崎／NCC長崎文化放送／NIB長崎国際テレビ／エフエム長崎／長崎ケーブルメディア

協 賛：日本写真印刷／ハウス食品／三井住友海上／

制作協力：NHKプロモーション

総入場者数：46,009名(1日平均1,394名)

<関連事業>

講演会

基調講演「龍馬暗殺の謎」

講 師：木村幸比古氏(霊山歴史館学芸課長)

特別鼎談「龍馬がもたらす町おこし」

鼎 談 者：宅間一之氏(高知県立歴史民俗資料館)

木村幸比古氏(霊山歴史館学芸課長)

大堀 哲(当館館長)

日 時：10月2日(土)10:00～12:00

場 所：ホール

参 加 者：104名

「龍馬の望まなかった戊辰戦争－白虎隊と長崎幕末英雄伝－」

日 時：10月16日(土)13:00～17:00

場 所：1階ホール

主 催：長崎歴史文化博物館、長崎龍馬会

共 催：白虎隊の会

協 力：さるく観光幕末編推進委員会

参 加 者：137名



市川森一名誉館長奉行所トーク「長崎と龍馬」

日 時：10月31日(土)12:45～13:50

場 所：ホール

ゲ ス ト：柴崎賀広氏(長崎龍馬会龍馬楽校長)

参 加 者：147名

龍馬も奏でた？お龍も弾いた？月琴体験

日 時：10月23日(土)14:00～16:00

場 所：常設展示室-町屋

講 師：山野誠之(長崎明清楽保存会会長)

参 加 者：3名

龍馬ミステリー、謎を解読するのは君だ！

日 時：10月3日(日)/17日(日)/11月3日(水祝)10:30～12:00

場 所：3階企画展示室

参 加 者：17名

タイムスリップ写真館～古写真風に記念撮影～

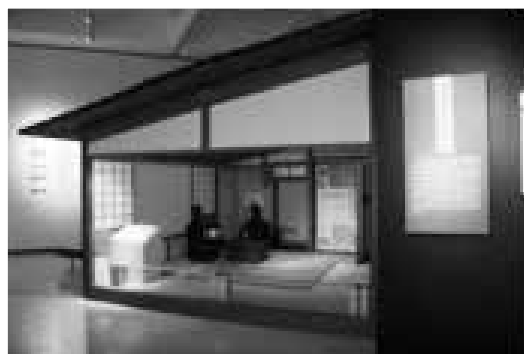
日 時：10月10日(日)、11日(月)、22日(金)、29日(金)

場 所：3階ロビー

主 催：NHK長崎放送局

協 力：長崎歴史文化博物館、長崎大学附属図書館

参 加 者：355組(約900人)



岩崎彌太郎 三菱の誕生と岩崎家ゆかりのコレクション

岩崎彌太郎は、土佐・長崎・大阪で人脈を培いながら、経営手腕や理念を磨いていきました。その根底には個人や会社にとらわれず国家の公益を優先する精神があり、海を媒介にした世界への飛躍を目指していました。また、三菱は、本社を東京に移した後も長崎の地とは深い関係を保ち、長崎造船所や高島炭鉱など長崎の地で大きく事業を拡大していきます。一方で、岩崎家の人々は、西洋文化の流入の中で日本・中国など東アジアのすぐれた文化を継承するために文化財の収集にも尽力します。彌之助・小彌太父子は静嘉堂文庫を、彌太郎の長男久彌は東洋文庫を設立し、文化・芸術の発展にも寄与しました。本企画展では、長崎で企業人としての第一歩を踏み出し、近代の日本を海運や産業の面からリードした彌太郎とその弟彌之助の人物像をたどり、彼らが基盤をつくった三菱と長崎との関わりについて関係資料を通して紹介しました。また、彼らの文化人・教養人としての姿や日本に残した足跡も振り返りました。

期 間：2010年11月19日(金)～2011年1月10日(月祝)
観 覧 料：大人1,000円(800円)小中高生 500円(300円)
主 催：長崎歴史文化博物館／N I B長崎国際テレビ
共 催：三菱重工業株式会社長崎造船所
協 賛：長崎三菱信用組合
後 援：長崎県／長崎市／長崎県教育委員会／長崎市教育委員会／
長崎新聞社／西日本新聞社／朝日新聞社／日本経済新聞社
長崎支局／毎日新聞社／長崎ケーブルメディア／エフエム
長崎

総入場者数：15,055名(1日平均295名)

<関連事業>

講演会

「津本陽が語る商人龍馬と岩崎彌太郎」

日 時：10月8日(金)18:30～20:00
場 所：ホール
講 師：津本陽氏(作家)
参 加 者：121名

「グラバーの秘密－毛利家文庫本『グラバー史談速記』を読む」

日 時：11月23日(土) 13:30～15:00
場 所：ホール
講 師：岡本健一郎(当館研究員)
参 加 者：58名

「近代日本と三菱財閥～源流としての長崎～」

日 時：11月28日(土)13:30～15:00
場 所：ホール
講 師：大石直樹氏(埼玉大学准教授)
参 加 者：65名



「彌太郎対談 岩崎彌太郎と外国商人」

日 時：12月18日(土)13:30～15:00

場 所：ホール

講 師：ブライアン・バーフガフニ氏(長崎総合科学大学教授)
赤瀬 浩氏(『彌太郎の長崎日記』著者)

参加者：82名



史跡めぐり

「日記でめぐる彌太郎の足跡」

日 時：12月11日(土)13:00～15:30

場 所：長崎市内

博物館→迎陽亭→聖福寺→小曾根邸跡→土佐商会→対馬藩
蔵屋敷→花月→高島秋帆旧宅跡

講 師：岡本健一郎(当館研究員)

参加者：28名



親子で金唐革のコースターづくり

日 時：12月4日(土)・5日(日)14:00～16:00

場 所：講座室

参加料：500円

参加者：6名

新春NEW YEARコンサート

日 時：1月3日(月)14:30～15:30

場 所：1階エントランス

出 演：長崎新演奏家協会

参加者：145名

チャイナドレスと上海モダン展

チャイナドレスは中国語で「旗袍(チーパオ)」といい、現在も世界的に注目されているファッションアイテムの1つです。その歴史を辿ってみると、清朝の貴族である旗人たちが着装した袍服から派生し、20世紀初頭の上海で現在の形が誕生しました。租界を通じた西洋文化の浸透や、消費文化の拡大を背景に誕生したこの新しい衣装は、やがて当時の「摩登女子(モダンガール)」の流行ファッションとして一世を風靡します。本展は、世界随一の旗袍コレクションである「謝黎コレクション」から厳選した約170点を一堂に展示し、チャイナドレスの歴史的な変遷を探求しました。またチャイナドレスが流行した1920～40年代の上海と、もっとも身近な関係にあった日本の都市が長崎でした。当時の長崎と上海を結びつけた「上海航路」に関する貴重な資料の数々もあわせて紹介しました。

期 間：2011年1月29日(土)～3月27日(日)

観 覧 料：大人1,000円(800円)小中高生 500円(400円)

主 催：長崎歴史文化博物館／K T Nテレビ長崎／西日本新聞社

後 援：中華人民共和国駐長崎総領事館／長崎県／長崎市／長崎県教育委員会／長崎市教育委員会／NHK長崎放送局／エフエム長崎／長崎ケーブルメディア／長崎新華僑華人協会

監 修：謝 黎(東北芸術工科大学)

特別協力：神戸ファッション美術館／岡林隆敏(長崎大学工学部)

協 力：中国東方航空長崎支店

総入場者数：4,767名(1日平均84名)

<関連事業>

講演会

「オールド上海のモダン・ファッション —チャイナドレスの魅力—」

日 時：1月29日(土)13:30～15:00

場 所：ホール

講 師：謝 黎氏(東北芸術工科大学講師)

参 加 者：62名

「東アジアの近代化と上海・長崎」

日 時：2月5日(土)13:30～15:00

場 所：ホール

講 師：平岡 隆二(当館主任研究員)

参 加 者：32名

「上海モダンの映画女優」

日 時：2月19日(土)13:30～15:00

場 所：ホール

講 師：西谷 郁氏(福岡インディペンデント映画祭代表)

参 加 者：28名



「上海航路の時代—上海と長崎・雲仙—」

日 時：3月5日(土)13:30～15:00

場 所：ホール

講 師：岡林 隆敏氏(長崎大学)

参加者：33名

趙国良コンサート

東北地方太平洋沖地震復興チャリティコンサート

日 時：3月19日(土)13:30～15:00

場 所：ホール

出 演：趙国良(胡弓)宮崎漢生(キーボード)

入 場 料：当日2500円(前売り2000円)

参加者：93名

中国茶芸体験講座

日 時：3月6日(日)午前の部10:30～／午後の部13:30～

場 所：講座室

講 師：糸永佳代氏(日本中国茶普及協会)

参加費：1500円(おみやげ茶葉付)

参加者：29名

ビーズ・ラインストーンを使ってオリジナル手鏡を作ろう

日 時：2月27日(日)・3月13日(日)13:30～15:30

場 所：ホール

参加者：15名



2 常設展

平成21年度

美術展示室 特集展示

テーマ	期 間	概 要
端午の節句	4月22日～6月15日	端午の節句にちなみ、立身出世を意味する鯉や武将、鷹などを描いた作品を展示。この季節にふさわしい花鳥画や風俗画もあわせて紹介。
筆遣いの妙味－描法・技法で色彩を感じる水墨画－	6月17日～7月20日	江戸時代に流行した水墨画である南画(文人画)、黄檗僧や南蘋派の絵師によるものなど、長崎に伝わる様々な水墨による作品を展示。
うっかり三人組の夏休み －数から読みとく博物館の宝物－	7月22日～9月14日	「虎溪三笑」の名で知られる3人の僧侶を描いた絵画にちなみ、数字をキーワードに様々な作品を読み解いていく。
江戸・明治時代の展覧会「書画会」	9月16日～11月16日	江戸時代から明治にかけて流行した「書画会」。長崎では南画家・木下逸雲らによって形成された「清譚会」がよく知られている。当時の書画会にちなんだ作品を展示。
長崎派が描いた虎	11月18日～2010年1月25日	2010年の寅年にちなみ、長崎派らしい個性ある虎図の数々を紹介するとともに、鶴や正月にちなんだ絵画や書を展示。
南蘋派と南画	1月27日～3月15日	長崎の画壇を特徴づける沈南蘋によって伝えられた南蘋派の絵画と文人画や南画と呼ばれる水墨画の作品を展示。
描かれた女性・女性が描いた女性 －丸山遊女の美人画から女性画家栗原玉葉の作品まで－	3月17日～5月17日	華やかな丸山遊女の美人画や版画化された異国の女性、長崎が生んだ女性画家など長崎に関連する女性像を展示。

奉行所復元ゾーン

テーマ	期 間	概 要
武者飾り	4月24日～5月10日	幕末期に長崎に来た廻船業兼酒造家の肥塚家から寄贈された江戸時代の武者飾りを奉行所復元ゾーン玄関に展示。

平成22年度

美術展示室

テーマ	期 間	概 要
知られざる黄檗宗の世界	5月19日～7月19日	1654年(承応3)に来日した隠元隆琦禪師により広がった黄檗宗の影響を受けた黄檗派の絵画や黄檗僧による唐様の書を展示。
夏休み特集展示 ようこそ江戸時代のアトリエへ －ゾウと歩こう、宝物の部屋－	7月21日～8月31日	長崎版画に描かれたゾウと一緒に宝物がぎっしり詰まった江戸時代のアトリエをのぞいてみようという子どもも楽しめる夏休み特集展示。
くんち三七六年展	9月2日～10月18日	龍馬を庇護した長崎の女性商人、大浦慶が奉納した油屋町の傘鉦の垂や上野彦馬撮影局による写真など、くんちにまつわる当館の収蔵資料を公開。
長崎の南画家と来船清人	10月20日～12月20日	日本の南画家と交遊した伊孚九や江稼圃といった中国人の絵画と彼らに師事し、共に書画会などを楽しんだ長崎の南画を紹介。
お正月・長崎ランタンフェスティバル 特集展示 願ったり叶ったり！ 中国の神さまに願いを込めて	12月22日～2011年2月14日	江戸時代の長崎では、神仙思想から民間信仰まで様々な中国の信仰の様が伝えられ、長崎文化の形成に大きな刺激を与えた。当時の長崎の絵師らがそれらの影響を受けて描いた個性的な神仙たちの姿を展示。
長崎絵画のプロフェッショナル集団 唐絵目利の世界(前編)	2011年2月16日～4月18日	江戸時代舶来した中国絵画の鑑定や評価を行った地役人でもある唐絵目利は御用絵師を兼務している場合も多かった。江戸時代中期頃までに活躍した彼らの作品と活動を紹介します。

4

教育普及事業

1 講演会・講座

平成21年度

■長崎学講座

場 所：ホール 時 間：13:30～15:30

テーマ：長崎の寺院

テーマ	講 師	開催日	参加者数
第1部「長崎における禅宗寺院」 第2部「写真で歩く長崎の歴史散歩」	原田博二(当館研究所長)	4月11日(土)	170名
第1部「長崎における浄土宗寺院」 第2部「写真で歩く長崎の歴史散歩」	宮川雅一(長崎史談会相談役) 原田博二(当館研究所長)	6月13日(土)	135名
第1部「長崎における廃寺」 第2部「写真で歩く長崎の歴史散歩」	日宇孝良(長崎史談会幹事) 原田博二(当館研究所長)	8月22日(土)	132名
第1部「長崎における日蓮宗寺院」 第2部「写真で歩く長崎の歴史散歩」	西脇金一郎(長崎史談会幹事) 原田博二(当館研究所長)	10月17日(土)	121名
第1部「寺町をさるく」 第2部「写真で歩く長崎の歴史散歩」	小嶺昭典(長崎史談会幹事) 原田博二(当館研究所長)	12月12日(土)	104名
第1部「長崎の真宗寺院」 第2部「写真で歩く長崎の歴史散歩」	赤瀬浩(佐古小学校教諭) 原田博二(当館研究所長)	2月13日(土)	106名

史跡めぐり

場 所	コース	開催日	参加者数
愛宕山方面	愛宕神社上宮～八坂神社	5月16日(土)	91名
観音寺	コース 観音寺	7月18日(土)	109名
悟真寺方面	横山桜碑～悟真寺	9月19日(土)	83名
本蓮寺方面	本蓮寺～聖福寺	11月21日(土)	85名
穴弘法寺方面	浦上天主堂～穴弘法寺	1月16日(土)	90名
金比羅山方面	長崎歴史文化博物館～金比羅山	3月28日(日)	52名

テーマ：壱岐の歴史文化

テーマ	講 師	開催日	参加者数
「一支国の王都・原の辻遺跡」	石尾和貴(長崎県文化振興課)	4月25日(土)	75名
「東アジアのなかの壱岐」	深瀬公一郎(当館研究員)	5月23日(土)	76名
「壱岐国歴史よもやま話」	須藤正人(壱岐市教育委員会教育長)	6月27日(土)	108名
「壱岐の古墳」	田中聡一(壱岐市教育委員会文化財課)	7月4日(土)	102名
壱岐史跡めぐり		8月1日(土) ～8月2日(日)	11名
「壱岐の中世石造物」	大石一久(長崎県文化振興課)	8月16日(日)	40名

■エキスパート講座

場 所：講座室 時 間：10:30～12:00

テーマ	講 師	開催日	参加者数
謎の画家 川原慶賀	原田博二(当館研究所長)	5月9日(土)	33名
長崎奉行の抜荷取締と遠見番所	深瀬公一郎(当館研究員)	5月23日(土)	29名
近世長崎のコレラと天然痘	平岡隆二(当館主任研究員)	6月27日(土)	17名
長崎南画の書画会について	植松有希(当館研究員)	7月11日(土)	23名
長崎と上方・絵師山口春春	越中勇(当館主任研究員)	7月25日(土)	13名
黄檗文化と長崎	原田博二(当館研究所長)	9月5日(土)	31名
キリシタン教理書における「デウスの存在証明」	平岡隆二(当館主任研究員)	9月26日(土)	11名

唐人屋敷と唐通事	深瀬公一郎(当館研究員)	10月10日(土)	25名
礼拝と祝祭の絵画・長崎の涅槃図	植松有希(当館研究員)	10月17日(土)	10名
長崎と上方・画僧鶴亭	越中勇(当館主任研究員)	11月14日(土)	11名

■館長ミュージアムトーク

場 所：ホール 時 間：11:00～12:00 講 師：大堀哲(当館館長)

テーマ	開催日	参加者数
あらためて生涯学習を考える ～野口英世の母の手紙などから～	5月26日(火)	27名
人はなぜ学ぶのか	7月28日(火)	56名
感性教育、家庭教育などの場・生涯学習博物館	9月29日(火)	30名
生涯学習機関としての博物館と学校との連携	11月24日(火)	26名
龍馬の手紙と生涯学習 ～龍馬に学ぶ長崎学～	3月30日(火)	35名

■市川森一奉行所トーク

トーク：市川森一名誉館長 場 所：常設展示室(奉行所ゾーン) 時 間：12:45～13:50

テーマ	ゲスト	開催日	参加者数
医学伝習所について	相川忠臣氏(活水女子大学教授)	4月19日(日)	51名
長崎のお盆について	原田博二(当館研究所長)	6月28日(日)	
長崎くんちについて	宮川雅一氏(長崎史談会相談役)	8月23日(日)	75名
お茶について	下川達彌氏 (活水女子大学文学部教授)	10月25日(日)	80名
春慶節について	黄禹生氏 (孔子廟・中国歴代博物館館長)	12月20日(日)	50名
シーボルトについて	宮坂正英氏 (長崎純心大学人文学部教授)	2月28日(日)	20名

■龍馬伝関連講座

場 所：ホール 時 間：13:30～15:00

テーマ	講 師	開催日	参加者数
長崎と龍馬	原田博二(当館研究所長)	8月29日(土)	192名
伊良林亀山社中跡について	越中勇(当館主任研究員)	9月26日(土)	110名
NHK龍馬伝ドラマ館がやってくる	海江田義広(長崎県文化振興課)	10月18日(日)	77名
龍馬が生きた時代の美術	植松有希(当館研究員)	12月19日(土)	55名
長崎の龍馬と薩摩藩 ～東アジアのなかの幕末長崎～	深瀬公一郎(当館研究員)	1月30日(土)	92名
幕末長崎と坂本龍馬	海江田義広(長崎県文化振興課)	2月27日(土)	71名
龍馬の時代の長崎と科学技術	平岡隆二(当館主任研究員)	3月27日(土)	61名

■古文書解読講習会

会 場	講 師	開催日	参加者数
佐世保市中部地区公民館講座室	深瀬公一郎(当館研究員)	8月29日(土) 13:00～16:00	18名
長崎歴史文化博物館ホール	深瀬公一郎(当館研究員)	8月30日(日) 13:00～16:00	36名

■古文書修復技術講習会

講 師：富川敦子(当館研究員) 場 所：修復室

講座名	内 容	開催日	参加者数
古文書修復技術講習会1(初心者対象)	簡単な虫損直し、裏打ち等	7月6日(月) ～7日(火) 10:00～17:00	7名
古文書修復技術講習会2(経験者対象)	糊炊き、判取り帳作成、 虫損直し、裏打ち等	11月9日(月) ～10日(火) 10:00～17:00	9名

平成22年度

■長崎学講座

テーマ：幕末長崎 場 所：ホール

テーマ	講 師	開催日	参加者数
写真から見える幕末の長崎 彦馬と龍馬の「であい」	姫野順一氏(長崎大学教授)	4月10日(土) 14:00～15:30	140名
古写真に写る長崎探訪 (コース：中島川～伊良林～寺町界隈)	加藤謙一(当館研究員)	5月8日(土) 10:00～12:00	27名
幕末の長崎における日本と西洋の出会い	ブライアン・パークガフニ氏 (長崎総合科学大学教授)	5月16日(日) 14:00～15:30	134名
古写真に見る坂本龍馬と幕末の長崎	柴多一雄氏 (長崎大学附属図書館館長)	5月22日(土) 14:00～15:30	142名
長崎奉行所 最後の唐絵目利荒木千洲について	越中勇(当館主任研究員)	8月7日(土) 14:00～15:30	61名
龍馬の望まなかった戊辰戦争 - 白虎隊と長崎幕末英雄伝 - 第一部 「白虎隊の会について」 「白虎隊の残したものの"義"」 第二部 シンポジウム 「長崎幕末英雄伝」	中村正(白虎隊の会役員) 飯沼一元(白虎隊の会事務局長) パネリスト 6名	10月16日(土) 13:00～17:00	137名
日記でめぐる彌太郎の足跡 (コース：岩崎展見学～土佐商会跡～丸山～高島秋帆旧宅)	岡本健一郎(当館研究員)	12月11日(土) 13:00～15:30	28名
幕末の美術 江戸と明治のはざままで	植松有希(当館研究員)	2月12日(土) 14:00～15:30	38名

テーマ：島原の歴史

場 所：ホール

テーマ	講 師	開催日	参加者数
コレジオの学問と教育	平岡隆二(当館主任研究員)	5月9日(日) 14:00～15:30	73名
島原に残された世界地図 ～絵図のなかの世界観～	深瀬公一郎(当館研究員)	7月4日(日) 14:00～15:30	61名
史跡めぐり (コース：口之津歴史民俗資料館～原城跡～原城文化センター ～西有家吉利支丹墓碑)	原田建夫氏 (南島原市口之津歴史民俗資料館 ・海の資料館館長) 松本慎二氏 (南島原市教育委員会文化財課)	8月29日(日) 9:00～18:00	54名
原城発掘が語る島原・天草一揆	松本慎二氏 (南島原市教育委員会文化財課)	9月19日(日) 14:00～15:30	62名
史跡めぐり (コース：島原湊～浜の川湧水～別当中村家跡～別当中村家屋敷門 ～武家屋敷～島原城)	松尾卓次氏(島原城資料館専門員)	11月13日(土) 14:00～15:30	27名
キリシタン墓碑 - 公認期から潜伏期まで -	大石一久氏(長崎県文化振興課)	1月9日(日) 14:00～15:30	56名

■エキスパート講座

場 所：講座室 時 間：14:00～15:30

テーマ	講 師	開催日	参加者数
南蛮科学から紅毛科学へ	平岡隆二(当館主任研究員)	6月19日(土)	23名
唐人屋敷の設置と唐寺	深瀬公一郎(当館研究員)	7月10日(土)	17名
長崎八景をめぐる～八景文化と長崎の名所絵・長崎版画～	植松有希(当館研究員)	8月21日(土)	20名
幕末長崎における諸藩の交易 - 武器購入と土佐商会 -	岡本健一郎(当館研究員)	9月11日(土)	19名
絵師司馬江漢の長崎旅行について	越中勇(当館主任研究員)	10月30日(土)	15名
シーボルトと出島	平岡隆二(当館主任研究員)	11月14日(日)	14名
唐僧の渡来と東アジア	深瀬公一郎(当館研究員)	12月18日(土)	16名
長崎の南画家と来舶清人	植松有希(当館研究員)	1月29日(土)	10名
長崎関役と情報管理	岡本健一郎(当館研究員)	2月19日(土)	18名
伊勢長島藩御用絵師 春木南湖の『西游日簿』を読む	越中勇(当館主任研究員)	3月5日(土)	11名

■館長ミュージアムトーク

場 所：ホール 時 間：11:00～12:00 講 師：大堀哲(当館館長)

テーマ	開催日	参加者数
徳川将軍秀忠・家光・家綱と会津藩祖保科正之 そしてその時代	7月10日(土)	51名
会津藩校・日新館とその教育	12月4日(土)	44名
藩主松平容保の京都守護職就任と会津白虎隊の悲劇	3月12日(土)	31名

■市川森一奉行所トーク

トーク：市川森一名誉館長 場 所：ホール／イベントの間 時 間：12:45～13:50

テーマ	ゲスト	開催日	参加者数
甦る幕末の長崎：古写真が語る人・町・建物	姫野順一氏(長崎大学教授)	4月25日(日)	65名
お龍の長崎日和こぼれ話	小曾根育代氏	6月27日(日)	170名
二つの長崎ぶらぶら節	大田由紀氏(長崎女性史研究会)	9月12日(日)	79名
長崎と龍馬	柴崎賀広氏(長崎龍馬会龍馬楽校長)	10月31日(日)	147名
島原・天草一揆	大石一久(長崎県文化振興課)	12月26日(日)	88名
大浦慶について	本馬恭子氏(女性史研究者)	2月27日(日)	92名

■れきぶんワークショップ

場 所：講座室 時 間：14:00～15:30

テーマ	講 師	開催日	参加者数
博物館の秘密	竹内有理(当館教育研究グループリーダー)	4月17日(土)	12名
残したい和紙の文化	富川敦子(当館研究員)	5月15日(土)	21名
長崎事始め－観光資源としての文化財	一瀬勇士(当館研究員)	7月17日(土)	11名
再発見！長崎と福建の今を知る	加藤謙一(当館研究員)	9月18日(土)	6名
文化財を守る	関裕典(当館研究員)	11月20日(土)	4名
手紙・写真の保存箱をつくる	久保憲司(当館研究員)	1月15日(土)	7名
長崎版画を学ぶ・つくる	下田幹子(当館研究員)	3月19日(土)	4名

■これから始める古文書講座

場 所：講座室 時 間：14:00～16:00 定 員：30名

テーマ	講 師	開催日	参加者数
古文書へのいざない	岡本健一郎・深瀬公一郎(当館研究員)	4月11日(日)	18名
第1回 長崎奉行への手紙を読む	岡本健一郎(当館研究員)	5月30日(日)	31名
第2回 長崎奉行所の記録を読む	岡本健一郎(当館研究員)	6月20日(日)	31名
第3回 犯科帳を読む	岡本健一郎(当館研究員)	7月18日(日)	30名
第4回 唐人屋敷の記録を読む	深瀬公一郎(当館研究員)	9月12日(日)	23名
第5回 唐寺の記録を読む	深瀬公一郎(当館研究員)	10月17日(日)	23名
第6回 オランダに関する記録を読むⅠ	平岡隆二(当館主任研究員)	11月21日(日)	24名
第7回 オランダに関する記録を読むⅡ	平岡隆二(当館主任研究員)	12月19日(日)	25名
第8回 偉人たちの書状を読む	深瀬公一郎(当館研究員)	1月15日(日)	19名

場所：佐世保市立中部地区公民館講座室

テーマ	講 師	開催日	参加者数
長崎の古文書を読む	岡本健一郎・深瀬公一郎(当館研究員)	8月22日(日) 10:00～16:00	28名

■古文書修復技術講習会

講 師：富川敦子(当館研究員) 場 所：講座室・修復室

講座名	内 容	開催日	参加者数
古文書修復技術講習会1(初心者対象)	和本の作成、修復作業	7月26日(月) ～27日(火) 10:00～17:00	11名
古文書修復技術講習会2(経験者対象)	襖の裏貼り文書の剥しと修補	9月6日(月) ～7日(火) 10:00～17:00	5名

2 こども向けプログラム

1. おはなし会とものづくり

季節の行事に合わせ、絵本や紙芝居の読み聞かせとものづくりを行った。

対象：幼児～小学校低学年

定員：20名

参加費：100円

平成21年度

テーマ	開催日	参加者
かぶとづくり(端午の節句)	5月5日	24名
七夕かざり(七夕)	7月4日(土)	18名
くんちてぬぐい(くんち)	10月3日(土)	35名
れきぶんカルタ(正月)	12月5日(土)	6名
鬼のお面(節分)	1月30日(土)	18名
おひなさま(桃の節句)	2月27日(土)	24名

平成22年度

テーマ	開催日	参加者
鯉のぼり・かぶと(端午の節句)	5月5日(水・祝)	23名
七夕かざり(七夕)	7月3日(土)	12名
くんちてぬぐい(くんち)	10月2日(土)	38名
れきぶんかるた(お正月)	12月18日(土)	23名
鬼のお面(節分)	1月29日(土)	11名
折びな(桃の節句)	2月26日(土)	8名

2. れきぶんこどもクラブ

平成21年度より、これまで単独で行っていた子ども向けの体験講座を事前に募集したメンバー30名を対象とした全7回の連続講座として実施した。

目的：博物館の資料を活用した参加体験型のワークショップを通して、長崎の歴史や文化に対する理解や興味を深めることを目的とする。

対象：小学1年生～中学3年生

定員：20名

参加費：3,000円(7回分)

平成21年度

前期(4月～7月) 時間：14:00～16:00

テーマ	開催日	参加者
でんしゃがはしるステキな町づくり	4月25日(土)	19名
オリジナルの和紙づくり(紙すき)	5月9日(土)	18名
自分の和紙で作品づくり	5月23日(土)	18名
月琴にふれてみよう、 ひいてみよう(月琴)	6月13日(土)	17名
えがいてみよう! ガラス絵	6月27日(土)	20名
壱岐いき古代人	7月11日(土)	20名
作品てんじ	7月25日(土) 展示期間 7月26日～8月9日	20名



後期(10月～2月) 時間：14:00～16:00

テーマ	開催日	参加者
れきぶん屏風づくり	10月24日(土)	22名
墨で絵をえがこう(南画)	11月15日(日)	18名
オリジナルの器づくり(陶芸)	11月28日(土)	21名
和紙の秘密をまなぼう!	12月12日(土)	21名
絵付けに挑戦(陶芸)	1月9日(土)	18名
中国の神様とあそぼう	1月30日(土)	18名
作品てんじ	2月13日(土) 展示期間 2月14日～2月28日	20名

平成22年度

前期(4月～7月) 時間：14:00～16:00

テーマ	開催日	参加者
なりきり写真師	4月24日(土)	19名
オリジナル和紙づくり	5月29日(土)	18名
和紙を使って作品づくり	6月12日(土)	19名
粘土で根付づくり	6月26日(土)	16名
「南画」に挑戦!	7月11日(日)	19名
楽しく漫画をかいてみよう	7月24日(土)	17名
展覧会をつくろう	8月7日(土)	19名

後期(10月～2月)時間：14:00～16:00

テーマ	開催日	参加者
和紙に手紙を書いてみよう!	10月16日(土)	15名
オリジナルの器づくり(陶芸)	10月30日(土)	18名
えがいてみよう! ガラス絵	11月13日(土)	18名
金唐草風のコースターづくり	11月27日(土)	18名
器にえがこう(絵付け)	12月11日(土)	18名
染めてみよう(染物)	1月22日(土)	17名
作品展示	2月5日(土)	18名

3. その他のイベント

平成21年度

イベント名	内容	開催日	参加者
おもしろ光のサーカス	伝統技術をいかした映像と生演奏による楽しい作品 参加費：公演1,500円 ワークショップ500円	4月4日(土) 公演 11:00～/ 17:00～ ワークショップ 14:00～ 4月5日(日) 公演 10:30～/ 14:00～ ワークショップ 11:30～ 会場：ホール	207名
こどものへや	ぬり絵、絵本、ペーパークラフト、折り紙、おもちゃなどを楽しめるフリースペース 入場無料	5月2日(土)～6日(水) 10:00～17:00 会場：エントランスホール	
うっかり三人組の夏休み～数から読みとく博物館の宝物～	博物館の宝物をうっかり三人組といっしょに数をキーワードに詠みとってみよう	7月22日(水)～9月14日(月) 会場：美術工芸展示室	
河童とおはなし会	芥川龍之介が描いた有名なカッパの屏風を見たり、おはなしを聞いたりして、自分だけのカッパの絵を描いてみよう！ 参加料：常設展観覧料が必要	7月24日(金) 14:00～15:30 会場：常設展示室(町屋)	
Let's スケッチ！	気に入った展示物や風景を描いてみよう。 参加費：300円	7月25日(土)・26日(日)・ 8月1日(土)・2日(日) 8:30～19:00 会場：常設展示室・企画展示室 作品展示：8月10日(月)～8月23日(日)	54名
伝統工芸体験 染め	型染めのコースター作り 参加費：500円	7月30日(木)・8月20日(木) 13:00～14:00 / 14:00～15:00 / 15:00～16:00	
れきぶんナイトミュージアム	怪談話を聞いた後にふだんは決して見ることができない夜の博物館を見学するナイト・ツアー 参加費：親子ペア1,000円	2009年7月25日(土) 19:00～21:00 会場：企画展示室・常設展示室	57名
伝統工芸体験 陶芸(現川焼)	絵付け体験(素焼きの湯のみ)と工芸展示室の見学 参加費：500円	7月31日(金)・8月14日(金) 13:30～15:00 / 15:00～16:30 会場：体験工房	122名
伝統工芸体験 スタンドグラス	キーホルダー、ペンダントストラップ作り 参加費：400円～	8月4日(火)～6日(木) 会場：体験工房 11:00～12:00 / 13:30～14:30	
伝統工芸体験 佐世保独楽絵付け体験	佐世保独楽の絵付けと独楽回し 参加費：700円	8月5日(水)・19日(水) 11:00～/ 12:00～/ 14:00～/ 15:00～	60名
伝統工芸体験 長崎刺繍	桜やベンギン模様の刺繍体験と工芸展示室見学 参加費：800円(当日参加は1,000円)	8月7日(金)・28日(金) 10:00～12:30 / 13:30～16:00 会場：イベントの間	34名
親子で聴く音楽会	ミュージカル/オペラ/童謡/ピアノの名曲など親子で楽しめるコンサート 出演：レガリーノ 入場無料	8月8日(土) 15:30～ 会場：エントランスホール	126名
紙芝居と長崎のむかし話	平和ってなんだろう？紙芝居と絵本のお話を聞いた後、防空壕を見学 参加無料	8月9日(日)14:00～15:30 会場：イベントの間	23名
伝統工芸体験 長崎銀細工	銀細工を使ったアクセサリー作り 参加費：1,000円	8月11日(火) 10:30～12:00 / 14:00～15:30 会場：体験工房	13名
伝統工芸体験 ベっ甲	ペンダントやストラップ作りと工芸展示室の見学 参加費：500円	8月12日(水)・13日(木)・21日(金) 10:30～12:00 / 13:00～14:00 / 15:00～16:30 会場：体験工房	59名
三味線で聴くわらべ唄	三味線の音色で、長崎ゆかりのわらべ唄などを披露 演奏：新内弥栄派家元新内枝幸太夫	8月22日(土)・23日(日) 11:00～12:00 会場：常設展示室 町屋	56名
ちぎり絵アート	常設展示で気に入ったものを選んで、世界に1つだけのちぎり絵を作ってみよう 参加費：300円	8月28日(金)～30日(日) 14:00～16:00 会場：講座室	49名
「嘉代子桜」の読み聞かせ	紙芝居・読み聞かせ 長崎で被爆死した林嘉代子さんのおはなし 読み聞かせ：佐治麻希さん	9月12日(土) 14:30～15:15 会場：イベントの間	46名
新春書初め	博物館で新年の抱負や目標を自由に書いてみよう！ 指導：日本習字書道教室ひばり支部(諫早市) 参加無料	1月2日(土) 13:30～15:30 会場：エントランスホール	80名
こどものへや	カルタ遊び、福笑いやコマ回しなどのお正月にちなんだ遊びを体験できる 参加費：常設展観覧料が必要	1月2日(土)・3日(日) 13:00～16:00 会場：常設展示室(町屋)	57名

平成22年度

イベント名	内容	開催日	参加者
むかしの遊び体験	竹馬や独楽回し、一銭バタなど昔なつかしい遊びを体験 参加無料 協力：長崎節木塾	5月4日(火) 14:00～16:00 会場：イベント広場	92名
佐世保コマ絵付け体験 ※各回1時間程度	絵付け体験後、イベント広場で独楽回しに挑戦 参加費：700円 講師：山本貞右衛門(佐世保独楽本舗三代目)	5月5日(水・祝) 11:00～／13:00～／14:00～／ 15:00～ 会場：体験工房	1名
伝統工芸体験 陶芸(現川焼)	絵付け体験(素焼きの湯のみ)+工芸展示室の見学 参加費：500円 講師：長崎陶芸復興塾	7月23日(金)・7月30日(金) 時間： 10:30～12:00／13:30～15:00／ 15:00～16:30 会場：体験工房	58名
河童とおはなし会	7月24日の芥川龍之介の命日にちなんで、カッパの絵を見たり、おはなしを聞いたりして、自分だけのカッパの絵を描いてみよう！ 参加費：常設展観覧料が必要(長崎県内の小中学生は無料)	7月25日(日) 14:00～15:30 会場：常設展示室(町屋)	
伝統工芸体験 ベっ甲	ペンダントやストラップの製作+工芸展示室見学 参加費：500円 講師：川政ベっ甲	7月26日(月)・27日(火)・ 8月5日(木) 時間：10:30～12:00／ 13:00～14:30／15:00～16:30 会場：体験工房	51名
伝統工芸体験 染め 期日：2010年	型染めのエコバックづくりに挑戦！ 参加費：600円 講師：長崎の染塾	7月29日(木)・8月12日(木) 時間：10:30～11:30／13:00～14:00／ 14:00～15:00／15:00～16:00 会場：体験工房	131名
れきぶんナイトミュージアム	夜の龍馬伝館をはじめ、ふだんは決して見る事の出来ない博物館の裏側をめぐるプレミアムツアー 参加費：親子ペア1,000円	7月30日(金) 19:00～21:00 会場：龍馬伝館、常設展示室、 バックヤード	73名
長崎版画体験	江戸時代の長崎みやげ「長崎版画」で中国船の作品をつくったあと、展示室の船を見に行ってみよう 参加料：300円	7月31日(土) 14:00～15:30 会場：講座室	18名
伝統工芸体験 スタンドグラス	キーホルダー、ペンダントストラップ製作 参加費：400円～ 講師：長崎やけんスタンドグラス塾	8月2日(月)～8月4日(水) 時間：11:00～12:00／ 13:30～14:30／15:00～16:00 会場：体験工房	47名
伝統工芸体験 長崎刺繍	桜やペンギン模様の刺繍体験+工芸展示室見学 参加費：800円(事前予約) 講師：長崎刺繍再発見塾	8月6日(金)・8月20日(金) 時間：10:00～12:30／13:30～16:00 会場：イベントの間	36名
伝統工芸体験 長崎銀細工	銀細工を使ったアクセサリー作り 参加費：1,000円 講師：長崎銀細工研究塾	8月10日(火) 時間：10:30～12:00／14:00～15:30 会場：体験工房	10名
伝統工芸体験 佐世保独楽絵付け体験	佐世保独楽の絵付けと独楽回し 参加費：700円 講師：山本貞右衛門(佐世保独楽 三代目)	8月18日(水) 時間：11:00～／13:00～ ／14:00～／15:00～ 会場：体験工房	41名
コンサート ようこそアニメの世界へ！	なつかしのアニメソングを中心に大人から子どもまで楽しめるコンサート 出演：レガリーノ・山口修・山口純子・後藤美樹 参加無料	8月22日(日) 14:00～15:00 会場：ホール	130名
ちぎり絵アート	展示室で気に入った資料を選んで、世界に一つだけのちぎり絵を表現してみましょう！ 参加費：100円	8月26日(木)・27日(金) 14:00～16:00 会場：講座室	55名
クリスマス スタンドグラスづくり	スタンドグラスでベルやクローバーなどのキーホルダーをつくりまします 参加費：400円	12月11日(土)、12日(日) 時間：10:30～／14:30～ 会場：体験工房	13名
薄葉紙(うすようし)をつかったクリスマスカードづくり	博物館の文化財を包むときにつかう薄葉紙をつかってクリスマスカードをつくってみましょう 参加無料	12月12日(日) 13:30～16:00 会場：イベントの間	35名
環境学習会エコまなば！ キャンドルを作って、電気を消そう！	廃油を使ってエコなクリスマスキャンドルをつくってみよう 参加無料 協力：長崎県地球温暖化防止活動推進センター	12月23日(祝・木) 13:00～16:00 会場：エントランスホール	100名
れきぶんお年玉クイズ大会	博物館や長崎の歴史・文化にちなんだクイズを実施。クイズに答えてステキなプレゼントをゲットしよう！	1月1日(土) 13:30～14:30 会場：エントランスホール	91名
新春書初め	指導：日本習字書道教室ひばり支部(諫早市) 参加無料	1月2日(日) 13:30～15:30 会場：エントランスホール	113名

3 学校との連携

学校団体来館状況

		平成21年度		平成22年度	
		件数	人数	件数	人数
県内	小学校	152	5,260	287	9,741
	中学校	38	1,445	41	1,967
	高等学校	30	1,002	33	2,427
	大学	18	1,279	15	728
	その他	14	435	23	512
県外	小学校	408	15,512	365	17,041
	中学校	198	9,592	167	7,400
	高等学校	187	5,134	139	5,076
	大学	2	58	12	415
	その他	6	127	14	107
合計		1,053	39,844	1,096	45,414

1. 協力校・パートナーズプログラム

平成20年度より「協力校・パートナーズプログラム」と名称を変更し、新たにスタートした学校との連携プログラムのさらなる発展をめざし、平成21年度と平成22年度も同事業を継続して行った。平成22年度には参加者の拡大をはかることができた。研修会を通して博物館職員と教師との間の意思疎通をはかることにより、博物館を使った様々な授業実践が行われるようになったのは大きな成果だったといえる。

平成21年度

(1)「協力校」実施概要

①目的

- 長崎歴史文化博物館と県内の学校の連携を強化する。
- 長崎歴史文化博物館を使った効果的な活用方法について、学校と博物館とが共同して研究・開発を行い、すぐれた活用事例をつくる。

②活動期間 2009年5月16日～2010年3月31日

③活動内容

5月16日に開催する説明会と、2ヶ月に1回開催する研修会に参加し、企画展・常設展の見学や教育普及事業について意見交換会を行なう。1年間の活動のまとめとして年度末の活動報告会で博物館を活用した授業の実践例や指導案の発表を行う。

④研究内容 *いずれかを実施

- ・博物館の展示や収蔵資料を用いた見学の実践
- ・見学前の事前授業としての出前授業もしくは移動博物館の受入
- ・博物館の教育プログラム(学校向けプログラム、ワークシート、貸出教材等)の活用

⑤参加特典

- ・学校行事の一環として博物館を利用する場合には、常設展・企画展とも引率の教師を含め観覧無料。
- ・メンバーズカードのご提示により担当の先生に限り、常設展・企画展とも観覧無料。
- ・企画展ごとに招待券を20枚贈呈
- ・貸出教材の優先貸出し
- ・その他教育プログラムの優先的利用

- ・公式ガイドブックの贈呈
- ・子供向けガイドブックの贈呈
- ・企画展図録の贈呈
- ・長崎歴史文化博物館の各種催事等の情報提供

(2)「パートナーズプログラム」実施概要

①目的

- 長崎歴史文化博物館と県内の学校の連携を強化する。
- 長崎歴史文化博物館を使った効果的な活用方法について、学校と博物館とが共同して研究・開発を行い、すぐれた活用事例をつくる。

②対象

県内の小中高校教員40名(申込締切 5月1日(金))

③活動期間 2009年5月16日～2010年3月31日

④活動内容

5月16日に開催する説明会と、2ヶ月に1回開催する研修会に参加し、企画展・常設展の見学や教育普及事業について意見交換会を行なう。1年間の活動のまとめとして年度末の活動報告会で博物館を活用した授業の実践例や指導案の報告(A4用紙1枚程度)を行なう。

⑤研究内容 *いずれかを実施または計画

- ・博物館の展示や収蔵資料を用いた見学の実践
- ・見学前の事前授業としての出前授業
- ・博物館の教育プログラム(学校向けプログラム、ワークシート、貸出教材等)の活用

⑥参加特典

- ・学校行事の一環として博物館を利用する場合には、常設展・企画展とも引率の教師を含め無料。
- ・メンバーズカードのご掲示によりご担当の先生に限り、常設展・企画展とも観覧無料。
- ・貸出教材の優先貸出し
- ・その他教育プログラムの優先的利用
- ・公式ガイドブックの贈呈
- ・子供向けガイドブックの贈呈
- ・企画展図録の贈呈
- ・長崎歴史文化博物館の各種催事等の情報提供

(3)参加メンバー

協力校	長崎市立桜町小学校 長崎市立上長崎小学校 長崎市立伊良林小学校 長崎市立諏訪小学校 長崎県立長崎東中学校 長崎市立片淵中学校 長崎市立桜馬場中学校	山田裕介教諭 前田雄司教諭 森山哲教諭 松本英樹教諭 山野健二教諭 井手一夫教諭
パートナーズ	精道三川台中・高等学校 長崎市立小ヶ倉小学校 島原中央高校 長崎市立畝刈小学校 長崎市立西山台小学校 長崎市立西山台小学校 西海市立瀬戸小学校	小林正一教諭 加藤尊城教諭 小嶺嘉浩教諭 梅林一城教諭 中山美加教諭 川口邦春教諭 福田浩久教諭

	西海市立瀬戸小学校	深堀昭三教諭
	長崎市立西城山小学校	川端健一教諭
	長崎市立日見小学校	小林輝子教諭
	長崎市立晴海台小学校	西村慎一郎教諭
	長崎市立高浜小学校	岩隈佳子教諭
	長崎市立虹が丘小学校	松尾恵子教諭
	長崎市立村松小学校	田中英明教諭

(4) 実施日

説明会	5月16日(金)	13:30～17:00
第1回 研修会	6月28日(日)	13:30～17:00
第2回 研修会	9月26日(土)	13:30～17:00
第3回 研修会	11月14日(土)	13:30～17:00
第4回 研修会	2月6日(土)	13:30～17:00
活動報告会	2月20日(土)	13:30～17:00

平成22年度

実施概要については平成21年度と同じ。

(1) 参加メンバー

協力校	長崎市立上長崎小学校 長崎市立桜町小学校 長崎市立諏訪小学校 長崎市立片淵中学校 長崎県立長崎東中学校	安達亜紀子教諭 山田裕介教諭 坂本陽一教諭 中野浩一教諭 山崎浩一教諭
パートナーズ	有明幼稚園 長崎市立村松小学校 長崎市立村松小学校 長崎市立村松小学校 長崎市立日見小学校 長崎市立深堀小学校 長崎市立女の都小学校 長崎市立虹が丘小学校 長崎市立畝刈小学校 長崎市立西山台小学校 長崎市立為石小学校 西海市立瀬戸小学校 精道三川台中学・高等学校 諫早市立飯盛中学校 長崎市立茂木中学校 純心中学校 島原中央高等学校	小嶺典子教諭 田中英明教諭 南部弥生教諭 桑原重久教諭 山田俊介教諭 小林輝子教諭 加藤尊城教諭 深堀昭三教諭 松尾恵子教諭 梅林一城教諭 中山美加教諭 西村慎一郎教諭 福田浩久教諭 小林正一教諭 田中康之教諭 上田清人教諭 袖山道典教諭 小嶺嘉浩教諭

	島原中央高等学校	的野幸一郎教諭
	長崎県立長崎明誠高等学校	橋本正信教諭
	長崎県立長崎西高等学校	安達典久教諭
	活水高等学校	岩永崇史教諭
	長崎県立希望が丘高等特別支援学校	陶山美紀教諭

(2)実施日

説明会	5月15日(土)	趣旨説明と昨年の活動報告、今年度の活動計画に関する意見交換
第1回 研修会	7月17日(土)	実践事例に関する情報交換、常設展示の改善点のチェック
第2回 研修会	8月21日(土)	実践事例に関する情報交換、常設展示の点検、バックヤードツアー
第3回 研修会	10月2日(土)	実践事例に関する情報交換、研究員による常設展示解説講座
第4回 研修会	11月20日(土)	実践事例に関する情報交換、常設展示改修計画の進捗状況報告
第5回 研修会	1月29日(土)	実践事例に関する情報交換、研究員による常設展示解説講座
活動報告会	2月26日(土)	実践事例・実践案の報告と意見交換

2. 博物館利用研修会

これまでの学校の博物館利用の事例や当館の教育普及活動についてご紹介し、博物館の効果的な利用方法について理解を深めていただくことを目的に、学校の教職員を対象にした利用研修会を実施した。

平成21年度

日時：8月3日(月) 13:30～16:30

内容：学校向け教育普及事業の紹介、博物館活用実践報告、常設展の見学

参加者：25名

平成22年度

日時：8月4日(水)13:30～16:30

内容：学校向け教育普及事業の紹介、博物館活用実践報告、解説「坂本龍馬と長崎」、常設展・龍馬伝館の見学

参加者：108名

3. 遠隔授業

離島にある学校と通信回線を使った遠隔システムによる授業を行った。

<遠隔授業の目的>

- ①離島などの遠隔地を含む県内全域を対象として「学校教育との連携」を推進する。
- ②長崎歴史文化博物館のもつ豊富な資料・情報を学校教育に役立てるとともに、博物館のもつ専門的人的資源を活用して教育の質的向上をはかる。
- ③遠隔授業の様子を広く公開し、博物館及び学校の広報・普及活動に役立てる。

平成21年度

第1回

日時：7月6日(火) 13:25～

内容：「モノから歴史を語る ～ 邪馬台国への道・一支国を探る」

対象：壱岐市立盈科小学校6年生

講師：加藤謙一(当館研究員) 深瀬公一郎(当館研究員)
大石一久(長崎県文化振興課課長補佐)

第2回

日時：7月7日(火) 13:25～15:15

内容：「モノから歴史を語る ～ 邪馬台国への道・一支国を探る」

対象：長崎県立壱岐高等学校 2年生

講師：加藤謙一(当館研究員) 深瀬公一郎(当館研究員)
大石一久(長崎県文化振興課課長補佐)

平成22年度

第1回

日時：10月27日(水)

内容：江戸時代の長崎を知ろう

対象：小値賀町立小値賀小学校

講師：加藤謙一(当館研究員) 下田幹子(当館研究員)

第2回

日時：3月3日(木) 10:30～12:20

内容：江戸時代の長崎(オランダと中国の交流)を知ろう

対象：小値賀町立小値賀中学校1年生

講師：加藤謙一(当館研究員) 下田幹子(当館研究員)

4. 移動博物館

下記の通り移動博物館を実施した。

平成22年度

会場	日時	対象	参加者
長崎市立村松小学校	6月11日(金)11:35～15:40	1年生～6年生、保護者	500名
長崎県立希望が丘高等特別支援学校	7月12日(月)10:25～13:45	1年生～2年生	90名
老人ホーム アンムート 櫻馬場	3月25日(金)10:00～11:00	入所者	24名

平成22年度 長崎歴史文化博物館移動博物館「デリバリー・ミュージアム」
募集実施要項

1. 目的 長崎歴史文化博物館の展示や活動について広く県民に周知をはかり、長崎の歴史と文化について興味関心を深めてもらうことを目的に「デリバリー・ミュージアム」を実施する。
また、遠隔地その他の理由で来館することが困難な人に、長崎歴史文化博物館の活動に触れていた
ただ機会を提供することを目的とする。
2. 内容 長崎歴史文化博物館が収蔵する資料や資料の複製、映像等を館外に持ち出して、長崎歴史文化博物
館のミニ展示を行う。あわせて、当館研究員による展示解説やワークショップを実施する。
3. 対象 長崎県内の学校、公民館、福祉施設 等
4. 募集期間 4月1日(木)～1月30日(日)
5. 開催期間 5月以降の1日間
会場設営 2時間
開催時間 2時間～3時間(人数や内容に応じて調整可能)
撤収時間 1時間
*ただし離島などの遠隔地の場合は個別にご相談させていただきます。
6. 業務分担 (1)展示資料の選定 → 開催会場との打合せにより館側で選定する。
(2)展示資料の輸送 → 博物館と開催会場間の輸送は館が行なう。
(3)会場設営及び撤収 → 館と開催会場が行なう。
(4)展示作品の設置及び撤収 → 館が行なう。
(5)開催にともない使用する展示用什器(長机、椅子、パネル等)および
映像音響機器(モニタ、プロジェクト等)の調達
→ 原則として申請者側が行なう。
7. 経費分担 (1)館負担
①展示資料の輸送費と保険料
②館職員の旅費(会場下見・展示指導・展示解説・ワークショップ指導・撤去)
(2)申請者負担
①会場使用料
②オプションプログラム(任意)
・ものづくりプログラム(長崎版画、拓本):参加者1名につき100円
・れきぶんボランティア対応プログラム:実費交通費
・れきぶん寸劇の上演:実費交通費+謝金
8. 開催地選定 (1)選定基準
①長崎県内の地域バランスを考慮する。
②展示環境とセキュリティの適正を考慮する。
③「デリバリー・ミュージアム」の実施回数が少ない地区を優先する。
9. 申込み方法 別紙1に必要事項をご記入の上、ファックスまたは郵送でお送りください。
後日、博物館より連絡をさせていただきます。
10. お問い合わせ 〒850-0007 長崎県長崎市立山1-1-1
長崎歴史文化博物館「デリバリー・ミュージアム」係
電話:095-818-8366 ファックス:095-818-8407

1 イベント

平成21年度

イベント名	内容	開催日	参加者
第4回長崎奉行所 新内寄席	出演：新内弥栄派家元 新内枝幸太夫 新内幸路 入場料：1,000円	5月10日(日) 15:30～17:00 会場：ホール	60名
第1回れきぶん ミュージアムコンサート	出演：長崎新演奏家協会 星野恵利 牧野由美(ボーカル) 後藤美樹(ピアノ) 入場無料	6月20日(土) 16:30～	33名
写真展 The West Meets the East PEOPLE PLACES THINGS(西洋と東洋 の出会い～人・場所・物～)	長崎在住のアメリカとトリニダード・ドバコ出身の「西洋」の 3人の若者が撮影した「東洋」の写真、約50点を紹介。	6月26日(金)～7月16日(木) 会場：3会企画展示室 入場無料	
第2回れきぶん ミュージアムコンサート	出演：OMURA室内合奏団アンサンブル/ 濱砂由美子(フルート) 太田さあり(ヴァイオリン) 川口千穂(ヴィオラ) 下田直子(チェロ) 入場無料	7月18日(土) 16:30～ 会場：エントランスホール	68名
奉行所夏祭り	出店や特設ステージでは多彩な出演グループによるパフォー マンスやミュージックショーを披露	8月16日(日) 17:30～21:00 会場：イベント広場	350名
長崎伝統工芸まつり	べっ甲や長崎刺繍、現川焼など長崎の伝統工芸作品の発表と 展示即売、体験コーナーなど	8月16日(日) 10:00～17:00 会場：エントランスホール	2,016名
第3回れきぶん ミュージアムコンサート	県内在住のプロの演奏家によるロビーコンサート 出演：長崎県新演奏家協会 入場無料	8月29日(土) 16:30～ 会場：エントランスホール	83名
'09長崎ミュージアムメッセ	長崎県博物館協会加盟館のポスターやミュージアムグッズ等の展示。 主催：長崎県博物館協会 長崎歴史文化博物館	9月2日(水)～9月11日(金) 会場：エントランスホール	
第5回 長崎奉行所 新内寄席	出演：新内枝幸太夫 新内幸蘭 入場料：1,000円	9月13日(日) 15:30～17:00	93名
第4回れきぶん ミュージアムコンサート	長崎県内在住のプロの演奏家によるロビーコンサート 出演：OMURA室内合奏団 入場無料	9月21日(月・祝) 16:30～ 会場：エントランスホール	60名
マエストロ 石井高トークショー	ヴァイオリンのふるさと、イタリアクレモナ在住のヴァイオ リン製作者(マエストロ)石井高先生のトークショー テーマ：「イタリア・クレモナ、音楽、ヴァイオリン」 出演：石井高(ヴァイオリン製作者) 村嶋寿深子(シーハットおおむら館長) 入場無料	10月2日(金) 16:00～17:00 会場：ホール	36名
長崎奉行所 お月見コンサート	中国の人間国宝趙国良が奏でる胡弓の調べ 出演者：趙国良(胡弓) 江舟(琴) チケット：一般1,800円(当日2,000円) 大学生以下900円(当日1,000円)	10月3日(土) 開場18:30 開演19:00 会場：奉行所ゾーン(御白洲)	177名
秋の調べ・ 室内楽コンサート	出演者：加納暁子(ヴァイオリン) 大山平一郎(ヴィオラ) 有馬史(ピアノ) 西由美子(ソプラノ) 入場無料	10月10日(土) 開演17:00 会場：エントランスホール	75名
第5回れきぶん ミュージアムコンサート	長崎県内在住のプロの演奏家によるロビーコンサート 出演：長崎県新演奏家協会 入場無料	10月31日(土) 16:30～ 会場：エントランスホール	62名
日蘭通商400周年によせて 「長崎花浪漫「和・華・蘭」文化と花の融合」	花芸安達流による生け花の展示 協力：花芸安達流伊達木百合瞳	10月31日(土)～11月14日(土) 会場：長崎奉行所ゾーン	
開館4周年記念 イタリア音楽とファッションショー	ミラノで活躍する長崎出身のファッションデザイナー、Yoshi Funabashiの春夏コレクションのショーとソプラノリサイタル 出演：船橋芳信 船橋すみ子 寺谷陽子	11月3日(火) 14:30～ 会場：エントランスホール	290名
第6回れきぶん ミュージアムコンサート	長崎県内在住のプロの演奏家によるロビーコンサート 出演：OMURA室内合奏団 入場無料	11月23日(月・祝) 16:30～ 会場：エントランスホール	53名
クリスマスコンサート ピアノとフルートの調べ	出演：杉澤葉子(ピアノ) 杉澤玲子(フルート) 入場無料	12月23日(水・祝) 15:30～16:30 会場：エントランスホール	76名
“長崎の能”と アベマリア・サンタマリア	純白のサンタ・マリア教会跡(現長崎歴史文化博物館)の丘に 能が舞い、クリスマスの歌が響きます 出演：清水寛二(観世流シテ方) 松本佳代子(ソプラノ) 山 浦直子(ピアノ) 主催：長崎クリスマス推進委員会 共催：長崎歴史文化博物館 入場無料	12月24日(木) 14:00～16:00	200名

レストラン銀嶺 ギターの調べ	聖なる夜はギターの調べとともにレストラン銀嶺で優雅なひと時を 出演：川口皓武	12月24日(木) 9:00～19:30 会場：レストラン銀嶺	
第7回れきぶん ミュージアムコンサート	長崎県内在住のプロの演奏家によるロビーコンサート 出演：長崎県新演奏家協会 入場無料	12月26日(土) 16:30～ 会場：エントランスホール	35名
新春 NEW YEAR コンサート	出演：宮田浩久氏(九州交響楽団首席チェロ奏者) 西由美子氏(ソプラノ) 有馬史氏(ピアノ) 入場無料	1月3日(日) 11:30～ 会場：エントランスホール	150名
新春 長崎奉行所 新内寄席	出演：新内枝太夫 村山由紀子 他 入場料：1,000円	1月10日(日) 13:30～16:00 会場：ホール	115名
新春初弾き ～琴とフルートの調べ～	お正月の恒例イベントとなったhミュージックと中学生による琴とフルートの演奏 演奏：hミュージック 入場無料	1月11日(月・祝) 11:30～/13:30～	103名
第8回れきぶん ミュージアムコンサート	長崎県内在住のプロの演奏家によるロビーコンサート 出演：OMURA室内合奏団 入場無料	1月23日(土) 16:30～ 会場：エントランスホール	40名
長崎奉行所・龍馬伝館 節分豆まき	奉行所式台(奉行所の門を入った所)にて、来館者へ向けて福豆撒きを行う。“当たり”の福豆を拾った来館者には記念品贈呈。	2月3日(水) 16:30～ 会場：長崎奉行所式台前	110名
第9回れきぶん ミュージアムコンサート	長崎県内在住のプロの演奏家によるロビーコンサート 出演：長崎県新演奏家協会	2月27日(土) 16:30～ 会場：エントランスホール	60名
第10回れきぶん ミュージアムコンサート	長崎県内在住のプロの演奏家によるロビーコンサート 出演：OMURA室内合奏団	3月27日(土) 16:30～ 会場：エントランスホール	70名

平成22年度

イベント名	内容	開催日	参加者
ピーター・リーチ写真展 セントポールの日本庭園	長崎市と米国ミネソタ州セントポール市との姉妹都市提携55周年を記念し、セントポール市在住陶芸家・写真家のピーター・リーチさんがセントポール市コモ公園内にある日本庭園の四季折々を撮影した写真32点を展示。	4月10日(土)～5月9日(日) 会場：エントランスホール	
第7回長崎奉行所新内寄席	出演：新内枝幸太夫 長崎枝幸会 入場料：1,000円	5月15日(土) 15:30～17:00 会場：ホール	45名
れきぶん ミュージアムコンサート	出演：長崎県新演奏家協会 入場無料	6月26日(土) 16:30～	65名
れきぶん ミュージアムコンサート	出演：OMURA室内合奏団 入場無料	7月24日(土) 16:30～ 会場：エントランスホール	76名
長崎奉行所・龍馬まつり	今年の夏祭りは、「坂本龍馬」や「幕末の長崎」にちなんだイベントが盛りだくさん！	8月7日(土) 17:00～21:00 会場：イベント広場	451名
第8回長崎奉行所新内寄席	出演：新内 枝幸太夫 長崎枝幸会 入場料：1,000円	9月20日(月・祝) 15:30～17:00 会場：ホール	71名
れきぶん ミュージアムコンサート	出演：長崎県新演奏家協会 入場無料	9月23日(木・祝) 16:30～ 会場：エントランスホール	58名
ながさき音楽祭2010 長崎奉行所 お月見コンサート	長崎出身の音楽プロデューサー、高浪慶太郎となんがさきふあいによるアンサンブルに、長崎検番による唄と月琴が加わった和と洋の異色のコラボレーション。坂本龍馬や長崎にちなんだ楽曲の数々を披露。 出演：高浪慶太郎となんがさきふあいふ 琴音(長崎検番) 入場料：1,500円(当日1,800円)(茶菓子付き)	9月24日(金) 19:00開演 会場：長崎奉行所ゾーン 御白洲	180名
ながさき音楽祭2010 池辺晋一郎 トークコンサート 「音楽の愉しみ～作曲家と音符たち～」	出演：池辺晋一郎(トーク) 松尾俊介(ギター) 入場無料	10月14日(木) 18:30～20:00 会場：ホール	165名
ながさき音楽祭2010 博物館deクラシック	出演：平澤仁(ヴァイオリン)、宮田浩久(チェロ)林田賢(ピアノ)堀内伊吹(ピアノ)市原隆靖(オーボエ) 入場無料	10月29日(金) 18:00開演 会場：エントランスホール	120名
開館5周年記念イベント Early Music Concert 南蛮の風	リュート、ヴァージナル、リコーダー、パーカッションと歌による南蛮音楽の世界 出演：辻康介(ヴォーカル) 飯塚直子(リコーダー、古楽パーカッション) 井上周子(リュート、ヴァージナル) 入場料：2,000円	11月10日(水) 開演19:00 会場：3階ロビー	30名
れきぶん ミュージアムコンサート	出演：OMURA室内合奏団 入場無料	11月13日(土) 16:30～ 会場：エントランスホール	86名
クリスマスコンサート ピアノとフルートの調べ	出演：杉澤葉子(ピアノ) 杉澤玲子(フルート) 入場無料	12月25日(土) 15:30～16:30 会場：エントランスホール	93名
新春 れきぶんNEW YEAR コンサート2011	出演：西由美子氏 ほか	1月3日(月) 13:30～15:30 会場：エントランスホール	145名

新春初弾き ～琴とフルートの調べ～	出演：hミュージック(岸川玲子氏)ほか	1月8日(土) 11:30～/13:30～ 会場：エントランスホール	123名
長崎奉行所・節分豆撒き	奉行所式台にて、年男・年女を加えて来館者へ向けて福豆撒きを行います。“当たり”の福豆を拾った来館者には記念品を贈呈。	2月3日(木) 16:30～ 会場：長崎奉行所ゾーン	89名
石井高トークコンサート	イタリア在住のヴァイオリン製作者、石井高氏のトークとヴァイオリンのコンサート 出演：石井高(ヴァイオリン製作者) 瀬崎明日香(ヴァイオリン)	2月6日(日) 15:00～17:00 会場：ホール	230名
れきぶん ミュージアムコンサート	出演：OMURA室内合奏団 入場無料	2月26日(土) 16:30～ 会場：エントランスホール	101名
れきぶん ミュージアムコンサート	出演：長崎県新演奏家協会 入場無料	3月26日(土) 16:30～ 会場：エントランスホール	64名

2 ボランティア

平成21年度

〈登録者数〉

	登録者数	男女内訳	平均年齢	居住地
展示案内	142名	男64名 女78名	62.3歳	長崎市内 125名 長崎市外 17名
寸劇	21名	男11名 女10名	60.4歳	長崎市内 16名 長崎市外 5名
古文書	17名	男3名 女14名	70.4歳	長崎市内 12名 長崎市外 5名

展示案内ボランティア内訳142名(ガイド名、外国語17名、業務支援27名)

〈活動内容〉

1 展示案内ボランティア

2階常設展示室(歴史文化展示ゾーン、長崎奉行所ゾーン)、3階企画展で来館者への展示解説(定点)や誘導等。平成22年1月9日龍馬伝館開館後は、歴史文化展示ゾーンのみに変更。

①ガイドグループ

事前申込と当日申込の団体への常設展示室内通しての展示案内。

4月から5月に全4回のガイドボランティア養成の研修を開催。研修後5名の方がガイドボランティアとして登録。

②外国語グループ〈英語〉〈中国語〉

外国人来館者への展示案内・誘導。

英語グループは工芸資料の解説、展示機器の解説等を作成。2ヶ月に1回程度の割合で勉強会を開催。中国語グループは、音声ガイドの内容を利用した勉強会を開催。

③業務支援グループ

発送作業、ボランティア通信「風説書」8号、9号、10号、11号を発行、新聞の切抜き、図書整理、教育普及活動の運営等。

2 寸劇ボランティア

土日祝日に奉行所お白洲で行う寸劇に出演・準備作業等を行う。寸劇内容は犯科帳に記載された事件に基づいており、半年に1回の割合で別の事件の寸劇に変更。

平成21年度の演目「はた揚げ騒動」「くんち奉納踊り訴え」

平成22年1月より「長崎奉行所 龍馬伝館」開設に伴い「三人の龍馬がゆく」に変更

3 古文書ボランティア

原田博二当館研究所長を中心に長崎奉行所関係史料等の翻刻作業。今年度で解散。

〈展示案内ボランティアの規定変更〉

平成22年1月より

・活動時間を変更(3時間半→3時間)

・活動時間帯を変更

(A 8:30～12:00 B 12:00～15:30 C 15:30～19:00 D 自由(3時間以上～3時間半まで)

→A 8:30～11:30 B 10:30～13:30 C 13:00～16:00 D 15:30～18:30)

〈業務支援ボランティアの規定変更〉

平成22年4月より

- ・活動内容に応じて活動回数及び活動時間の規定未満の容認を追加
- ・活動前日の活動内容の確認を追加

〈研修〉

(1) スキルアップ研修(計12回) 講師：原田博二(長崎歴史文化博物館研究所長)

時間：17:00～19:00

	テーマ
4月	龍馬と長崎 -勝海舟・坂本龍馬関係年表-
5月	長崎と石橋
6月	長崎警備
7月	長崎街道
8月	浦上街道
9月	浦上街道2・中国盆
10月	長崎派の絵画
11月	出島とその変遷
12月	新地とその変遷
1月	道教の美術展解説、黄檗宗と媽祖
2月	幕末の長崎
3月	居留地とその歴史

(2) 他博物館等視察・交流

11月 秋月城、太刀洗平和記念館見学

(3) 活動報告会・交流会

9月と3月に活動報告会・交流会を開催

平成22年度

〈新規ボランティア(第5期)研修内容〉

	日時	テーマ	講師
第1回	1/29(土)10:00～11:30	ボランティア活動について博物館の概要・23年度予定	大堀哲館長 野間誠二統括マネージャー
第2回	1/30(日)10:00～13:00	ボランティア活動報告 奉行所展示	ボランティア 岡本健一郎研究員
第3回	2/19(土)10:00～13:00	歴史文化展示	深瀬公一郎研究員 植松有希研究員
第4回	2/27(日)10:00～13:00	歴史文化展示	岡本健一郎研究員 平岡隆二主任研究員
第5回	3/5(土)10:00～13:00	収蔵品について 資料の保存について	越中勇主任研究員 関裕典研究員
第6回	3/13(日)10:00～13:00	学校・こども対応について	加藤謙一研究員 下田幹子研究員
第7回	3/27(日)18:00～20:00	ボランティア登録について (写真撮影・活動確認) 交流会	

〈ボランティア募集・研修〉

新規展示案内・業務支援ボランティア(第5期)の募集を行った。

長崎歴史文化博物館第5期ボランティア募集のお知らせ(平成22年度)

長崎歴史文化博物館では、開館当初からボランティア制度を導入し、現在約150名の方にご活躍していただいております。このたび、さらに来館者サービスの充実を図るため、また来館者の方々やボランティア相互の交流などを通して生涯学習の場として活用していただくためボランティアを募集します。

1. 活動内容

グループ	活動内容
展示案内	博物館展示室内での定点解説、誘導 団体向けの展示案内 子ども向けの展示案内 外国語(英語・中国語・韓国語など)での展示案内
業務支援	教育普及活動(ワークショップ・イベント等)の補助

2. 活動場所 長崎歴史文化博物館(長崎市立山1丁目1番1号)

3. 応募条件

- ① ボランティア活動や博物館の活動に興味・関心・熱意を持ち、来館者との交流ができる方
- ② 博物館の展示・運営・活動趣旨に賛同される方
- ③ 事前研修に参加できる方(研修日時・内容は後日連絡いたします。概ね10回程度行います。)
- ④ 原則月4回以上、1日3時間活動に参加できる方
 - ・団体向けの展示案内はボランティア活動を一定期間経験された後、別途研修を受けていただきます。
 - ・業務支援ボランティアは博物館からお願いする活動が上記の回数及び時間に満たない場合はその限りではありません。
 - ・高校生以上を対象とします。(高校生の方は保護者の方の同意が必要です)

4. 参加にあたって

- ・午前8時30分~午後6時30分の中で4区分の時間帯で1日3時間(活動グループ・内容により指定した時間になる場合があります)
- ・活動に対する報酬はありません。当館の規定に従い、交通費の補助をします。(往復上限1000円)
- ・登録期間は平成23(2011)年4月1日~平成24(2012)年3月31日までとしますが、更新することもできます。
- ・ボランティア保険に加入していただきます。(当館負担)

5. 特典

- ・常設展の年間無料観覧
- ・企画展招待券の提供
- ・チケット購入割引
- ・ミュージアムショップ、レストランでの割引
- ・講演会などの行事案内 ※招待券の提供、割引等ができないものもあります。

6. 応募方法・お問い合わせ

申込用紙に必要事項を記入の上、下記宛先まで郵送またはFAXでお送りください(持参可)。
応募用紙は長崎歴史文化博物館へ請求いただくか、ホームページからダウンロードしてください。

応募締切 **平成22年12月15日(水)必着**

応募・問合せ先 〒850-0007 長崎市立山1-1-1 長崎歴史文化博物館 ボランティア担当
(TEL 095-818-8366 FAX 095-818-8407)

応募いただいた方の個人情報は、この事業に関する業務にのみ使用します。

〈登録者数〉

	登録者数	男女内訳	平均年齢	居住地
展示案内	106名	男59名 女47名	64.4歳	長崎市内 93名 長崎市外 13名
寸劇	25名	男1名 女24名	60.5歳	長崎市内 21名 長崎市外 4名
古文書	19名	男9名 女10名	56.6歳	長崎市内 15名 長崎市外 4名

〈活動内容〉

1 展示案内ボランティア

2階常設展示室(歴史文化展示ゾーン、長崎奉行所ゾーン)内で来館者への展示解説(定点)や誘導等。龍馬伝館開館中は、歴史文化展示ゾーンのみでの活動。

①ガイドグループ

事前申込と当日申込の団体への常設展示室内通しての展示案内。

②外国語グループ

外国人来館者への展示案内・誘導。

英語グループは工芸資料の解説、展示機器の解説等を作成。2ヶ月に1回程度の割合で勉強会を開催。

2 業務支援ボランティア

発送作業、ボランティア通信「風説書」12号、13号、14号、15号を発行、新聞の切抜き、図書整理、教育普及活動の運営等。

※規定の変更に伴い平成22年度より展示案内ボランティア内の1グループから単独のグループに変更

3 寸劇ボランティア

「長崎奉行所 龍馬伝館」の開館に伴い、坂本龍馬をテーマにした寸劇を開催。

平成22年度の演目

「三人の龍馬がゆく」(4月)、「イカルス号事件」(5月～1月)

「忠臣蔵-桜の別れ-」(2月～)

〈研修〉

(1)スキルアップ研修(計15回)

	テーマ	講師
4月	幕末長崎古写真展内覧会	加藤謙一(当館研究員)
5月	接遇研修 (計4回)	中田貴子(株式会社JTBビジネスサポート)
6月	朝鮮との交流について	岡本健一郎(当館研究員)
7月	サンデー・マガジンのDNA展内覧会	植松有希(当館研究員)
8月	博物館展示と学校をつなぐ	加藤謙一(当館研究員)
9月	オランダとの交流	平岡隆二(当館主任研究員)
10月	実録坂本龍馬展内覧会	深瀬公一郎(当館研究員)
11月	岩崎彌太郎展内覧会	岡本健一郎(当館研究員)
12月	中国との交流	深瀬公一郎(当館研究員)
1月	長崎の絵画	植松有希(当館研究員)
2月	チャイナドレスと上海モダン展内覧会	平岡隆二(当館主任研究員)

(2)他博物館等視察・交流

6月 島原城、原城見学

11月 鞠智城見学

(3)活動報告会・交流会

3月 活動報告会を開催

6

資料管理

1 収蔵資料・資料貸出

収集に関する県の基本方針

- (1) 海外交流史に関する資料
 - (2) 近世長崎の美術資料、工芸資料
 - (3) 長崎奉行所に関する資料
 - (4) 長崎文化に関する資料
- (「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」より)

収集に関する市の基本方針

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
 - (2) 長崎奉行所に関する資料
 - (3) 長崎の美術工芸資料
 - (4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料
- (「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」より)

収蔵資料点数

旧市立博物館、旧県立美術博物館、県立長崎図書館の郷土資料、約48,000点が長崎歴史文化博物館に移管された。

旧県立美術博物館所蔵	約2,000点(美術工芸1,830点 歴史178点)
旧長崎市立博物館所蔵	約16,000点(歴史10,300点 近代美術4,500点 近現代1,200点)
県立長崎図書館所蔵	約30,000点(文書・図書)

指定文化財

○国指定重要文化財

安政二年「日蘭条約書」
紙本著色泰西王侯図屏風 六曲一双屏風 1612～1614年頃
長崎奉行所関係資料 1,242点

○県指定文化財

刀・対州住長幸
刀・肥前国忠吉
青方文書
永島キク刀自絵像

○国認定旧重要美術品

川原慶賀筆 紙本著色瀉血手術図 江戸後期
紙本著色南蛮人来朝図屏風 六曲一双屏風 慶長年間
川原慶賀筆 唐蘭館絵巻 文政期頃

資料画像の貸出件数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
135件	328件	435件	362件	479件	437件

資料の貸出し

平成21年度

連番	資料名	資料番号	貸出先	展覧会名	貸出期間(展示期間)
1	諸家買入物御附札 慶応3年卯従正月5月至	B)14 171- 3 1	横浜美術館	横浜開港150年記念「イリス150周年-近代日本と共に歩み続ける或るドイツ商社の歴史」	2009年4月6日～6月7日
2	宇商キニツフルより土州家来へ樟脳約定一件 慶応2年	B)14 311- 3			
3	宇国人キニツフル相手 松平土佐守滞金一件 慶応2年～同3年	B)14 397- 4			
4	商業税人名簿	660-13			
5	国際産業観光博覧会協賛会誌 長崎市主催	チ17 7	長崎市 歴史民俗資料館	長崎市制120年のあゆみ	2009年4月28日～6月10日
6	第一回国勢調査記念章之證	勲記14			
7	第一回国勢調査他辞令書	勲記5			
8	第一回国勢調査他辞令書	勲記6			
9	第一回国勢調査他辞令書	勲記7			
10	第一回国勢調査他辞令書	勲記8			
11	未紅毛船本方脇荷並品変り端もの見帳	17 13- 2			
12	午紅毛船本方脇荷物品代りモニ見ル事ヨリ落札迄記 6月, 7月24日見直シ	17 14- 2			
13	見帳 文化4年	17 83- 2 1			
14	見帳 文化4年	17 83- 2 2			
15	見帳 文化4年	17 83- 2 6	長崎市 歴史民俗資料館	長崎貿易商 村上家資料展	2009年10月19日～12月21日
16	長崎諸役場絵図	テ3 96			
17	和蘭船唐船図	絵(長崎)301			
18	紅毛渡来反物見本帳 弐	貿易11			
19	文化年渡り品紅毛渡来反物見本帳 参	貿易12			
20	寅阿蘭陀船本方品代切本帳	貿易13			
21	卯阿蘭陀船本方品代切本帳	貿易14			
22	伊太利国皇族接待一件 明治12年	14 442- 2			
23	大阪中ノ島内自由亭写真	B 5 - 1	長崎市 歴史民俗資料館	日本西洋料理店魁 草野丈吉	2009年12月21日～ 2010年2月15日
24	大阪中ノ島内自由亭写真	B 5 - 2			
25	諸事凡書留 自天保3年辰3月至文久3年亥年	へ14 475			
26	世界図	Fイ0064	大村市 教育委員会	展覧会	2010年1月25日～3月10日
27	南蛮復元楽器	Fイ0138			
28	ウンズンカルタ	民具12			
29	キリシタン制札	法制2			
30	郡村之内・松原村	13 1 - 1 13	武雄市図書館・ 歴史資料館	戦国の九州と武雄	2010年2月1日～3月30日
31	萱瀬村	13 1 - 1 14			
32	Fascicvlvs e Iapponicis Floribvs	2 329			

平成22年度

連番	資料名	資料番号	貸出先	展覧会名	貸出期間(展示期間)
1	Atlas Japannensis.	2 29	たばこと塩の 博物館	阿蘭陀とNIPPON	2010年4月1日～7月9日
2	南蛮人來朝之図	A 1 イ0001			
3	南蛮人交易図	A 1 イ0151			
4	ゼーランジャ城攻防図	A 2 ハ0008			
5	南蛮人之図	A 2 ハ0032			
6	南蛮人蒔絵硯箱	Dホ0001			
7	VOC飾金具付木箱	Fイ0051			
8	寛永長崎港図	図110			
9	寛永長崎港図	図111			
10	東印度会社十七人会記録	書(外国)19			
11	清水寺末次船絵馬下絵	船舶13			
12	徳川家康朱印状	複製1			
13	安南国渡航免許状	貿易31			
14	麒麟図	A 1			
15	菊童子図	A 1 イ0006	鳥取県立博物館	楊谷と元旦	2010年5月10日～6月30日
16	菊之図	A 1 イ0007			
17	日之出に山羊図	A 1 イ0089			
18	白衣大士觀瀑図	絵(長崎)156			
19	寿老人図	絵(長崎)426	釧路市立美術館	海を想う展	2010年5月25日～12月30日
20	長崎港図	A 1 イ0051			
21	長崎港図	A 3 ハ0052			
22	長崎港之図	A 3 ハ0085			

連番	資料名	資料番号	貸出先	展覧会名	貸出期間(展示期間)
23	長崎港図	A 1 イ0051			
24	長崎港図	A 3 ハ0052	田辺市立美術館		
25	長崎港之図	A 3 ハ0085			
26	長崎港図	A 1 イ0051			
27	長崎港図	A 3 ハ0052	八幡浜 市民ギャラリー	海を想う展	2010年5月25日~12月30日
28	長崎港之図	A 3 ハ0085			
29	長崎港図	A 1 イ0051			
30	長崎港図	A 3 ハ0052	唐津市 近代図書館		
31	長崎港之図	A 3 ハ0085			
32	長崎諸役場繪圖	図101	長崎市		
33	出島平面地図	図139	文化観光部	龍馬と海と出島	2010年7月12日~ 2011年1月14日
34	万国旗鑑(断簡)	貿易27-1	出島復元整備室		
35	Fauna Japonica 4	2 186-1 4	佐賀県立佐賀城 本丸歴史館	本丸 de 水族館	2010年7月15日~9月6日
36	有明海魚介図巻	Fイ0038			

2 資料修復

■美術資料

平成21年度

資料名	資料番号	修復内容
四芸図屏風	A I イ150	・虫損によるドウサ引き、補彩・裏面補修・縁補修・隅金具調整
弾琴図	A II ハ3	・本紙ママ、裏面のベニヤ取りはずし中性紙入れる、額の新調、小縁、印度印金裂張り、紙箱・袋の新調
山水図	A I イ105	・裏打、剥落止め、折伏せ・未表装→文人表装、裂新調・軸首新調・箱なし→桐箱新調
駿河湾から見た富士	A II ハ40	・本体は現状維持、本紙保護のために樹脂板を装着、大枠の裂貼替、額裏紙の貼替、収納紙箱と綿袋の新調
潮干狩図	A II ハ46	・剥落止め、旧裏打紙の除去と再裏打、額下地の新調
霊昭女図	A I イ166	・本紙の肌裏打、虫損の補絹、剥落止め、折り伏せによる補強、文人表具への改装、裂の新調、軸首の新調、太巻
水呑虎図	A I イ138	・旧裏打紙の除去、本紙四方の補絹、剥落止め、折り伏せによる補強、表具裂の新調、軸首再利用、太巻
雛人形図	絵(長崎)274	・横折れ→裏打ち、虫損の補絹、剥落止め・裂と風袋の新調・太巻き芯と桐箱新調
三社祝図	絵(長崎)390	・旧裏打ちの除去、剥落止め、折れ・折れの可能性→折伏せ補強・裂新調・太巻き芯と桐箱新調
菖蒲図	絵(長崎)501	・応急修理の場合→表具の解体なし、折伏せ、太巻き芯と桐箱新調・通常修理→肌裏打ち、折伏せ、裂新調、太巻き芯と桐箱新調
雪景山水図	絵(中国)4	・表具解体なし、折伏せ・中国式の紐新調・題箋裏打ち・太巻き芯と桐箱新調
脇指	刀剣8	研磨、鞘の補修
脇指	刀剣5	研磨、鞘、はばき、ぬぐい
刀	Dイ1,10,11,16,18,19,20,23	手入れ(3ヶ月ごと)
刀剣	刀剣1～10	手入れ(3ヶ月ごと)

平成22年度

資料名	資料番号	修復内容
鷹匠図	新収蔵作品	表面に付着した汚れの除去、絵具層の接着・絵具の成分分析(東京芸大・木島先生に依頼。無償)・額の新調 本歌の額は修理し、新調する額に埋め込み、展示ができるように取り外し可能とする。新調する額は平縁の隅角とし大縁の裂は無地のページユ系薄茶とする。UVカット樹脂板を入れる。袋、差込箱つき。
鷹匠図	新収蔵作品	表具は新調せず旧総裏だけを除去し、折れた箇所・折れる畏れのある部分に折り伏せ(美濃紙を細く切ったもの)を入れて補強を行う。軸首は再使用。太巻芯、桐箱の新調。
藤花図	A 2 イ139	表具は解体せず旧総裏を除去し、新規に宇陀紙と古糊を打ち替える。絵具部分は3～5%の膠水溶液で剥落止めを行う。降り伏せを入れる。中縁の欠失箇所は風袋裏の裂を使用し補修、補彩を行う。旧補彩箇所の色調の調整を行う。軸首は再使用。太巻芯、桐箱の新調。
虎溪三笑図	A 2 ロ11	本紙の横折れを無くすために旧裏打紙の除去を行い、新しい美濃紙にて肌裏打ちを行う。似寄の補修絹で本紙四方の補絹を行う。折り伏せを入れて補強する。表具は元の裂を再利用する。軸首は元の軸首を再利用する。太巻芯、桐箱の新調。
書額「松風水月」	県図書	本紙の修理を行い、断裂箇所をわからないようにする。黒塗の額縁を新調し本紙保護のために樹脂板を装着。大縁は金箔とせず金砂子紙を新調し貼り替える。収納保管用に紙箱・綿袋を新調する。
琵琶	県図書	本来の琵琶の形に復元。音が鳴るようにする。
寛文長崎図屏風	絵(長崎)29	絵具の剥落箇所を3～5%の膠水溶液で剥落止めを行う。一部の奥尾瀬に亀裂箇所が見受けられ、和紙と馬革・真鍮釘を用いて補強する。裏に糊差しを行う。布袋の新調を行う。※屏風は持ち出さず、富永氏が出張し、収蔵庫前室で作業を行う(1～2日)。
風竹図	絵(長崎)353	本紙は旧裏打紙の除去を行い、新しい美濃紙にて肌裏打ちを行う。虫損箇所は補修紙で繕りを行う。折り伏せを入れる。表具形式は同じとし、似寄の裂に取り替える。題箋は切り抜き元の位置に残す。軸首は再利用する。太巻芯、桐箱の新調。
布袋図	絵(長崎)172	本紙は虫糞の除去を印刀にて行う。旧裏打紙を除去し、新しい美濃紙と新糊で肌裏打ちを行う。虫損箇所は補修紙で繕りする。折り伏せをいれて補強。表具形式は同じ、元の裂を再利用する。題箋は切り抜き元の位置に残す。軸首の再利用。太巻芯、桐箱の新調。
瓊浦華蘭進港図	絵(長崎)34	本紙は旧裏打紙の除去を行い、新しい美濃紙にて肌裏打ちを行う。虫損箇所は補修紙で繕りを行う。絵具の剥落止めを膠の水溶液3～5%で数回行き充分乾燥させる。折り伏せを入れる。表具は元裂の再利用を行い再使用を行い形式は同じとする。軸首は再利用し、下軸は4枚つき軸し、芯を削り貫き空洞にして軽量化。表木は反りを防ぐために2枚つきとする。
刀	Dイ1,10,11,16,18,19,20,23	手入れ(3ヶ月ごと)
刀剣	刀剣1～10	手入れ(3ヶ月ごと)

平成21年度

〈長崎市資料〉

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
1	手頭〔聖堂筆墨料に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	340-1	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
2	[唐船主ヨリ寄附控](断簡)(聖堂文庫)	長崎市	340-7	1通	一度裏打ちしてあるがカビの発生が見られる。剥がして再修理。
3	覚〔役料請取〕(聖堂文庫)	長崎市	340-9	1通	一度裏打ちしてあるがカビの発生が見られる。剥がして再修理。
4	覚〔値段控〕(聖堂文庫)	長崎市	340-10-1	1通	虫喰い穴が大小種々。喰裂き紙にて繕い修理
5	覚〔受領書〕(聖堂文庫)	長崎市	340-10-5	1通	虫喰い穴を似合いの喰い裂き紙にて繕い修理
6	覚〔預書〕(聖堂文庫)	長崎市	340-10-7	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
7	覚〔受領書〕(聖堂文庫)	長崎市	340-10-8	1通	虫喰い穴を似合いの喰い裂き紙にて繕い修理
8	覚〔受領書〕(聖堂文庫)	長崎市	340-10-10	1通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
9	覚〔受領書〕(聖堂文庫)	長崎市	340-10-12	1通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
10	覚〔受領書〕(聖堂文庫)	長崎市	340-10-15	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
11	覚〔支給控〕(聖堂文庫)	長崎市	340-10-16	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
12	覚〔受領書〕(聖堂文庫)	長崎市	340-10-18	1通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
13	領標 明治二年九月四日(聖堂文庫)	長崎市	340-11-2	1通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
14	覚〔受領書〕(聖堂文庫)	長崎市	340-12-1	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
15	御触〔鑄銭願一件〕(聖堂文庫)	長崎市	340-16	1通	一度裏打ちしてあるがカビの発生が見られる。剥がして再修理。
16	奉願口上書〔聖堂普請費拝借願〕	長崎市	340-20	1通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
17	奉願口上書〔聖堂修復銀拝借に関する件〕	長崎市	340-21	1通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
18	乍恐奉願口上之覚 〔聖堂修復銀拝借に関する件〕	長崎市	340-22	1通	虫喰い穴が多いが紙質良好。穴は喰い裂き紙にて繕い修理
19	手頭〔書物改に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	370-6-2	1通	虫喰い穴が大小種々。喰裂き紙にて繕い修理
20	手頭〔大改廃止に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	370-11-2	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
21	[唐書目録](断簡)(聖堂文庫)	長崎市	370-23-1	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
22	仕立石摺目録	長崎市	370-95	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
23	書付〔御用書籍に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	370-78	1通	虫喰い穴が大小種々。喰裂き紙にて繕い修理
24	[唐書目録](聖堂文庫)	長崎市	370-110	1通	継ぎ目の糊浮き箇所糊差し
25	覚〔書物整理の件〕(聖堂文庫)	長崎市	370-14	3丁	虫喰いがひどく、裏打ち処置
26	手頭 〔通事元成宅へ会合講日を相定稽古の件〕 (聖堂文庫)	長崎市	370-94	1通	虫喰いがひどく、汚れシミもあるので汚れの除去後裏打ち処置
27	覚〔書籍改大意〕(聖堂文庫)	長崎市	370-49-5	1通	虫喰いがひどく、文字の欠落の危険が多いので裏打ち処置
28	手頭〔唐船別段売書籍目録に関する件〕 (聖堂文庫)	長崎市	370-31	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
29	覚〔書物改に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	370-49-6	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
30	[禁書遠西奇器図説録最大意書] (聖堂文庫)	長崎市	370-17	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い、継ぎ目の継ぎ直し。
31	[唐書目録]享保3年(聖堂文庫)	長崎市	370-73	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い、4枚分離した継ぎ目の継ぎ直し。
32	書簡〔蝦夷地よりの報告に関する件〕 (聖堂文庫)	長崎市	360-1	5丁	虫喰いの為裏打ち処置、四つ折にしてあったので元の形状に戻した
33	手頭〔書物改に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	370-99	1通	虫喰いがひどく、裏打ち処置
34	覚〔聖堂修復銀拝借に関する件〕 (聖堂文庫)	長崎市	340-24	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
35	手頭〔嘉禾志購入に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	370-69	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
36	[素読御吟味](聖堂文庫)	長崎市	370-90	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
37	覚〔書物改に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	370-4-1	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
38	覚〔書物改に関する件〕(聖堂文庫)	長崎市	370-4-2	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
39	覚〔唐書寄進目録〕(聖堂文庫)	長崎市	370-4-3	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
40	手頭〔唐船持渡書籍に関する件〕 (聖堂文庫)	長崎市	370-25	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
41	手頭 〔向井鷹之助学問修行のため出府届の件〕 (聖堂文庫)	長崎市	370-93	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
42	春唐客卓子献立(聖堂文庫)	長崎市	380-13-9	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
43	一札之事〔与四郎とよ縁組一件〕 (聖堂文庫)	長崎市	380-23	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
44	覚〔倭文平大宰府彦山参詣願〕 享保十年(聖堂文庫)	長崎市	380-35	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
45	手頭[書物改に関する件] 寛政10年 (聖堂文庫)	長崎市	370-6-3	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い、継ぎ目の継ぎ直し。
46	口上書[知不足齋叢書改大意書] (聖堂文庫)	長崎市	370-61-1	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い、継ぎ目の継ぎ直し。
47	覚[唐書目録](聖堂文庫)	長崎市	370-108	1通	虫喰い穴が多く、文字にかかっているため裏打ち処置
48	手頭[積業の簡素化に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	380-10	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目の継ぎ直し。
49	積典祝辞 嘉永3年(聖堂文庫)	長崎市	380-8	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
50	覚[書物改に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-4-4	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
51	覚[書籍改大意](聖堂文庫)	長崎市	370-21-4	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
52	乍恐奉願口上之覚[隠居願]	長崎市	370-15-1	1通	虫喰いがひどく、裏打ち処置
53	覚[春徳寺看坊任命の件](聖堂文庫)	長崎市	370-15-3	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
54	口上之覚[書物改に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-30-1	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
55	[唐書目録](聖堂文庫)	長崎市	370-109	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
56	手頭[唐船持渡書籍に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	370-81-1	1通	虫喰いがひどく、裏打ち処置
57	手頭[唐船持渡書籍改方に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	370-81-3	1通	虫喰いがひどく、裏打ち処置
58	書付[乾象図説に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-53	1通	虫喰いがひどく、裏打ち処置
59	乾象図説之儀申上候書付(聖堂文庫)	長崎市	440-1	1通	虫喰いがひどく、裏打ち処置
60	[御献立](聖堂文庫)	長崎市	380-13-10	1通	虫喰いがひどく、裏打ち処置
61	[奉勤敬惜五穀啓](聖堂文庫)	長崎市	370-63-2	1通	和紙ではない上に紙質が弱っているため裏打ち処置
62	口上書[春徳寺住職隠居の件] 向井外記 (聖堂文庫)	長崎市	370-15-4	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
63	[唐書目録](聖堂文庫)	長崎市	370-27	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
64	手頭[唐船持渡書籍に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	370-32	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
65	[唐船持渡書籍に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-33	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
66	積帰り書籍之分	長崎市	370-43	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
67	潮入書中不見馴書銘目次	長崎市	370-45	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
68	焼香願[向井鷹之助以下長川幹二迄] (聖堂文庫)	長崎市	380-20	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
69	口上書[春徳寺住職任命の件] 明和二年 (聖堂文庫)	長崎市	370-15-13	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
70	乍恐奉願口上之覚[看坊任命願] 天明四年辰10月	長崎市	370-15-14	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
71	覚[書籍改大意](聖堂文庫)	長崎市	370-21-2	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
72	[御伺][御用御預書籍に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	370-84	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
73	手頭[唐方別段売書籍に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	370-97-4	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
74	書付[御用書籍再改の件](聖堂文庫)	長崎市	370-103	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
75	書物改役起請文 天保九年(聖堂文庫)	長崎市	370-10	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
76	口上之覚[春徳寺住職任命の件] (聖堂文庫)	長崎市	370-15-9	1通	虫喰いがひどいが喰い裂き紙にて繕い修理。
77	手頭[唐船別段売書籍に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	370-29	1通	小さな虫喰い穴が多い。喰い裂き紙にて繕い修理
78	[控][蔵経改一件](聖堂文庫)	長崎市	370-56	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
79	覚[薬調合書](聖堂文庫)	長崎市	490-7-2	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
80	手頭[沈敬胆禁書帝京景物略持渡一件] (聖堂文庫)	長崎市	370-40	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
81	覚[書籍改大意](聖堂文庫)	長崎市	370-47	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
82	覚[書籍改大意](聖堂文庫)	長崎市	370-49-4	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
83	覚[書物改大意] 向井元仲他(聖堂文庫)	長崎市	370-67	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
84	[唐書目録](断簡)(聖堂文庫)	長崎市	370-23-3	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
85	[唐書目録](聖堂文庫)	長崎市	370-50-2	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
86	手頭[書物改に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-107	1通	虫喰いがひどいが喰い裂き紙にて繕い修理。
87	手頭[通詞共経学修行に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	380-34	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。
88	法帖[勤方誓約](聖堂文庫)	長崎市	380-37	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
89	手頭[書物改に関する件] 寛政十年(聖堂文庫)	長崎市	370-6-1	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
90	手頭[書記兼役任命辞令](聖堂文庫)	長崎市	370-87	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
91	[覚][褒状](聖堂文庫)	長崎市	370-92	1通	虫喰いと劣化による欠損のため、裏打ち処置
92	覚[唐船持渡別段売書籍に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-77-2	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
93	手頭[唐船持渡別段売書籍に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-97-2	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
94	手頭[御用書籍改方に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-114	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
95	[御用書之覚](聖堂文庫)	長崎市	370-76	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
96	漢魏叢書種目(聖堂文庫)	長崎市	370-46	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
97	御書上[御用書籍改方に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-82	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
98	口上書[書記兼役に関する件] 安永8年(聖堂文庫)	長崎市	370-86-2	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
99	東照宮御遺訓	長崎市	380-38	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
100	[書付][和蘭時計の読み方](聖堂文庫)	長崎市	380-36	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
101	手頭[書籍改方に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-117	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
102	口上之覚 蔵経改一件(聖堂文庫)	長崎市	370-58	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
103	手頭[唐船持渡別段売書籍に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-97-1	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
104	手頭[唐船持渡別段売書籍に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-97-5	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
105	手頭[唐船持渡別段売書物並に手入修復に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-101	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
106	手頭[学問所において勉学の件](聖堂文庫)	長崎市	370-112	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
107	手頭[抱入の者より音物受納禁止一件](聖堂文庫)	長崎市	380-33	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
108	[御献立](断簡)(聖堂文庫)	長崎市	380-13-11	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
109	御触[面体を隠し異風成頭巾をかぶることを禁ずる件](聖堂文庫)	長崎市	380-39	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
110	覚[資治通鑑改一件](聖堂文庫)	長崎市	370-80	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
111	覚[書籍改大意](聖堂文庫)	長崎市	370-48	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
112	手頭[唐船持渡別段売書籍に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-81-2	1通	虫喰甚大。継ぎ目の欠落や文字の欠落の為裏打ち処置
113	御一周忌秋月院様御法事献立	長崎市	380-13-3	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
114	[唐書目録](断簡)(聖堂文庫)	長崎市	370-23-4	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
115	奉勸敬惜五穀啓	長崎市	370-63-1	1通	紙質が弱く虫喰いがあるので裏打ち処置
116	積菜料理献立(聖堂文庫)	長崎市	380-11	1通	汚れシミのクリーニング後裏打ち処置
117	[唐書目録](断簡)(聖堂文庫)	長崎市	370-23-2	1通	裏打ち処置。四つ折にしてあったのを二つ折にする
118	手頭[書物改に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-104	1通	虫喰甚大。継ぎ目の欠落や文字の欠落の為裏打ち処置
119	手頭[唐船持渡別段売書籍に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-77-3	1通	虫喰甚大。継ぎ目の欠落や文字の欠落の為裏打ち処置
120	手頭[唐船持渡別段売書籍に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-77-1	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
121	篠之露雪之事	長崎市	390-3	1通	虫喰甚大。継ぎ目の欠落や文字の欠落の為裏打ち処置
122	手頭[書籍改に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-85	1通	虫喰甚大。継ぎ目の欠落や文字の欠落の為裏打ち処置
123	学問辨書優劣之覚	長崎市	370-91	1通	紙質が弱く虫喰いがあるので裏打ち処置
124	手頭[唐船持渡別段売書籍改方二付仰付候一件](聖堂文庫)	長崎市	370-97-3	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
125	手頭[唐船別段売書籍御貯御用之分に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-97-6	1通	虫喰甚大。継ぎ目の欠落や文字の欠落の為裏打ち処置
126	手頭[唐船別段売書籍に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-113	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理
127	御献立(聖堂文庫)	長崎市	380-13-4	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
128	御献立(聖堂文庫)	長崎市	380-13-6	1通	紙質が弱く虫喰いがあるので裏打ち処置
129	養馬諸法(聖堂文庫)	長崎市	480-1	1通	紙質が弱く虫喰いがあるので裏打ち処置
130	御出題控	長崎市	370-66	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
131	手頭[程潤南禁書天学初函持渡一件](聖堂文庫)	長崎市	370-41	1通	虫喰甚大。継ぎ目の欠落や文字の欠落の為裏打ち処置

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
132	江戸御屋敷御預り人風聞書付写 (聖堂文庫)	長崎市	380-27	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
133	吉川将監嘆願書式通并御届書	長崎市	380-25	1通	虫喰いがひどいので、裏打ち処置
134	御書付[沖両番所石火矢火通に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	390-7	1通	虫喰甚大。継ぎ目の欠落や文字の欠落の為裏打ち処置
135	[水戸侯御作詩文他](聖堂文庫)	長崎市	370-111	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
136	書簡[毛利甲斐守家中狐付女の件] (聖堂文庫)	長崎市	380-40	1通	虫喰い穴が大小多い。喰い裂き紙にて繕い修理
137	梅尾明恵上人紹州亥小路白文珠菩薩密伝 大悪日(断簡)	長崎市	380-41	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
138	志賀萬国史訳控(聖堂文庫)	長崎市	450-4	5丁	裏面に漢籍版本の断簡が十枚貼り付けてある。裏打ち処置
139	口上之覚[書物改に関する件](聖堂文庫)	長崎市	370-72	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
140	新以心流居合手数	長崎市	390-4	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
141	[禁書堅狐集大意書](聖堂文庫)	長崎市	370-39	1通	汚れ落しの後、虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
142	戊八番唐船持渡[書籍大意書](聖堂文庫)	長崎市	370-55	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
143	手頭[西域聞見録大意書仕立に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	370-62	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
144	手頭[唐書調進に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	370-98	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
145	遺蹟相續分地配當之養子養方買方服忌差別之圖	長崎市	380-18	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
146	[御献立](聖堂文庫)	長崎市	380-13-8	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理。継ぎ目糊浮きの為糊差し
147	太政官府[五畿七道諸国司応以諸国寺院 之梵鐘鑄造大砲小銃事	長崎市	390-1	1通	汚れ落しの後、虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
148	御書上[弓矢に対する申上書和解] (聖堂文庫)	長崎市	390-5	1通	汚れ落しの後、虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
149	口上之覚[夏足袋使用願](聖堂文庫)	長崎市	380-14	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
150	[葬儀行列控]	長崎市	380-19	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
151	初口客献立	長崎市	380-13-5	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
152	御書付[奉行就任祝に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	380-32	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
153	口上書(断簡)[褒状](聖堂文庫)	長崎市	370-44	1通	両面に墨書がある。虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.
154	御書付[大塩平八郎一件](聖堂文庫)	長崎市	360-2	1通	虫喰甚大。継ぎ目の欠落や文字の欠落の為裏打ち処置
155	御書上[御用書籍改方之儀一件] (聖堂文庫)	長崎市	370-3	1通	虫喰甚大。継ぎ目の欠落や文字の欠落の為裏打ち処置
156	[御献立](聖堂文庫)	長崎市	380-13-12	1通	虫喰い穴は喰い裂き紙にて繕い修理.

〈長崎県資料〉

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
1	長崎要覧 昭和16年12月25日	長崎県	13-1298	刊本	破損した表紙を覆っているブックカバーを剥がし脱酸後裏打ち、製本
2	端島坑外図	長崎県	渡辺3-31	図面1	青焼き図面で折り目の破損と劣化。薄美濃紙で部分修理
3	処々手開留同証文留帳 文政十年(近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	21	超破本。湿損と汚損と虫害により固着。剥離後裏打ち処置
4	御水帳写 天保6年(近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	5	虫喰い甚大で汚損固着。洗浄後剥離裏打ち処置。超破本
5	御勘定帳弘化(近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	5	虫喰い甚大で汚損固着。洗浄後剥離裏打ち処置。超破本
6	高五石 福江 安永6年 (近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	5	虫喰い甚大で汚損固着。洗浄後剥離裏打ち処置。超破本
7	大浦天主堂関係綴 昭和26年3月	長崎県	16-316-6	404	水損の為全丁にわたりカビの発生、酸性紙の劣化の為、裏打ち処置
8	東向紀行(近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	19	超破本。湿損と汚損と虫害により固着。剥離後裏打ち処置
9	志賀九郎助書翰集	長崎県	13-67-5	150	酸性紙厚紙の表紙が劣化し破損したので、和紙厚紙の表紙作成
10	日記(近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	38	虫喰い甚大で汚損固着。洗浄後剥離裏打ち処置。超破本
11	宗福寺文書 唐通事会所宛(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料	1	汚れを吸水紙で取った後、虫喰い穴は喰い裂紙にて繕い修理
12	御参詣御供留書(近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	33	虫喰い甚大で板状固着。洗浄後剥離裏打ち処置。超破本
13	御留守日記 宝暦四年(近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	17	虫喰い甚大で汚損固着。洗浄後剥離裏打ち処置。超破本
14	諸覚書 元禄五年(近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	18	虫喰い甚大で汚損固着。洗浄後剥離裏打ち処置。超破本
15	高野山行人方 僧侶五嶋江流罪之帳(近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	18	虫喰い甚大で汚損固着。洗浄後剥離裏打ち処置。超破本

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	
16	申麦穀請払勘定帳 享和元年(近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	16	虫喰い甚大で板状固着。洗浄後剥離裏打ち処置。超破本
17	覚	長崎県	近世青方家資料	6	虫喰い甚大で板状固着。洗浄後剥離裏打ち処置。超破本
18	和英通韻以呂波便覧 土佐海援隊蔵板慶應四年	長崎県		29	綴糸の破損は綴じ直し。虫喰いが少し見られたので繕い修理
19	大浦天主堂関係綴 昭和26年3月自78～151	長崎県	16-316-7	331	水損の為全丁にわたりカビの発生、酸性紙の劣化の為裏打ち処置
20	大浦天主堂関係綴 昭和26年1月	長崎県	16-316-8	172	水損の為全丁にわたりカビの発生、酸性紙の劣化の為裏打ち処置
21	長崎名勝図絵 長崎史談会	長崎県	刊本	586	刊本。コピー等の利用煩雑による背のはずれ。
22	外務課事務簿 地料銀渡帳全 自元治元年至明治元年	長崎県	14-207-2	101	湿損による表紙のカビ。折れ。虫喰い少々
23	雑録 弘化(近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	116	虫喰い甚大で板状固着。裏打ち処置。綴じ方は列帖装
24	出雲大社絵図(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料	1通	水害被災資料で汚損。
25	俵給調書綴 昭和25年1月18日～10月31日	長崎県	16-320	289	水損の為全丁にわたりカビの発生、酸性紙の劣化の為裏打ち処置
26	御富流言語之巻 全(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料	19	水害被災資料で汚損。洗浄後裏打ち処置
27	口授法札(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料	9	水害被災資料で汚損。洗浄後裏打ち処置
28	寅秋より萬免方日記	長崎県	19-1234	36	湿損により劣化が著しく落丁の恐れあり、早急に裏打ち修理
29	清人籍簿 明治8年1月～7月 第二新地	長崎県	14-379-4-2	199	表紙の修理と本紙の虫喰い部分の繕い修理
30	高五石 寛保元年(近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	6	虫喰い甚大で板状固着。洗浄後剥離裏打ち処置。超破本
31	高拾石 寛保拾年(近世青方家資料)	長崎県	近世青方家資料	4	虫喰い甚大で板状固着。洗浄後剥離裏打ち処置。超破本
32	北松浦郡各村図 獅子村全図	長崎県	3-276-27	1	畳んだ状態で鼠にかじられていて、広げると穴が大きいので裏打ち処置
33	支那人鑑札一件 明治6年1月以降	長崎県	14-340-2	28	綴じの間違ひがあり、虫喰いの繕い後、綴じ直し。
34	支那人鑑札一件 明治3年～同5年	長崎県	14-225-2	120	大きさがまちまちで天が切断され文字が切れている丁があるので、厚みの調整後、製本
35	下張り文書(配分金関係)	長崎県	襖の下張り	60	襖の下張りを剥がし、汚れを落として、繋ぎ合わせ裏打ち処置数が多いので次年度も継続作業
	その他部分修理3冊	長崎県	刊本	6	表紙の修理と補強

平成22年度

(長崎市資料)

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	
1	書簡(聖堂文庫)	長崎市	920-15	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
2	書簡(聖堂文庫)	長崎市	910-1-6 -2	1通	汚れがひどく虫喰いが多いので汚れの除去後裏打ち処置
3	[和歌]嘉永5年(聖堂文庫)	長崎市	920-7-2	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
4	[和歌](聖堂文庫)	長崎市	920-12	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
5	法名書(聖堂文庫)	長崎市	280-11-4	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
6	手頭[別段手当銀に関する件] 慶応三年(聖堂文庫)	長崎市	280-27-1	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
7	御触[大久保土佐守長崎奉行辞任勘定奉行石谷備後守同役兼任の件]	長崎市	310-5	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
8	御書付[改元に関する件] 明和9年辰12月(聖堂文庫)	長崎市	310-8-2	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
9	手頭[阿部伊予守本丸兼御月番御加判勤就任の件]	長崎市	310-12	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
10	手頭 [末吉善左衛門叙爵撰津守と改名の件] 天明七年	長崎市	310-13	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
11	手頭[秋元但馬守辞任の件](聖堂文庫)	長崎市	310-18	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
12	手頭[柘植三蔵長崎奉行就任の件] (聖堂文庫)	長崎市	310-27	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
13	御触[新規の儀停止一件](聖堂文庫)	長崎市	310-38	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
14	手頭 [小比賀慎八譜請役格任命に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	280-53	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	
15	手頭[井上河内守辞任の件](聖堂文庫)	長崎市	310-4	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
16	手頭[松平和泉寺社勤役の件](聖堂文庫)	長崎市	310-19	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
17	手頭 [松平右京太夫御連判之御列就任の件](聖堂文庫)	長崎市	310-45-2	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
18	人生生理学筆記(聖堂文庫)	長崎市	490-1	1冊28丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
19	種痘小引(聖堂文庫)	長崎市	490-2	1冊3丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
20	書簡(著)葉山蓼亭 紫溟宛て(聖堂文庫)	長崎市	910-14-3	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
21	書簡(著)城戸為右衛門廣方(向井雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-50-1	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
22	御返答書(断簡)[薬草五種植付の件]	長崎市	310-40-2	一冊	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
23	覚[孫植重郎養子願](聖堂文庫)	長崎市	280-66	1通	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理
24	精進卓子八脚(聖堂文庫)	長崎市	380-12	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
25	長崎橋梁(聖堂文庫)	長崎市	210-28	1冊11丁	外表紙の酸性劣化、本紙に酸が移行している。灰汁で洗浄
26	記新嘗祭夜失火事(聖堂文庫)	長崎市	220-1	1冊4丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
27	長州之藩士村岡伊助申出候条令(聖堂文庫)	長崎市	220-2	1冊6丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
28	全興図(聖堂文庫)	長崎市	370-1	1冊8丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
29	[唐書目録] 享保十一年午七番船舶載来図書(聖堂文庫)	長崎市	370-2	1冊6丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
30	[唐書目録] 享保十七年子拾三番船舶載来御用(聖堂文庫)	長崎市	370-24	1冊6丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
31	[唐書目録]安永七年唐船舶載図書(聖堂文庫)	長崎市	370-26	1冊5丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
32	唐船舶載品書	長崎市	370-35	1冊6丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
33	[唐書目録](聖堂文庫)	長崎市	370-37	1冊5丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
34	題芭蕉翁國分山幻住庵記之後(聖堂文庫)	長崎市	920-2	1冊8丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
35	園雅集(聖堂文庫)	長崎市	930-37	1冊9丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
36	西遊詩草(聖堂文庫)	長崎市	930-40	10丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
37	幣楼囑景記(聖堂文庫)	長崎市	930-36	1冊	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
38	書簡 城戸為右衛門(向井雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-80-2	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
39	書簡 渥見次郎左衛門政徳(向井雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-74	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
40	書簡 平山(向井雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-49	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
41	書簡 田辺(延美宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-114	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
42	[清朝服様式](聖堂文庫)	長崎市	380-1	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
43	印文考略(聖堂文庫)	長崎市	930-32	1冊3丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
44	書簡 柏原(向井紫溟宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-24	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
45	書簡 城戸為右衛門廣方(向井雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-59	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
46	書簡 辰八月 向井元仲(聖堂文庫)	長崎市	910-100	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
47	村子集(楽国記)断簡(聖堂文庫)	長崎市	930-27	2丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
48	書簡 葉山貞吉著(向井雅次郎)(聖堂文庫)	長崎市	910-56	1通	虫喰い穴が多いが食裂き紙にて繕い修理
49	向井元成詮入諸家文章(聖堂文庫)	長崎市	930-33	14丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
50	向井家由緒書 安政三年辰三月(聖堂文庫)	長崎市	280-80	7丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	
51	木曾宣公舊里碑 [文化十年山邨良熙撰並書](聖堂文庫)	長崎市	280-1	6丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
52	葬式并忌中変例之控(聖堂文庫)	長崎市	380-2	19丁	外表紙の酸性劣化、黒谷和紙厚手で表紙作成。部分修理
53	詠狂花外詩集(聖堂文庫)	長崎市	930-20	8丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
54	向井兼哲草稿(聖堂文庫)	長崎市	930-29	9丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
55	閨藻部芸文二詩(聖堂文庫)	長崎市	930-35	11丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
56	唐書註解(聖堂文庫)	長崎市	370-59	13丁	外表紙の酸性劣化、旧裏打ち紙にカビの発生。剥がして再修理
57	丁酉詩稿(聖堂文庫)	長崎市	930-11	26丁	外表紙の酸性劣化、黒谷和紙厚手で表紙作成。虫喰穴の修理
58	詩篇(聖堂文庫)	長崎市	930-41	11丁	外表紙の酸性劣化、黒谷和紙厚手で表紙作成。虫喰穴の修理
59	自詠草(聖堂文庫)	長崎市	920-1	丁	外表紙の酸性劣化、黒谷和紙厚手で表紙作成。裏打ち処理
60	書簡(聖堂文庫)	長崎市	910-17	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
61	書簡(聖堂文庫)	長崎市	910-105	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
62	和歌(聖堂文庫)	長崎市	920-11	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
63	大成至聖先師乙亥秋祭損金目録 (聖堂文庫)	長崎市	380-16	11丁	外表紙の酸性劣化、黒谷和紙厚手で表紙作成。前後のみ裏打ち処理
64	明治四十年日記(聖堂文庫)	長崎市	910-2	18丁	外表紙の酸性劣化、黒谷和紙厚手で表紙作成。前後のみ裏打ち処理
65	詩稿(聖堂文庫)	長崎市	930-42	4丁	外表紙の酸性劣化、黒谷和紙厚手で表紙作成。虫喰穴の修理
66	一札之事[鉄砲預証文](聖堂文庫)	長崎市	390-6	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
67	[算術免許状](聖堂文庫)	長崎市	410-1	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
68	書簡(聖堂文庫)	長崎市	910-43	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
69	書簡(著)(聖堂文庫)	長崎市	910-66	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
70	書簡(著)光教院(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-1-11	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
71	書簡(聖堂文庫)(著)山路太郎兵衛 (向井雅次郎宛)	長崎市	910-75	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
72	書簡(著)山村忠右衛門(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-83	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
73	書簡(著)田辺(延美)(聖堂文庫)	長崎市	910-114	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
74	書簡(著)小比賀真八(向井雅元仲宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-19	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
75	書簡(著)柏原馬之丞寛(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-86	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
76	書簡(著)柏原馬之丞寛(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-40	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
77	書簡(著)光教院(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-1-22	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
78	書簡(著)春颯(錢塘宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-7	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
79	書簡(著)光教院(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-1-19	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
80	書簡(著)山崎三左衛門(向井外記宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-10	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
81	書簡(著)光教院(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-1-3	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
82	書簡(著)葉山貞吉(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-65	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
83	書簡(著)長谷川貞重(岩口與四郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-106	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
84	和歌 [荷塘の君の六十の賀筵をほき奉りて] (聖堂文庫)	長崎市	920-8	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
85	[覚][受領書](聖堂文庫)	長崎市	340-10-17	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
86	書簡(向井鷹之助宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-4	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
87	書簡(著)柏原馬之丞寛(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-16	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
88	書簡(著)聴松(鉄水老宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-115	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
89	口上書[書物改入用に関する件] (聖堂文庫)	長崎市	370-8	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
90	書簡(著)高木作右衛門 (向井外記、向井左衛門宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-15	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理
91	書簡(著)向井孫次郎(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-55	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処理

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	
92	書簡(著)秋元仲温(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-72	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
93	書簡(著)塚田定子(向井宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-95	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
94	書簡(著)元壽(尚友楼宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-103	1通	虫喰い穴が多く汚れシミあり、裏打ち処置
95	書簡(著)光教院(雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-1-18	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
96	書簡(著)渥見次右衛門(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-64	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
97	書簡(著)城戸為右衛門(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-69	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
98	書簡(著)寺本八左衛門直方 (向井雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-77-1	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理、継目の糊浮きによる離れ
99	書簡(著)品川圖書(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-12	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理、継目の糊浮きによる離れ
100	書簡(著)国分(千保宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-102	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理、継目の糊浮きによる離れ
101	書簡(聖堂文庫)	長崎市	910-5-2	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理、継目の糊浮きによる離れ
102	書簡(著)柏原馬之丞(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-78-2	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
103	書簡(著)徳見三十郎潤(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-82	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理、継目の糊浮きによる離れ
104	書簡(著)会所商法掛(向井外記宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-14-1	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
105	書簡(著)国分白庵(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-47	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理、継目の糊浮きによる離れ
106	書簡(著)東洲(紫溟宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-27	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
107	書簡(著)向井□□(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-67	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
108	書簡(著)坂本和祐(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-91	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
109	書簡(著)光教院(塚田雅次郎宛)	長崎市	910-1-1	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
110	書簡(著)(蘭洲五井宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-104	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
111	書簡(著)伴与一兵衛、 牧宗次平(田辺啓右衛門、副嶋陸蔵宛)	長崎市	910-89	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
112	書簡(著)仙太郎(向井宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-99	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
113	書簡(著)城戸為右衛門廣方 (向井雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-50-2	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
114	書簡(著)光教院(塚田雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-1-4	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理、継目の糊浮きによる離れ
115	書簡(著)八並淳之進(聖堂文庫)	長崎市	910-42	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
116	書簡(著)馬場助一郎小川徳二郎 (向井鷹之助宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-93	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
117	書簡	長崎市	910-110-3	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
118	書簡(著)徳見三十郎(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-39	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理、上包みは裏打ち処置
119	書簡(著)田中富右衛門 (向井齋宮宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-57	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理、継目の糊浮きによる離れ
120	書簡(著)柏原馬之丞(向井雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-63	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理、継目の糊浮きによる離れ
121	和歌[不知火をよめる]	長崎市	920-4-1	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
122	書簡(著)和仁仲庵(向井雅次郎宛)	長崎市	910-81	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
123	書簡(著)和仁真庵(向井雅次郎宛)	長崎市	910-35	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
124	書簡(断簡)(聖堂文庫)	長崎市	910-119-1	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
125	書簡 副啓(著)葉山元斎(向井紫溟宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-26	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
126	書簡(著)(紫溟宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-31	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
127	書簡(著)光教院(塚田雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-1-21	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
128	書簡(著)光教院(塚田雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-1-12	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
129	書簡(著)光教院(塚田雅次郎宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-1-6	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
130	書簡(著)三左衛門(向井外記宛) (聖堂文庫)	長崎市	910-13	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	
131	書簡(著)利信(紫溟宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-30	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
132	書簡(著)柏原馬之丞(向井雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-84	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
133	書簡(著)嘉村(向井宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-94	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
134	書簡(著)城戸為右衛門(向井雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-110-1	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
135	書簡(著)葉山貞吉(向井雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-20	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理。虫喰いがひどい
136	書簡(著)葉山萼亭紫溟宛(聖堂文庫)	長崎市	910-28-1	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理。虫喰いがひどい
137	書簡(著)馬之丞(雅次郎宛)	長崎市	910-41	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理。虫喰いがひどい
138	甲午詩稿(聖堂文庫)	長崎市	930-4	1冊	旧裏打ち紙と本紙の間にカビが発生していたので、剥がして再修理表紙の作成
139	書簡(著)春孫次郎(向井雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-120	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理、継目の糊浮きによる離れ
140	書簡(著)葉山萼亭(向井紫宿)(聖堂文庫)	長崎市	910-5-1	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
141	書簡(聖堂文庫)	長崎市	910-62	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
142	書簡(聖堂文庫)	長崎市	910-113	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
143	和歌(著)公詮(聖堂文庫)	長崎市	920-13	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
144	書簡 断簡(聖堂文庫)	長崎市	910-110-2	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
145	書簡(著)聴松(銭水宛)	長崎市	910-101	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
146	書簡(著)大原常斎(向井雅次郎宛)	長崎市	910-36	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理。封筒のみ裏打ち
147	書簡(著)武左衛門(旦那様宛)	長崎市	910-8	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
148	書簡(著)木下源七郎(向井雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-46	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
149	書簡(著)紫溟宛(聖堂文庫)	長崎市	910-90	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
150	[和歌](断簡)(聖堂文庫)	長崎市	920-17-2	1通	封筒は裏打ち。本紙は喰裂き紙にて虫喰い穴の繕い修理
151	向井氏代々碑名(著)覚圓院(聖堂文庫)	長崎市	280-11-2	1通	旧裏打ち紙全面にカビが発生していたため剥がして再修理
152	向井氏代々碑名(著)覚圓院(聖堂文庫)	長崎市	280-11-3	1通	旧裏打ち紙全面にカビが発生していたため剥がして再修理
153	御書付[水戸殿隠居一件]	長崎市	310-47	1通	旧裏打ち紙全面にカビが発生していたため剥がして再修理
154	書簡[礼状](著)諫早豊前茂供(向井元仲)(聖堂文庫)	長崎市	380-29-2	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
155	書簡(著)彦(向井紫溟宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-21	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
156	書簡(聖堂文庫)	長崎市	910-80-1	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
157	書簡(著)光教院(雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-1-10	1通	虫喰い穴が多く文字にかかっているため裏打ち処置
158	書簡(著)青木筑後守(聖堂文庫)	長崎市	910-37	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理。封筒は裏打ち処置
159	書簡(著)清河栄左衛門颯川四郎太(向井外記宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-14-2	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理
160	書簡(著)光教院(雅次郎宛)(聖堂文庫)	長崎市	910-1-5	1通	虫喰い穴は食裂き紙にて繕い修理

〈長崎県資料〉

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	
1	長崎料理史	長崎県	18-389	159	コピーなど利用による背と表紙のはずれ
2	長崎居留地	長崎県	13-437	250	コピーなど利用による背と表紙のはずれ
3	襖の下張り文書	長崎県		20	襖の下張り文書で表裏幾重にも貼り合わせてある文書を剥がして裏打ち
4	朱印船貿易史 古賀文庫	長崎県	古賀17-76	617	酸性紙の酸性劣化。背表紙のはずれ
5	長崎談叢 69輯	長崎県	19-31-1	刊本	破損
6	THE ILLUSTRATED LONDON NEWS 1858年	長崎県		1	酸性紙の酸性劣化。周囲の劣化部分を和紙で補強
7	痘瘡記聞 全(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料	96	28年前の長崎大水害被災資料。汚損虫喰い、カビ板状固着
8	丸散方符(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料	36	28年前の長崎大水害被災資料で、汚損虫喰い、板状固着
9	類聚方抄(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料	16	28年前の長崎大水害被災資料で、汚損虫喰い、板状固着
10	導水瑣言(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料	17	28年前の長崎大水害被災資料で、汚損虫喰い、板状固着
11	原城に関する文献調査 月報第一号、二号 昭和44年	長崎県	中西家旧蔵資料	20	酸性紙の酸性劣化。ホッチキスをはずし、脱酸処置後裏打ち
12	具足伝受(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料	11	28年前の長崎大水害被災資料で、汚損虫喰い、板状固着
13	故実大抵秘伝書(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料	6	28年前の長崎大水害被災資料で、汚損虫喰い、板状固着
14	太刀拵作法(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料	17	28年前の長崎大水害被災資料で、汚損虫喰い、板状固着

作業順	資料名	所蔵者	資料番号	丁数	
15	江戸覚書(近世青方家文書)	長崎県	近世青方家文書	7	湿損により虫喰いがひどく板状固着、剥離後裏打ち処置
16	萬覚書(近世青方文書)	長崎県	近世青方家文書	5	湿損により虫喰いがひどく板状固着、剥離後裏打ち処置
17	朝鮮人参培養法 物類品鑑巻之六附録(中西家旧蔵資料)	長崎県	中西家旧蔵資料		28年前の長崎大水害被災資料で、汚損虫喰い、板状固着
18	毛利山城守様忌中ニ而參府之覚	長崎県	近世青方家文書	7	湿損により虫喰いがひどく板状固着、剥離後裏打ち処置
19	高島秋帆書状写(佐藤勘次郎)(古賀文庫)	長崎県	古賀13-936	5	酸性紙の外表紙の劣化、本紙も酸の移行による劣化のため裏打ち処置
20	うんすんかるた打方(古賀文庫)	長崎県	古賀18-4	5	酸性紙の外表紙の劣化、本紙も酸の移行による劣化。
21	高島家系譜	長崎県	13-297	38	酸性紙の外表紙の劣化、遊び紙も酸の移行による劣化。表紙の作成
22	家屋税問題国際仲裁裁判事件独佛英三国 政府共同陳辯書(訳文)	長崎県	14-628-3	200	酸性紙の酸性劣化。ホッチキスをはずし、脱酸処置後裏打ち
23	弓馬記	長崎県	中西家旧蔵資料	8	28年前の長崎大水害被災資料で、汚損板状固着
24	馬術方銀請払帳 万延元年	長崎県	17-168-1	10	濡れシミあり、汚れている。シミ取り後、裏打ち処置
25	御触留 安政六年	長崎県	14-58-2	8	表紙の劣化は黒谷和紙厚手で裏打ち。本紙はひどい丁のみ修理
26	彼杵郡長崎村田方御回帳 宝暦七年	長崎県	14-142-6	92	全体に濡れて、シミ、カビあり。表紙の破損。裏打ち処置
27	神職掌礼并命婦名簿	長崎県	11-1719	55	表紙の汚れと劣化
28	長崎市市立学校職員録	長崎県	11-573	279	ハードカバーの表紙をはずし、新たに作成。酸性劣化の為裏打ち。朱インクの丁は入紙
29	祓勤仕 儀式 文化4丁卯年	長崎県	11-1741	45	汚れを軽く除去した後、虫喰い箇所とすれて弱った箇所を補強
30	中臣祓 大祝祝詞	長崎県	11-1742	16	汚れを除去後、劣化のひどい丁のみ裏打ち。
31	医宗必讀 卷四 本草微要下	長崎県	中西家旧蔵資料	76	28年前の長崎大水害被災資料。汚損虫喰い、カビ板状固着
32	長崎関係史料抜書集	長崎県	渡辺13-201 -2	44	酸性紙の外表紙の劣化、本紙も酸の移行による劣化。
33	長崎県一圓富豪家一覧表明治三十三年六月 編纂	長崎県		111	酸性劣化と水濡れによる劣化、脱酸処置後裏打ちした丁もある
34	神社昇格具申書 昭和三年	長崎県	11-1762	24	表紙を作成し、周囲の折れを整え、中性紙の封筒にいれる。
35	神社明細帳訂正具申書 昭和三年	長崎県	11-1766	134	表紙を作成し、周囲の折れを整え、中性紙の封筒にいれる。
36	對馬支部規約昭和二年三月改正長崎県神 職会規約	長崎県	11-1764	60	包装紙を表紙にしてあり酸化著しい。ガリ版刷り
37	神社明細帳訂正具申書 昭和三年	長崎県	11-1765	17	表紙を作成し、周囲の折れを整え、中性紙の封筒にいれる。
38	郷社八幡宮神社明治四十五年度取支予算	長崎県	11-1773	5	さびたホッチキスをはずし裏打ち処置後、こよりで綴じた。
39	私用往復綴 昭和九年以降	長崎県	11-1813	173	表紙が劣化して、大きさがまちまちの書類が綴じてある
40	古國對馬之神社	長崎県	11-1814	47	表紙の劣化。
41	書類 巖原漁業組合 明治四十五年	長崎県	11-1815	33	水濡れによる劣化、シミ、折れ
42	雜	長崎県	11-1819	15	水濡れによる劣化、シミ、折れ
43	宗門御改影踏帳 明治二年巳正月二十五日	長崎県	11-1990-1	93	表紙の前後を裏打ちし、四隅の折れをのばして綴じた
44	医方聚要 卷二	長崎県	中西家旧蔵資料	71	長崎大水害被災。汚れを灰汁で洗い虫喰い穴の繕い
45	医方聚要 卷十二	長崎県	中西家旧蔵資料	70	長崎大水害被災。汚れを灰汁で洗い虫喰い穴の繕い
46	鸞洲詩集	長崎県	12-1431-1	36	表紙は裏打ち修理。本紙は虫喰い穴の繕い修理
47	鸞洲詩集	長崎県	12-1431-2	42	表紙は裏打ち修理。本紙は虫喰い穴の繕い修理
48	鸞洲文稿 自明治13年9月	長崎県	12-1433	52	表紙は裏打ち修理。本紙は虫喰い穴の繕い修理
49	含雪亭観梅詩	長崎県	12-1434	24	表紙は裏打ち修理。本紙は虫喰い穴の繕い修理
50	口上之覚 大学規則一件	長崎県	11-1127	24	カビの発生がひどい。消毒修理後中性紙封筒に収納

1 調査研究

1. 国際交流事業

文化庁の助成事業「平成21年度美術館・博物館活動基盤整備支援事業」が採択され、以下の通り事業を実施した。

(1) 事業名

「博物館における海外交流史展示を活用した異文化理解教育プログラムの開発・整備～長崎歴史文化博物館の国際交流基盤づくりの一環として～」

(2) 連携館

福建博物院
泉州海外交通史博物館
中国閩台縁博物館

(3) 事業期間

平成21年10月1日(木)～平成22年3月15日(月)

(4) 目的

長崎歴史文化博物館においても、館の使命や長崎が有する歴史的・文化的背景に立脚した博物館の国際交流の推進が重要な課題となっている。周知のとおり、江戸時代、鎖国の状況下において長崎の出島および唐人屋敷は唯一、西欧や中国等海外に開かれた交流の窓口であり、長崎はそれらの国々との交流を通して特色ある歴史文化を形成してきた。

こうしたことから当博物館は「**交流・連携・発見**」をコンセプトとし、**近世長崎の海外交流史**をメインテーマに長崎の学術・文化の継承と発展、地域観光、地域経済の活性化への寄与等のミッションの実現に向けて展示・教育活動を展開している。これらのミッションや地域の要請に応え、今後の当博物館の質的充実を図るためには、国内の博物館や学校等の関係機関との連携はもとより、海外、とくに長崎と地理的にも近く、また歴史的にも関係の深い**中国の博物館等との関係構築、交流基盤の確立**に向けた早急な取り組みが必要である。

このため、まず中国福建省の博物館や大学等の学芸員、教員等との**継続的な共同研究、交流連携の基盤づくり**に取りかかることとしたい。初年度は当館と福建省の博物館の小学生対象の教育プログラムの共同研究、フォーラム、ワークショップ、シンポジウム等の実施などを通して、博物館における**異文化理解教育プログラム**の開発を行う。こうした交流基盤の形成により、長崎と中国との交流の一層の強化、活性化が期待でき、また、研究開発プログラムが当館の中国との交流展示コーナーの充実のみならず、我が国における博物館活動への波及効果につながり、モデルプログラムを提示することができるものとする。

(5) 事業内容等

(1) 事業の概要

- ア、福建博物院、泉州海外交通史博物館、中国閩台縁博物館との交流基盤づくり
- イ、福建省の博物館との教育プログラム交流のあり方に関するフォーラム、ワークショップの開催
- ウ、交流史展示を通じた異文化理解プログラムの開発と整備
- エ、教育プログラムの評価作業
- オ、事業報告書の作成と配布

(6) 交流基盤づくり

提携館の視察及び協議を下記の通り行った。

訪問者：博物館／大堀哲館長 深瀬公一郎研究員 加藤兼一研究員
長崎県文化振興課／大石課長補佐 堀川係長

日 程

訪問先	日 程	面会者
福建博物院	2009年10月25日(日)	楊琮院長、鄭輝副所長、ほか8名
福建省泉州海外交通史博物館	2009年10月26日(月)	郭育生副館長 その他、学芸員など5名
中国閩台縁博物館	2009年10月26日(月)	朱定波副館長

(7) フォーラムの開催

日中博物館交流フォーラム・ワークショップ「交流の歴史と現在をつなぐ～異文化理解の展示を考える～」を下記の通り開催した。

日 時 フォーラム：2009年11月21日(土)10：00－17：30

ワークショップ：11月22日(日)10：00－12：30

会 場 フォーラム：長崎歴史文化博物館 1階ホール

ワークショップ：長崎歴史文化博物館 2階常設展示室内

プログラム

●11月21日(土)フォーラム「交流の歴史と現在をつなぐ～異文化理解の展示を考える～」

10：00～10：15	開会の挨拶	長崎歴史文化博物館長	大堀 哲
10：20～12：20	事例報告	中国閩台縁博物館	楊 彦杰氏
		福建博物院	鄭 輝氏
		泉州海外交通史博物館	郭 育生氏
13：20～14：00	事例報告	長崎歴史文化博物館	竹内 有理
14：00～15：30	基調報告	国立歴史民俗博物館	久留島 浩氏
15：45～17：30	パネルディスカッション		

コーディネーター：大堀 哲

パネリスト：楊 彦杰氏、鄭 輝氏、郭 育生氏、久留島 浩氏、竹内 有理

司会進行：長崎歴史文化博物館 加藤 謙一

●11月22日(日)ワークショップ

10：00～12：30	「[中国との交流]展示から長崎・福建省の「今」が見えてくる！」 れきぶんの「中国との交流」展示を福建省の博物館のみなさんといっしょに見学しながら、 長崎と福建省の「今」をつなぐくらしや文化を発見してみましよう。
13：30～15：30	市内フィールドワーク*希望者のみ(崇福寺－中華街－唐人屋敷など)

(8) 異文化理解体験キットの開発・整備

交流フォーラムとワークショップの成果を踏まえて、中国との交流史展示を通して、「媽祖を中心とした信仰世界」と「福建の子どもたちのくらし」をテーマに、福建省の人々のくらしや文化への興味を喚起し、理解を深めるための異文化理解体験キットの開発・整備をおこなった。

2. 媽祖に関する調査研究

長崎県文化・スポーツ振興部文化振興課が3ヵ年計画で実施した媽祖に関する調査研究に協力した。

<調査先>

長崎市内：長崎大学附属図書館経済学部分館、日山神社、熊野神社、興福寺、崇福寺、旧唐人屋敷、滝の観音、悟真寺

長崎県内：佐世保市、諫早市、西海市、西彼時津町、川棚町、波佐見町、平戸市、五島市、南松浦郡

九州地区：佐賀県、熊本県、大分県、鹿児島県

関西地区：大阪市、藤井寺市、神戸市、天理市

関東地区：千葉県、茨城県

東北・北海道：宮城県、青森県、北海道

海外：中国福建省

<調査担当者>

長崎県文化振興課 本馬貞夫 大石一久 石尾和貴 松下久子 徳永宏
長崎歴史文化博物館 深瀬公一郎
外部協力者 藤田明良(天理大学教授)他

3. 「サービス産業生産性向上支援調査事業」

経済産業省の委託調査事業として、(株)乃村工藝社、慶応義塾大学SFC研究所、長崎歴史文化博物館からなるコンソーシアムを組織し、「文化・観光施設におけるサービス生産性向上プロジェクト」を実施した。

<事業の目的>

ディスプレイ業が扱うサービス群全体の生産性向上を促す手法の開発に取り組む。利用者データを活用した顧客基準の評価指標づくりや顧客満足の最大化に向けた運営現場の改善、業務の効率化・高度化を目指す。

<調査内容>

- a. 潜在的顧客層を含めた顧客理解調査
潜在的顧客層を含めた顧客ニーズの理解把握を行う。
- b. ミュージアム内部における顧客動態調査
無線ネットワークを活用し、無意識レベルでの顧客動向／滞留性を調査し、顧客特性に合わせた動態を理解する。
- c. 顧客満足度調査
顧客の経験価値と満足度について調査を行う。

<調査方法>

アイカメラ調査／ボランティア日誌分析／グループディスカッション／来館者Before-After調査／潜在的意識顧客調査(インターネット調査)／スタッフ気づき調査／全館スタッフワークショップ／館内動態改善調査

2 出版事業

1. 研究紀要

長崎の歴史文化や館蔵資料に関する調査研究の成果を発表することを目的に、「研究紀要」を発行した。

『研究紀要第4号』

発行：2009年12月31日

- ・藤田明良(天理大学国際文化学部教授)
「越前国補陀洛山普門寺の天妃媽祖観音像とその縁起について－17世紀中期の長崎と東アジアをめぐる海域交流の一断面－」
- ・原田博二(当館研究所長)
「ライデン国立民族学博物館蔵川原慶賀筆『人の一生図』について－シーボルトコレクションを中心にして－」
- ・平岡隆二(当館主任研究員)
「ゴメス『天球論』の成立と構成－イエズス会日本コレジオの宇宙論教科書とその欧文原典－」
- ・植松有希(当館研究員)
「長崎・聖福寺所蔵『涅槃図』」
- ・深瀬公一郎(当館研究員)
「唐人屋敷設置期の唐寺と媽祖」

『研究紀要第5号』

発行：2011年3月31日

- ・水嶋英治(常磐大学大学院教授)
「博物館化の基礎概念－建築遺産の公開か資料の組織化か－」
- ・加藤謙一(当館研究員)
「長崎歴史文化博物館の学校との連携事業－協力校・パートナーズプログラムがもたらした変化－」
- ・植松有希(当館研究員)
「小西家所蔵・木下逸雲関係粉本について」
- ・平岡隆二(当館研究員)
「長崎の印章－蔵書印を中心に－」
- ・深瀬公一郎(当館研究員)
「十七世紀後半の長崎港における船旗の役割」
- ・岡本健一郎(当館研究員)
「唐船対応をめぐる長崎開港の役割」

2. 史料翻刻

当館収蔵の古文書資料の活用を広くはかることを目的に、史料の翻刻作業を行い、「長崎歴史文化博物館史料叢書」として刊行した。

『長崎代官所関係史料 金井八郎翁備考録一』

発行：2010年3月31日

監修：原田博二

執筆・編集協力：長崎近世文書会

『長崎代官所関係史料 金井八郎翁備考録二』

発行：2011年3月31日

監修：原田博二

執筆・編集協力：長崎近世文書会

3. 報告書

平成21年度美術館・博物館活動基盤整備支援事業として実施した調査研究の成果を報告書にまとめた。

実施報告書

「博物館における海外交流史展示を活用した異文化理解教育プログラムの開発・整備～長崎歴史文化博物館の国際交流基盤づくりの一環として～」

発行：2010年3月

3 館外活動

竹内有理

- ・放送大学客員准教授(平成21・22年度)
- ・シンポジウム「館種を超えた学芸員ネットワークの構築」講師(主催：福岡地域学芸員ネットワーク推進協議会)(2010年2月20日)
- ・海と船のネットワーク研修会参加(2010年3月6日～7日)
- ・学会発表The 16th International Conference on Cultural Economics, Copenhagen(2010年6月10日)
- ・21世紀ミュージアム・サミットに関する研究会講師(主催：財団法人かながわ国際交流財団)(2011年1月20日)
- ・「地域連携型企画展の試み－長崎歴史文化博物館の事例－」『日本ミュージアム・マネジメント学会研究紀要』第15号執筆(2011年3月)

- ・文化庁研究会「資料の保存と管理」参加(2010年10月19日)
- ・文化庁美術館等運営研究協議会参加(2011年2月1日～2日)

越中勇

- ・長崎市歴史民俗資料館運営委員(平成21・22年度)
- ・長崎市中央公民館「秋の公民館講座」講師(2010年10月13日)

平岡隆二

- ・熊本県立大学講義(2009年7月6日)
- ・長崎大学講義(2010年5月6日)
- ・長崎純心大学「長崎学講座」講師(2010年11月27日)
- ・シーボルト大学講義(2010年12月1日)

深瀬公一郎

- ・歴史民俗資料館等専門職員研修参加(2009年11月16日～20日、2010年11月15日～19日)
- ・民博共同研究会(2010年8月31日～9月1日)
- ・シーボルト大学講義(2010年12月15日、12月22日)
- ・一支国博物館主催講演会講師(2010年12月19日)

岡本健一郎

- ・長崎全日空ホテルグラバーヒル社員研修会「坂本龍馬と幕末の長崎」講師(2010年3月8日、9日)
- ・アクロス福岡「アクロス・文化であい塾」「坂本龍馬と長崎」講師(2010年5月29日)
- ・長崎中央公民館「秋の公民館講座」講師(2010年10月20日、22日)

富川敦子

- ・県立長崎シーボルト大学「博物館実習」講師(2009年5月14日)
- ・佐世保市立図書館古文書修復講習講師(2010年5月20日)

関裕典

- ・文化財虫害研究所研修会参加(2009年6月18日～19日)
- ・IPM研修参加(2009年11月28日～29日)
- ・保存担当学芸員研修(東文研)(2010年7月12日～23日)
- ・ミュージアムIPM支援者育成研修(2010年11月21日～23日)
- ・文化財虫菌害防除作業講習会参加・認定試験受験(2011年3月9日～11日)

久保憲司

- ・ボランティアコーディネーター研修参加(2010年2月25日)

一瀬勇士

- ・大村市中央公民館主催講座「坂本龍馬～長崎にまつわるおもしろエピソード」講師(2010年9月16日)
- ・ボランティアコーディネーター研修参加(2010年2月25日)
- ・長崎市生涯学習課出前講座講師(2010年12月11日)

加藤兼一

- ・文化庁委託研究中間報告会(大阪大学)(2009年12月16日)
- ・美術館等運営研究協議会参加(2010年2月15日～16日)
- ・国立民族学博物館共同研究会参加(2010年11月27日)
- ・日博協研究協議会参加(2011年2月3日～4日)

1 博物館実習

実習の概要

- (1) 来館者対応
 - ・接客(フロア、受付での案内・誘導)
 - ・展示室内(体験コーナー)での対応
- (2) 教育普及
 - ・体験講座の補助
 - ・教育プログラムの見学
 - ・教育プログラムの体験
- (3) 企画展
 - ・企画展の種類(自主企画、巡回展)
 - ・企画展ができるまで
 - 企画書の作成、調書の取り方、借用手続き、展示図面、キャプション・パネル制作、図録作成、ポスター・チラシ作成 等
- (4) 来館者調査
 - ・面接法によるアンケート調査
- (5) 資料管理
 - ・資料の取扱い
 - ・資料の保存管理と修復
 - ・収蔵品情報の管理
- (6) 広報営業
 - ・マスコミ対応(プレスリリース等)、広報宣伝、旅行会社への営業 等
- (7) 課題制作



実習期間 2009年7月22日(水)～8月1日(土)

実習スケジュール

	AM(10:00～12:00)	PM(13:00～18:00)	担当
7月22日(水)	◇オリエンテーション ◇施設の概要(運営・組織)(講義)	◇施設見学 (展示室、バックヤード等)	館長 野間MGR 竹内・植松 関
7月23日(木)	◇教育事業について(講義) ◇広報営業活動について(講義)	◇企画展について(講義・演習) ◇壱岐展について(講義・演習)	竹内 向井 深瀬
7月24日(金)	◇ボランティアについて(講義) ◇来館者調査について(講義)	◇来館者調査(演習) ◇「河童とおはなし会」(14:00～15:30)(演習) ◇こどもクラブ展示準備	久保 竹内 下田
7月25日(土)		◇来館者調査(演習) ◇Let's スケッチ!(演習) ◇こどもクラブ展示作業(14:00～) ◇ナイトミュージアム(19:00～21:00)(演習)	竹内 一瀬 久保
7月26日(日)	◇来館者調査(演習) ◇フロア体験(演習) ◇Let's スケッチ!(演習)	◇来館者調査(演習) ◇フロア体験(演習) ◇Let's スケッチ!(演習)	竹内
7月27日(月)	休み(自由研修)		
7月28日(火)	◇展示撤収作業	資料の管理について(講義・演習)	関
7月29日(水)	◇資料の修復について(講義・演習) ◇資料の取扱い(演習)	◇資料の修復について(講義・演習) ◇資料の取扱い(演習)	富川 原田・越中
7月30日(木)	◇展示制作(演習)	◇染め体験(演習) ◇展示制作(演習)	竹内 一瀬
7月31日(金)	◇課題制作	◇陶芸体験(演習) ◇課題制作	竹内 一瀬
8月1日(土)	◇課題発表		竹内

実習生名簿

福田 早織	佐賀大学文化教育学部 国際文化課程	3年
久保 縁	広島大学教育学部	4年
古川 貴子	立正大学地球環境科学部	4年
永石 奏	熊本大学文学部文学科	3年
高 恩美	長崎国際大学国際観光学科	4年
安達 佑紀子	県立長崎シーボルト大学国際情報学部	4年
東郷 一子	県立長崎シーボルト大学国際情報学部	4年
杉永 麻美	活水女子大学文学部英語学科	4年
水元 春奈	活水女子大学文学部現代日本文化学科	4年
富永 美咲	活水女子大学文学部人間関係学科	4年
高橋 亜希	活水女子大学文学部人間関係学科	4年
田中 由里	長崎大学教育学部情報文化教育課程	4年
本多 知子	長崎大学教育学部情報文化教育課程	4年
森山 千紗都	長崎大学教育学部情報文化教育課程	4年
松川 明日香	長崎大学教育学部学校教育教員養成課程	4年

実習期間 2010年7月28日(水)～8月7日(土)

実習スケジュール

		実習内容
7月28日(水)	AM	オリエンテーション(竹内) 施設見学(竹内)
	PM	常設・企画展見学 実習 教育事業(折紙体験)
7月29日(木)	AM	講義 資料の管理(関)
	PM	実習 資料の管理(関)
7月30日(金)	AM	自己研修
	PM	講義 広報営業活動(向井)13:00～13:30
		講義 教育活動について(加藤)13:30～14:30
	実習 教育事業(陶芸体験)	
	講義 来館者を知る(竹内)	
実習 教育事業(ナイトミュージアム)		
7月31日(土)	AM	実習 来館者調査(竹内)
	PM	実習 来館者調査
		実習 教育事業(龍馬れきぶんツアー、版画体験)
8月1日(日)	AM	実習 来館者調査
	PM	実習 来館者調査
8月2日(月)		休み
8月3日(火)	AM	講義 古文書の修復(富川)
	PM	実習 古文書の修復(富川)
8月4日(水)	AM	講義 展覧会の企画から実施まで(竹内)
	PM	見学 教育事業(教員研修会)
		展示解説 「ようこそ江戸のアトリエへ」(植松)
8月5日(木)	AM	実習 教育事業(べっ甲体験)
	PM	実習 資料の取り扱い(越中)13:00～15:00
		実習 資料の撮影
8月6日(金)	AM	実習 資料の撮影(加藤)10:00～12:00
	PM	実習 来館者調査
		実習 教育事業(こどもクラブ)
8月7日(土)	AM	課題制作
	PM	見学 教育事業 課題発表

実習生名簿

田上 奈菜	金沢美術工芸大学美術工芸学部デザイン科	4年
原口 知美	活水女子大学文学部現代日本文化学科	4年
宇都口早織	活水女子大学文学部現代日本文化学科	4年
渡辺 浩央	鹿児島大学理学部地球環境科学科	4年
長谷 寛子	八洲学園大学生涯学習部生涯学習学科	3年
松永 章男	関西学院大学大学院文学研究科	1年
梅澤 茜	県立長崎シーボルト大学国際情報学部国際交流学科	4年
川原 綾夏	県立長崎シーボルト大学国際情報学部国際交流学科	4年
藤原 萌	県立長崎シーボルト大学国際情報学部国際交流学科	4年
森永 麗美	県立長崎シーボルト大学国際情報学部国際交流学科	4年

9

広報マーケティング

1 新聞掲載実績

平成21年度

掲載日	新聞紙名	見出し
2009年4月4日	長崎新聞	龍馬と長崎 動乱の幕末をゆく⑥/維新の陰の立役者/グラバー
2009年4月5日	長崎新聞	写し絵 色鮮やか/日蘭通商400周年記念「光のサーカス」子どもたち歓声
2009年4月4日	長崎新聞	エジプト展入場4万人
2009年4月6日	長崎新聞	「吉村作治の新発見エジプト展」/最終日も大にぎわい
2009年4月8日	朝日新聞	息づくガラス文化/町人に支えられ「素朴な美」開花
2009年4月8日	毎日新聞	「夏の甲子園の土踏む」/清峰ナイン県庁訪問/ナインの活躍写真で紹介歴史文化博物館
2009年4月9日	朝日新聞	亀山焼復活 龍馬に届け/ゆかりの子孫 高田さん、佐世保の窯元・金氏さん
2009年4月12日	長崎新聞	「貿易都市長崎の研究」刊行/繁栄の構造解明/元高校教諭の本馬貞夫さん近世史論まとめ
2009年4月12日	読売新聞	歴史文化博物館の模型/長崎工業高卒業生が寄贈
2009年4月12日	朝日新聞	細部も完ペキ 博物館再現/長崎工生制作の模型寄贈
2009年4月14日	長崎新聞	長崎歴史文化博物館の1 模型/長崎工業高が寄贈/政策7ヶ月の力作/館内で公開へ
2009年4月15日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/「日中韓」国際会議
2009年4月15日	長崎新聞	18日から大鉄道展/「黄金期」にスポット
2009年4月19日	長崎新聞	貿易都市長崎の研究/本馬貞夫著/地域の視点で本格的
2009年4月19日	読売新聞	日本初SL運行/長崎で大鉄道展
2009年4月19日	長崎新聞	大鉄道展始まる/備品、模型など500点展示
2009年4月22日	長崎新聞	事業計画案を承認/市史刊行委が初会合/名称「新長崎市史」を提案/市民に資料収集協力要請
2009年5月1日	西日本新聞	龍馬ゆかりの清風亭跡判明/長崎市の加藤さんら特定/後藤象二郎と会談
2009年5月1日	朝日新聞	鉄道の世界 見て触れて
2009年5月3日	長崎新聞	「食卓の日」に意義を再確認/会社員 磯部千穂子(五一)
2009年5月3日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/高校生の活躍と指導者
2009年5月2日	長崎新聞	後藤象二郎との会談場所/「清風亭」は万屋町の一角/加藤さんら文献基に特定
2009年5月9日	長崎新聞	石だたみ/アミュプラザ長崎に懐かしい車両の写真約二十点が展示され、買い物客らの目を楽しませている
2009年5月10日	読売新聞	大浦天主堂で献茶会
2009年5月10日	長崎新聞	大浦天主堂 献茶厳かに/表千家14代家元が奉納/脚本家 市川森一さんも参加
2009年5月10日	長崎新聞	列車に魅せられて/「長崎さしや倶楽部」吉村事務局長/「大鉄道展」盛況を喜ぶ
2009年5月11日	長崎新聞	ファンら貸し切りで市内巡る/長崎の路線電車を知らう/歴史とぬくもり感じ
2009年5月14日	長崎新聞	石だたみ/NHKの大河ドラマ「龍馬伝」県推進協議会は、ドラマを契機に本県の文化や食の魅力などを全国に発信し、
2009年5月16日	朝日新聞	就学旅行生 龍グルグル/長崎市を修学旅行で訪れた横浜市立豊田中学校の3年生15人が15日、長崎歴史文化博物館で龍踊に挑んだ。
2009年5月14日	長崎新聞	大河ドラマにちなんで/長崎歴史文化博物館に「龍馬館」/活性化に期待
2009年5月15日	長崎新聞	映画評論家 寺脇研さん講演/「龍馬が生きた時代」探る/あす長崎歴史文化博物館「キラメキ☆シネマ塾」
2009年5月21日	長崎新聞	お答え/「龍馬伝契機に長崎を活性化」について/県観光振興推進本部副本部長 松尾英紀
2009年5月20日	長崎新聞	さるくガイド資格取得へ/先生たちが研修スタート/亀山社中跡近くの瓊浦高
2009年5月22日	長崎新聞	「龍馬館」開設 観光の目玉に/会社員 溝田真実(二五)
2009年5月23日	長崎新聞	ティツィア展長崎開催望む/無職 末永浩(七三)
2009年5月26日	読売新聞	茶貿易商・大浦慶知る茶会/出島 さるく幕末編の一環
2009年5月31日	長崎新聞	龍馬ゆかりの長崎さるくコース/聖福寺進む老朽化/多額の修繕費 市民の協力不可欠
2009年5月31日	長崎新聞	京都の歴史館主催のツアー/長崎の幕末史跡探訪
2009年6月10日	長崎新聞	北京故宮の魅力知らう/陳副院長迎え特別講演会
2009年6月8日	長崎新聞	龍馬動く/長崎との関係学ぶ/県地方史研究会 ゆかりの地見学も

2009年6月1日	長崎新聞	「本来の意味理解を」/長崎歴史文化博物館長/生涯学習を解説
2009年6月5日	西日本新聞	波佐見焼SLを寄贈/ブルトレメニュー提供も
2009年6月27日	長崎新聞	原の辻遺跡の出土品展示/「邪馬台国への道 壱岐展」始まる/「亀形飾金具」など300点
2009年6月20日	長崎新聞	龍馬動く/「龍馬館」で魅力発信/資料は歴史博に一本化
2009年6月17日	長崎新聞	お答え/『龍馬館』開設観光の目玉に/長崎歴史文化博物館長 大堀哲
2009年7月2日	長崎新聞	思いはせ、高知-長崎/龍馬伝「友情ウォーク」/10、11月に半月かけ/ゆかりの地PR、520* _日
2009年7月3日	長崎新聞	歴史生かした跡地活用を/学識経験者らが知事にレポート/県庁敷地の変遷まとめる
2009年6月28日	読売新聞	ちゃんまげ道中/長崎第3位の所得者 子孫には財産残さず
2009年7月4日	長崎新聞	龍馬と長崎 動乱の幕末をゆく⑩/清風亭会談/仇敵同士が歩み寄る
2009年7月3日	読売新聞	県庁舎移転なら跡地発掘調査を/市川森一氏ら提言書
2009年7月7日	長崎新聞	県の協力交流/研修員に辞令
2009年7月7日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/辻井伸行さんと親孝行
2009年7月11日	長崎新聞	全国高校総合文化祭/本県代表が結団式/本番での活躍誓う
2009年7月8日	長崎新聞	あの人この人/協力交流研修員 エルウィン・ワルストラさん/オランダの良さ伝えたい
2009年7月12日	長崎新聞	寄稿「岩崎弥太郎日記」にいる龍馬とオールド/長崎県参与 本馬貞夫/幕末・長崎の第一級史料
2009年7月15日	長崎新聞	諫早市/観光ポスター 10年ぶり刷新/「歴史、食、自然」きらめく魅力アピール/県外客に情報発信強化へ
2009年7月15日	長崎新聞	幕末のオランダ人宣教師 フルベッキに光を/長崎で研究会発足
2009年7月17日	長崎新聞	長崎歴史博で壱岐神楽上演
2009年7月18日	長崎新聞	補正予算案27億7350万円/ふるさと情報館/新型インフル支援/経済対策が柱に
2009年7月18日	長崎新聞	勾玉を作ろう/長崎歴史博で「原の辻ワークショップ」
2009年7月19日	長崎新聞	日展/来月8日 長崎展開幕/4年ぶり巡回 304点の秀作群/県美術館、長崎歴史博の2会場
2009年7月22日	長崎新聞	「移動博物館」の展示施設を公募
2009年7月25日	長崎新聞	世界遺産への道 課題編・教会群とキリスト教遺産①/構成文化財の「格」
2009年8月3日	長崎新聞	国の重要無形民俗文化財/壱岐神楽厳かに
2009年7月28日	長崎新聞	衆院選長崎 私の視点 識者に聞く1/想像力豊かな政治必要/市川森一さん
2009年8月7日	長崎新聞	日展/理事長ら陳列指導/あすの開幕を前に
2009年8月9日	長崎新聞	日展/最高峰作品一堂に/2会場に広げ環境充実
2009年8月8日	長崎新聞	日展/きょう開幕、堂々 304点/本県出品者ら招き内覧会
2009年8月9日	長崎新聞	開幕/日展長崎展
2009年8月15日	長崎新聞	長崎歴史博200万人突破/中国人観光客張さんに花束贈る
2009年8月14日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/上司と部下の関係
2009年8月15日	長崎新聞	長崎歴史文化博物館/入場者200万人突破
2009年8月12日	長崎新聞	龍馬伝館 年明け開設/ドラマ撮影セット再現
	朝日新聞	「亀山社中」復元 龍馬を感じて/長崎に記念館オープン/「龍馬伝」経済効果210億円
2009年8月20日	長崎新聞	名作ずらり 日展長崎展/「最高峰の美」堪能
2009年8月21日	読売新聞	長崎歴史文化博物館 大河ドラマに合わせ/龍馬コーナー年明け開設
2009年8月27日	西日本新聞	長崎歴史博に「龍馬伝館」/来年1月からドラマと連携/撮影小道具や映像で紹介
2009年9月1日	長崎新聞	6万8000人 藤城清治展/2万4000人 日展長崎展/閉幕
2009年8月29日	長崎新聞	日展/入場者が大台突破/1万人目 三浦さんに記念品
2009年9月2日	読売新聞	くんちの練習 頑張ってます/長崎市長、児童らを激励
2009年9月2日	長崎新聞	「どんな人?何をした人?」/コンベンション協が入門講座
2009年9月4日	西日本新聞	一支国博物館 3月開館/特別展 九州のクニ出土品展示/壱岐と大陸の往来伝える
2009年9月4日	長崎新聞	江戸期の長崎地図で復元/自然史研究家・布袋さん/製作に4年、労作刊行
2009年9月11日	長崎新聞	あすから/「くんち三七五年展」/美術、工芸に焦点
2009年9月7日	読売新聞	龍馬入門講座に100人/観光協企画/案内役を育成
2009年9月12日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/平和コンサートinながよ
2009年9月12日	朝日新聞	くんち375年 技と美一堂に
2009年9月13日	長崎新聞	長崎歴史博収蔵絵図を復元・刊行/布袋厚/まだまだ眠るすごい財産
2009年9月13日	長崎新聞	長崎くんちを美術の視点で/「三七五年展」始まる 長崎くんち09/三七五年展始まる/初公開の大鉢も
2009年9月13日	西日本新聞	くんち三七五年展/美術や工芸を支える人紹介
2009年9月14日	長崎新聞	あなたも一緒に まだまだ学びたい18/古文書解説 原田泰治さん(76)/江戸時代の歴史探究

2009年9月14日	西日本新聞	長崎の伝統文化を紹介/さるく見聞館まつり開く
2009年9月14日	長崎新聞	ピース2009ナガサキから/被爆少女の生涯 紙芝居で/静岡の佐治さんが“読み語り”
2009年9月14日	長崎新聞	水や空/寺社の境内に立つと穏やかな気分になる。
2009年9月14日	読売新聞	老舗の道具に興味津々/長崎・さるく見聞館まつり
2009年9月15日	朝日新聞	「くち」の雰囲気も再現/手作り模型を展示中
2009年9月24日	読売新聞	長崎くんち09/ミニ傘鉾作ろう
2009年10月2日	長崎新聞	うず潮/市原実/長崎龍馬
2009年10月1日	朝日新聞	きょうから中華街周辺/お月見盛り上げ 長崎流/秋の夜長 龍踊りやコンサート
2009年10月4日	長崎新聞	石だたみ/長崎市立山1丁目の長崎歴史文化博物館で3日夜、“長崎奉行所お月見コンサート”があり、
2009年10月4日	長崎新聞	早くもくんち気分/庭見せ盛況
2009年10月2日	長崎新聞	石だたみ/長崎歴史文化博物館で開催中の「くんち三七五年展」にちなみ、「理容たていし」の
2009年10月6日	長崎新聞	重なる思い踊り場へ くんちを支える人々 4 /「長崎刺繍」再発見塾/飾船頭の衣装を制作
2009年10月6日	長崎新聞	「福山龍馬」ロケ始動
2006年10月6日	長崎新聞	歴史博など視察/皇太子さま帰京
2009年10月6日	長崎新聞	諏訪神社 秋の大祭、長崎くんち/あす開幕
2009年10月11日	長崎新聞	よみがえる幻の能/「諏訪」あす披露
2009年10月15日	朝日新聞	来月3日、長崎市で講座/龍馬の人物像・活躍紹介
2009年10月14日	朝日新聞	「恋の出発点に…」県イベント好評/自己紹介は緊張 やがて和やかに
2009年10月16日	長崎新聞	2009ながさき陶磁展/龍馬伝特別賞に藤本さん
2009年10月19日	長崎新聞	私の紙面批評/阿南重幸さん/地域に光与える文化欄/歴史知るきっかけに
2009年10月21日	長崎新聞	石だたみ/イタリア在住のバイオリン制作者、石井高さん
2009年10月24日	長崎新聞	YOSHI FUNABASHI/モデルになりませんか?/開館4周年イベント
2009年10月26日	読売新聞	本格茶道 気軽に楽しむ/淡交会長崎支部/収益の一部を寄付
2009年10月24日	長崎新聞	視覚障害者向けバイオリン完成/イタリア在住の石井さん/指の位置、わかりやすく工夫
2009年10月29日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/「希望学」のすすめ
2009年10月28日	長崎新聞	「阿蘭陀とNIPPON」展/家康の朱印状 県内初公開
2009年10月30日	西日本新聞	シーボルト サムライ気分?/家紋入りの袴見つかる/あすから長崎で初公開
2009年10月30日	西日本新聞	「阿蘭陀とNIPPON」あす開幕/展示品を輸入検査
2009年11月1日	西日本新聞	「阿蘭陀とNIPPON」開幕/日蘭の逸品350点ズバリ/多彩な関連イベントも
2009年11月1日	長崎新聞	「阿蘭陀とNIPPON」展始まる/400年の交流紹介
2009年11月4日	朝日新聞	龍馬熱/亀山社中記念館で企画展 書簡や「隠し部屋」公開/高知からウォーク 完歩した参加者、目頭熱く/歴史博物館で講演会 一風変わった人柄紹介
2009年11月4日	長崎新聞	高知-長崎520km。龍馬伝ウォーク/一行11人がゴール
2009年11月4日	読売新聞	龍馬の気持ちでゴール/足跡たどり高知からウォーク
2009年11月15日	朝日新聞	資料で見る日蘭交流の歴史/長崎市で通商400周年記念展
2009年11月11日	長崎新聞	皓台寺の「近藤長次郎墓碑」/龍馬筆と断定/県地方史研究会原田会長が発表
2009年11月18日	西日本新聞	諫早、大村市 24日初サミット/「西九州の軸」へ期待/諫早市出身の脚本家 市川森一さんに聞く
2009年11月19日	長崎新聞	日中博物館が交流/長崎歴史博と福建省3館/21日にフォーラム開催
2009年11月22日	長崎新聞	石だたみ/オランダ式望遠鏡作り体験
2009年11月23日	朝日新聞	日蘭交流の資料350点ずらり
2009年11月22日	読売新聞	手作り望遠鏡「見えた!」/世界天文年イベント
2009年11月24日	長崎新聞	日本「長崎ねこ」学会がシンポ/“尾曲がり猫”存在広めよう/市民ら意見交換/地域活性化に活用へ
2009年11月24日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/日蘭通商400周年記念展
2009年11月24日	読売新聞	尾曲がり猫で地域振興/長崎ねこ学会、活用へシンポ
2009年11月25日	長崎新聞	第5回長崎検定/新たに「坂本龍馬編」を追加
2009年11月30日	長崎新聞	中国の2館と交流開始/長崎歴史文化博物館/フォーラムで意見交換/2012年の大型特別展提案
2009年12月2日	長崎新聞	石だたみ/長崎歴史文化博物館で来年のえと、寅にちなんだ絵16点が展示され
2009年12月6日	読売新聞	長崎でエコフェスタ/市民発表や環境カルタ
2009年12月6日	長崎新聞	石だたみ/長崎市の長崎歴史文化博物館であった「ながさき県エコフェスタ2009」内で、
2009年12月15日	長崎新聞	「朱印状」21年ぶり公開/あすから長崎歴史博物館
2009年12月15日	長崎新聞	家康の朱印状県内で初公開/あすから長崎歴史文化博物館
2009年12月15日	長崎新聞	家康の朱印状到着/オランダ大臣が持参

2009年12月17日	西日本新聞	世界最長のオランダ刺しゅう/長崎市と姉妹都市の市民が制作/1年かけ125.62m
2009年12月17日	読売新聞	家康発給の朱印状公開/ハーグ公文書館所蔵/家紋入りの箱も
2009年12月27日	西日本新聞	勝海舟の部屋など12コーナー/「龍馬伝館」を公開
2009年12月20日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/長崎奉行所・龍馬伝館
2009年12月27日	朝日新聞	記念撮影するぜよ/坂本龍馬の胸像を亀山社中記念館や風頭公園を結ぶ長崎市の道沿いに建て
2009年12月27日	長崎新聞	勝海舟の部屋を公開/「龍馬伝館」来月9日オープン
2010年1月1日	長崎新聞	新春対談「幻日」を語る/11日いよいよスタート/「島原の乱」問う
2010年1月4日	読売新聞	龍馬、弥太郎像が序幕/長崎歴史文化博物館/2人そろっては全国初
2010年1月5日	朝日新聞	華やか 世界一長〜い刺繍
2010年1月4日	長崎新聞	龍馬と弥太郎/感激の“再会”
2010年1月6日	長崎新聞	長崎歴史文化博物館「阿蘭陀とNIPPON」/世界最長の刺しゅう展示
2010年1月5日	長崎新聞	少年少女剣士ら元気よく初稽古/長崎奉行所剣道演武大会
2010年1月9日	読売新聞	龍馬の世界に浸って/長崎歴史文化博物館/新施設きょうオープン/「大河」と実像に迫る
2010年1月9日	長崎新聞	「龍馬伝」視聴最大の楽しみ/薬剤師 瀧政子(56)
2010年1月9日	読売新聞	「龍馬と長崎」全国巡回展も/高知で開幕
2010年1月10日	長崎新聞	「龍馬伝館」オープン/福山さんの衣装など展示
2010年1月9日	毎日新聞	「龍馬伝館」きょうオープン
2010年1月9日	朝日新聞	「龍馬伝館」きょうオープン
2010年1月10日	長崎新聞	「龍馬伝館」の魅力/長崎歴史文化博物館研究員 深瀬公一郎さんが語る/史実裏付けて分析
2010年1月10日	西日本新聞	竜馬に思いはせ・・・/「龍馬伝館」開館
2010年1月10日	長崎新聞	時代が欲する龍馬という男/駐車場管理員 前田英機(66)
2010年1月10日	長崎新聞	“福山龍馬”で観光の浮揚を/主婦 杉原弘子(53)
2010年1月10日	高知新聞	「龍馬伝館」が長崎市に開館
2010年2月9日	読売新聞	道教の美術 上
2010年2月11日	読売新聞	道教の美術 下
2010年1月23日	朝日新聞	とっておきの旅/龍馬が歩いた 幕末維新の長崎を歩く
2010年1月24日	長崎新聞	「龍馬伝館」1万人突破
2010年1月24日	読売新聞	道教の世界が分かる/長崎で美術展/最古の医学書も
2010年1月27日	長崎新聞	本物や決め手ない龍馬催し/無職 末永浩(74)
2010年1月27日	朝日新聞	龍馬らの足跡たどり長崎の魅力など語る/鹿児島大教授招き来月
2010年1月24日	朝日新聞	龍馬伝館、入場1万人
2010年1月24日	西日本新聞	「龍馬伝館」も入場1万人突破
2010年1月27日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/上り坂と下り坂
2010年2月6日	日本経済新聞	長崎の「龍馬伝」効果/膨らむ観光胸算用/リピーター生む工夫必要
2010年2月4日	長崎新聞	鬼は外 福は内/年男と年女 1年の幸福願う
2010年1月17日	長崎新聞	龍馬も食べた?/長崎歴史文化博物館「銀嶺」/幕末の洋食ランチ登場
2010年2月21日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/キラリと光るスピーチ
2010年2月16日	長崎新聞	「何が喜ばれるか追求」/やすらぎ伊王島運営・加藤社長/“経営のコツ”講演
2010年2月26日	長崎新聞	入館5万人を突破/長崎歴史文化博物館「龍馬伝館」
2010年2月26日	西日本新聞	「龍馬伝館」5万人突破/開館48日間で
2010年2月23日	長崎新聞	愛らしい「たぬき絵」/新作家ぬぐい2種/「龍馬・長崎奉行」と「軍艦島」
2010年3月16日	西日本新聞	異国情緒と龍馬伝の長崎/長崎龍馬パスポートで巡る/龍馬の足跡
2010年3月7日	長崎新聞	紫舟さん解説交え華麗な書/「龍」は長崎歴史文化博物館に展示
2010年3月7日	長崎新聞	題字 鮮やかに大書/「書で楽しむ龍馬伝」
2010年3月21日	長崎新聞	航海安全の女神/県内の古媽祖像/国内最多10ヵ所19体確認
2010年3月20日	長崎新聞	原田博二氏が退任/「長崎学の顔」歴史研究所廃止で
2010年3月21日	長崎新聞	時代劇専門チャンネル番組 長崎歴史文化博物館で公開収録/俳優の田村亮ら出演
2010年3月21日	長崎新聞	水と空/長崎歴史文化博物館で名誉館長の市川森一さんと長崎純心大教授、宮坂正英さんのお話を聞く機会があった
2010年3月22日	長崎新聞	2月例会から/龍馬が歩いた長崎~古写真に見る幕末の風景~/講師 長崎歴史文化博物館研究所所長 原田博二氏
2010年3月25日	長崎新聞	春は山下清 秋は龍馬/「実録・坂本龍馬展」(仮題)
2010年3月31日	長崎新聞	退任原田所長元気で活躍を/主婦 時津裕美子(58)

掲載日	新聞紙名	見出し
2010年4月3日	長崎新聞	退任原田所長元気で活躍を/主婦 時津裕美子(58)
2010年4月3日	西日本新聞	私にできること/長崎歴史文化博物館職員の向井百合子さん/歴史から平和知って
2010年4月3日	朝日新聞	長崎今昔/長大写真コレクション/明治初期の新地と出島/幕末の面影ちらほら
2010年4月4日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/不転の「志」・「信念」
2010年4月4日	長崎新聞	分かりにくい龍馬関連史跡/駐車場管理員/前田英機(67)
2010年4月7日	長崎新聞	「幕末長崎」古写真で体感/上野彦馬の資料など400点/貴重なコレクション公開/長崎歴史文化博で10日～来月末
2010年4月8日	西日本新聞	幕末の長崎古写真で体験/彦馬の作品など400点展示/長崎歴史文化博物館10日から企画展
2010年4月10日	長崎新聞	セントポールの日本庭園/きょうから写真展/長崎歴史文化博物館で
2010年4月10日	朝日新聞	維新の躍動写真で堪能/長崎歴史文化博物館で企画展
2010年4月10日	長崎新聞	「龍馬伝館」は回数券を発売/展示替えのたびにどうぞ
2010年4月10日	読売新聞	幕末写真の古写真400点/歴史文化博物館
2010年4月10日	長崎新聞	「龍馬が見た長崎」に焦点/長崎歴史文化博 きょうから幕末古写真展
2010年4月11日	西日本新聞	龍馬伝館入館10万人/長崎歴史文化博物館 目標へ順調ペース
2010年4月11日	長崎新聞	入館者10万人突破/長崎歴史文化博「龍馬伝館」/熊本の大濱さん一家に記念品/ドラマに合わせ展示内容、来月更新へ
2010年4月15日	長崎新聞	「龍馬の道」たどろう/「飛翔ウオーク」長崎ステージ/初日は島原半島幕末に思いはせ
2010年4月17日	長崎新聞	11日間250キロ完歩/龍馬飛翔ウオーク/参加者ら笑顔でゴール
2010年4月17日	長崎新聞	四季折々の「表情」写す/「セントポールの日本庭園」写真展/長崎歴史文化博
2010年4月18日	長崎新聞	「長崎学の顔」今後も活躍を/無職 小西伸一(70)
2010年4月24日	朝日新聞	長崎今昔/長大写真コレクション/よりすぐり「古写真展」龍馬の時代 思わぬ発見/市川森一さん・姫野教授トークあす
2010年4月24日	長崎新聞	長崎の古写真時を忘れ鑑賞/駐車場管理員 前田英機(67)
2010年4月27日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/日本の「洗濯」
2010年4月30日	朝日新聞	牛乳パック使い自作のカメラ
2010年4月30日	朝日新聞	記念写真も龍馬ブーム
2010年4月30日	読売新聞	GW各地でイベント/牛乳パックで手作りカメラ/長崎歴史文化博物館
2010年4月30日	長崎新聞	「龍馬」観光人気呼ぶ/GW初日/長崎歴史文化博 昨年の倍、2800人来館
2010年5月2日	長崎新聞	小曾根家まつわる史料も/長崎歴史文化博の龍馬伝館/内容リニューアル
2010年5月7日	長崎新聞	劇でクイズで歴史に触れて/龍馬の秘密知ってる?/長崎歴史文化博でイベント/生い立ちなど説明 3 択に親子連れ挑戦
2010年5月8日	長崎新聞	竹馬こま回し楽しい/昔の遊びで子ども歓声長崎歴史文化博
2010年5月9日	長崎新聞	「幕末長崎古写真展」31日まで長崎歴史文化博/浮かび上がる彦馬のすごみ/正確なプリント、卓越した人物写真
2010年5月11日	長崎新聞	GWの県内観光客数/前年比28%増の54万6000人/「龍馬伝」効果と好天影響
2010年5月11日	西日本新聞	GWの観光客 3割増/県内まとめ7日間で54万人超/「龍馬伝」と好天影響
2010年5月13日	読売新聞	GW県内人出12万人の増加/HTBは2割増/好天、「龍馬ブーム」後押し
2010年5月14日	長崎新聞	発想を引っ張り出し発信/県文化・スポーツ振興部長になった 伊東博隆(54)
2010年5月21日	長崎新聞	デンマーク電信士の見た長崎/23日に講演会/長崎史談会
2010年5月19日	朝日新聞	自慢したい写真発祥の地長崎 駐車場管理員 前田英樹(67)
2010年5月22日	朝日新聞	幕末古写真展 6月末まで/歴史文化博物館 好評受け延長
2010年5月23日	読売新聞	お茶の知識小学生競う/長崎で「T-1 グランプリ」
2010年5月27日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/絵手紙に見る感性
2010年5月23日	長崎新聞	石だたみ
2010年5月31日	長崎新聞	コペンハーゲン大アジア研究所長島要一教授/歴史文化博で講演/長崎居留地での暮らしぶり発表/明治初期来崎した電信士の日記発見
2010年5月31日	長崎新聞	幕末長崎古写真展/好評で会期延長/歴史文化博来月末まで1ヵ月
2010年6月4日	読売新聞	龍馬ブーム後を見据える/中村予算 2010 中/観光浮揚策
2010年6月10日	朝日新聞	be art/「影」がずれているわけ/美の履歴書158
2010年6月12日	長崎新聞	入場者数2万人突破/幕末長崎古写真展/長崎歴史文化博/大分の大神さんに記念品
2010年6月19日	長崎新聞	ふるさと総合/日本初の英字新聞/長大、歴史文化博などがデジタル化/図書館振興財団事業に助成金
2010年6月19日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/〆祈り、の龍馬像

2010年6月28日	西日本新聞	竜馬の妻おりょう語る/長崎歴史文化博物館/市川さんと小曾根さん/「長崎での新婚生活一番幸せだった」
2010年6月30日	長崎新聞	龍馬動く/「長崎は龍馬夫婦が安らげた場所」/小曾根代さん市川さんと対談 長崎歴史文博
2010年7月4日	長崎新聞	「長崎奉行所・龍馬伝館」の入場者 20万人突破/熊本への夫婦に記念品
2010年7月4日	西日本新聞	龍馬伝館入館者20万人を突破/長崎歴史文化博物館
2010年7月7日	長崎新聞	芸能ライナー /NBC初の快挙/「グランダブレミオ」受賞—TBS系列コンテスト/林田繁とアナウンサー /「自分らしさ大切にしたい」
2010年7月9日	西日本新聞	マガジン サンデー 少年誌50年の歩みたどる/100作品の原画展示/長崎歴史文化博物館
2010年7月11日	長崎新聞	石だたみ
2010年7月11日	朝日新聞	青鉛筆
2010年7月13日	長崎新聞	南画うちわに挑戦/児童19人が楽しむ/れきふんこどもクラブ
2010年7月14日	長崎新聞	17日から「サンデー・マガジンのDNA」展/半世紀におよぶ名作 漫画100作品原画展示/長崎歴史文化博物館 小中高校生は無料
2010年7月15日	朝日新聞	サンデー・マガジンのDNA ～週刊少年漫画誌の50年～
2010年7月17日	長崎新聞	名作原画ずらり/「サンデー・マガジンのDNA」展/きょうから漫画100作品/長崎歴史文化博物館
2010年7月20日	長崎新聞	水や空
2010年7月20日	朝日新聞	「若手の球宴」観戦券 観光施設割引券、に/夏休み期間中県内11ヵ所で
2010年7月22日	長崎新聞	観戦チケットで観光施設の割引/11ヵ所対象に来月まで
2010年7月24日	長崎新聞	「長崎時代の龍馬」エピソードを紹介/佐世保史談会きょう講演会
2010年7月21日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/絆を育む
2010年7月21日	読売新聞	見聞録2010/「大河」の舞台裏/関連事業で子会社移す
2010年7月26日	長崎新聞	ライバル関係の歴史語る/歴史文博 フリー編集者・斎藤さんが解説/「サンデー・マガジンのDNA」展
2010年7月25日	読売新聞	少年漫画の50年振り返る/長崎「巨人の星」など原画公開
2010年8月1日	長崎新聞	龍馬動く/坂東妻三郎主演、無声映画の名作「坂本龍馬」を上映/5～8日、長崎歴史文博/日替わりで5作品も公開
2010年7月31日	長崎新聞	3日長崎歴史文博でセミナー /日蘭交流の歴史など研究員ら講演・発表
2010年8月13日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/教えることは学ぶこと
2010年8月18日	長崎新聞	石だたみ
2010年8月21日	長崎新聞	記者の目/好調龍馬観光 来年は?
2010年8月31日	長崎新聞	石だたみ
2010年8月30日	長崎新聞	石だたみ
2010年9月4日	長崎新聞	龍馬と長崎第2部/幕末崎陽志士群像/龍馬の教えて開眼/外交最前線の地で才能磨く/陸奥宗光/反骨精神の「カミソリ大臣」
2010年9月4日	長崎新聞	龍馬動く/「出前授業」の参加校募集/龍馬や幕末の長崎学ぶ/「大河ドラマ特別展」に合わせ来月実施
2010年9月7日	長崎新聞	練習さるく/一足早く くち気分/市内外から24人「モッテコーイ」
2010年9月7日	長崎新聞	石だたみ
2010年9月9日	長崎新聞	長崎近郊県南県央/わたしの龍馬 フォト&メッセージ/帆足さん(雲仙)ら9人入賞
2010年9月14日	読売新聞	くち学ぶツアー人気/多彩な内容、定員オーバーも
2010年9月14日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/「龍馬へのメッセージ」から
2010年9月15日	長崎新聞	わらしの龍馬フォト&メッセージ特集/それぞれの龍馬、に思い込めて
2010年9月18日	長崎新聞	クイズで龍馬学ぶ/村松小で出前授業
2010年9月18日	朝日新聞	江戸期のくちよみがえる/長崎の2館、衣装や写真展示
2010年9月20日	長崎新聞	龍馬動く/「龍馬伝館」30万人突破/福岡の女性に記念品/長崎歴史文化博物館
2010年9月20日	読売新聞	「龍馬伝」効果で入館者増/長崎歴史文化博物館/ドラマ終了後の集客課題
2010年9月20日	朝日新聞	龍馬伝館入場30万人を突破
2010年9月20日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/龍馬との唯一の思い出/お瀧に贈った帯留め
2010年9月21日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/長崎でお瀧が奏でる/月琴
2010年9月22日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/自分に万一のことがあれば…/三吉慎蔵への書簡
2010年9月23日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/暗殺現場 惨状物語る/血染め掛軸
2010年9月24日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/最も鮮やかな勇姿、/湿板写真
2010年9月24日	長崎新聞	津本陽さんが講演/来月8日、長崎歴史文博
2010年9月25日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/妖怪に例えられた黒船/異国船図
2010年9月26日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/容堂の漢詩に何度も登場/ギヤマン杯
2010年9月27日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/詳細に書き記された戦状/長幕海戦図

2010年9月28日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/二人の境遇と決意伝える/高杉晋作試書扇面
2010年9月28日	長崎新聞	龍馬動く/陸奥宗光役の平岡さん出席/来月2日の「写真展」表彰式
2010年9月28日	長崎新聞	龍馬動く/中岡慎太郎の写真原板/来月22日特別公開/長崎歴史文博「実録・坂本龍馬展」
2010年9月29日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/盟友武市半平太の悲劇/笑泣録
2010年9月30日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/日本の将来を憂える姿/勝海舟江戸開城図
2010年9月30日	長崎新聞	幕末の風雲児`坂本龍馬、とは一体何者なのか?/本物が伝える英雄の生き様
2010年10月1日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/社中を支えた男の無念/近藤長次郎遺品
2010年10月2日	長崎新聞	実録・坂本龍馬展が開会/きょうから一般公開
2010年10月2日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/手にしたまま亡くなる/龍馬佩用の刀
2010年10月2日	長崎新聞	龍馬 波乱の生涯/刀や雑記帳を内覧/貴重な200点 長崎歴史文博
2010年10月2日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/「坂本龍馬」展
2010年10月3日	長崎新聞	わたしの龍馬 フォト&メッセージ/白水さんらを表彰/陸奥役・平岡さんも祝福
2010年10月3日	長崎新聞	幕末の実物この目で/初日来場者、展示くぎ付け
2010年10月3日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/仇敵と手携え新たな船出/海援隊日史
2010年10月4日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/時代を先駆けた集団/海援隊約規
2010年10月4日	西日本新聞	くんち百景/庭見世 夜まで盛況/本番間近「わくわくする」
2010年10月4日	長崎新聞	華やか庭見せ/くんち気分一足早く きょう人数揃
2010年10月5日	長崎新聞	楽しい肌で歴史`体感、/歴史文博研究員南蛮貿易品使い出張授業/畝刈小
2010年10月5日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/たった1通のラブレター /妻お瀧への手紙
2010年10月7日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/自筆で簡潔に理念示す/新政府綱領八策
2010年10月8日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/弥太郎考案、初期は長細/三菱マークの鬼板
2010年10月9日	長崎新聞	これが本物/実録・坂本龍馬展/時代を超えたヒーロー /肖像画
2010年10月8日	長崎新聞	特別鼎談「龍馬がもたらす町おこし」/観光と連携飛躍を/「実録・坂本龍馬展」開幕で記念イベント
2010年10月10日	長崎新聞	龍馬動く/長崎の街「大好き」/大河ドラマ「龍馬伝」で陸奥陽之助役 平岡祐太(26)/撮影現場で福山から助言
2010年10月10日	長崎新聞	まるごとろーかる/伝来の歴史探る/みそ、うなぎ、紅芋 全国から100種類/カステラサミットin平戸
2010年10月10日	長崎新聞	九州初公開に観覧の列/龍馬写真のガラス原板/「髪の毛一本一本も」鮮明さに驚き
2010年10月10日	読売新聞	龍馬の湿板写真`里帰り、/長崎歴史文化博物館 あすまで限定公開
2010年10月11日	長崎新聞	入場者1万人突破/大分の井上さんに花束/ガラス原板展示きょうまで
2010年10月13日	長崎新聞	龍馬も愛用 亀山焼再現/リンガーハット角煮セットを発売
2010年10月13日	長崎新聞	観覧者/龍馬はそこにいた
2010年10月14日	長崎新聞	フォトフラッシュ/実録・坂本龍馬展/波乱に満ちた生涯体感
2010年10月14日	長崎新聞	300万人突破/龍馬ブームが後押し/長崎歴史文博 東京の築山さんに記念品
2010年10月14日	朝日新聞	長崎歴史文化博入館300万人突破/計画の1.5倍ペース
2010年10月14日	西日本新聞	入場者300万人を突破/開館5年の長崎歴史文化博物館/竜馬ブームも後押し
2010年10月16日	朝日新聞	龍馬の写真 あすまで展示/長崎歴史文化博物館
2010年10月16日	長崎新聞	大浦慶所有の写真初公開/「腰掛け龍馬」など2枚/あすまで長崎歴史文博
2010年10月18日	長崎新聞	入場者2万人突破/長崎歴史文博 熊本の池尻さんに記念品
2010年10月18日	長崎新聞	龍馬の心にあふれて/長崎で見るからこそ/NHK長崎放送局アナウンサー 三輪秀香さん
2010年10月19日	長崎新聞	龍馬の心にあふれて/お瀧の月琴に注目/長崎検番芸妓(げいこ) 美代菊さん
2010年10月20日	長崎新聞	龍馬の心にあふれて/生々しい掛け軸の血痕/サンメールさせほ 堀多香子さん
2010年10月21日	長崎新聞	石だたみ
2010年10月22日	長崎新聞	龍馬の心にあふれて/感銘を受けた容堂詩書/小曾根17代当主妻 小曾根育代さん
2010年10月21日	朝日新聞	本物の龍馬を知る/入館者が最速2万人突破 歴史文化博物館で実録展/「長崎の魅力伝えたい」研究員の深瀬さん語る
2010年10月23日	長崎新聞	中岡慎太郎の笑み ファン魅了/あすまで長崎歴史文博 写真原板を公開
2010年10月23日	長崎新聞	幕末ロマンに思いはせ/「実録・坂本龍馬展」を見て
2010年10月24日	長崎新聞	幕末ロマンに思いはせ/「実録・坂本龍馬展」を見て
2010年10月26日	長崎新聞	龍馬の心にあふれて/案内に役立つ発見も/さるくガイド 小杉徳寿さん
2010年10月26日	長崎新聞	幕末ロマンに思いはせ/「実録・坂本龍馬展」を見て
2010年10月26日	長崎新聞	龍馬の心にあふれて/本物が伝える息遣い/長崎青年協会42代会長 武田誠さん
2010年10月27日	長崎新聞	幕末ロマンに思いはせ/「実録・坂本龍馬展」を見て
2010年10月29日	長崎新聞	幕末ロマンに思いはせ/「実録・坂本龍馬展」を見て

2010年10月27日	長崎新聞	龍馬の心にふれて/「新政府綱領」に感動/亀山社中ば活かす会幹事 黒岩信之さん
2010年10月29日	長崎新聞	龍馬の心にふれて/海援隊士の息吹感じ/長崎龍馬会会長 馬渡善裕さん
2010年10月29日	長崎新聞	入場者3万人を突破/長崎歴史文博 野田さんに花束と記念品
2010年10月29日	長崎新聞	観光PRで来月訪中/中村知事/福建博物院と交流協定も
2010年10月29日	長崎新聞	水や空
2010年10月31日	長崎新聞	幕末ロマンに思いはせ/「実録・坂本龍馬展」を見て
2010年11月2日	長崎新聞	幕末ロマンに思いはせ/「実録・坂本龍馬展」を見て
2010年11月3日	長崎新聞	幕末ロマンに思いはせ/「実録・坂本龍馬展」を見て
2010年11月4日	長崎新聞	33日間 4万6000人観覧/長崎歴史文博 集客率は過去最高/最終日 長蛇の列
2010年11月6日	長崎新聞	県中学校総合文化祭始まる/絵画や書 力作ずらり/展示発表 3会場に1100点
2010年11月6日	長崎新聞	ゆったり お点前味わう/長崎歴史文化博物館で300人/日本礼道小笠原流が全国茶会
2010年11月11日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/韓国旅日記から
2010年11月12日	長崎新聞	来年度、一部改装へ/龍馬伝契機に「幕末」充実/長崎歴史文博・常設展示室
2010年11月14日	長崎新聞	来場40万人/長崎奉行所・龍馬伝館/兵庫・下村さん親子に記念品
2010年11月14日	長崎新聞	風頭公園・生誕祭/タイムカプセル埋め戻す/「輝く未来に」思いを込めて
2010年11月14日	長崎新聞	古楽器 優雅な調べ堪能/開館5周年でコンサート/歴史文博
2010年11月16日	読売新聞	耳の渚 池辺晋一郎/博物館の演奏会 古譜でもう1曲
2010年11月17日	長崎新聞	19日から特別展「岩崎彌太郎」 長崎歴史文博/人物像と業績紹介
2010年11月19日	西日本新聞	岩崎彌太郎展 きょう開幕/長崎歴史文化博物館
2010年11月19日	長崎新聞	きょうから岩崎彌太郎展/活躍示す資料並ぶ/長崎歴史文博で開会式
2010年11月23日	読売新聞	岩崎彌太郎の足跡たどる/長崎 妻あての書簡を初公開
2010年11月24日	長崎新聞	施設、新商品が好調/観光への龍馬伝効果/「期待外れ」の声も
2010年11月29日	長崎新聞	理想と現実 長崎歴史文博 開館5年の課題/九州トップの入館者数/好調 龍馬ブームの追い風とらえ
2010年11月30日	長崎新聞	理想と現実 長崎歴史文博 開館5年の課題/非正規雇用 将来に不安/葛藤 研究員、サービスに追われ
2010年12月1日	長崎新聞	理想と現実 長崎歴史文博 開館5年の課題/長崎学の方向性迷走、使命 県民、市民と対話が必要
2010年12月12日	長崎新聞	非正規雇用の処遇改善必要
2010年12月15日	朝日新聞	「進化する博物館」が基軸/年間入館者100万人突破/大堀哲・長崎歴史文化博物館長
2010年12月15日	朝日新聞	うず潮/大堀哲/岩崎彌太郎展
2010年12月21日	長崎新聞	「龍馬像」各地で建立/祈る姿、座像、若き日…/大河ドラマがブーム呼ぶ
2010年12月21日	朝日新聞	取材メモから/観光客増も来年正念場/龍馬伝ブーム
2010年12月23日	長崎新聞	巨大市場への期待 官民中国訪問団同行リポート/共同研究や資料展示を/文化交流
2010年12月23日	長崎新聞	石だたみ
2010年12月24日	西日本新聞	岩崎彌太郎 もう一つの顔 岡本健一郎/長崎で深めた教養を激動期生き抜く土台に
2010年12月26日	長崎新聞	寄稿 明治元年の長州藩屋敷 石尾和貴/長崎で拠点回復/樺島町の海岸に新設
2010年12月28日	長崎新聞	「龍馬伝館」の会期延長して
2010年12月30日	長崎新聞	2010ニュースと写真で振り返る県内この一年/沸いた龍馬人気
2010年12月30日	長崎新聞	えぶろん/龍馬をたたえ/伊予屋範子
2011年1月1日	朝日新聞	2011新春トップインタビュー /次代へと龍馬が開いた、長崎観光の新たな扉 長崎歴史文化博物館大堀哲館長に聞く
2011年1月3日	読売新聞	龍馬の古写真きょうまで公開/長崎歴史文化博物館
2011年1月3日	朝日新聞	点描2010-11/平和・ゆめ 初筆に思い込め
2011年1月4日	朝日新聞	遊び心にとどきつ/安野光雅の絵本展
2011年1月4日	長崎新聞	新年へ気合の一振り/長崎奉行所初稽古剣道演武大会/若い剣士ら掛け声響く
2011年1月4日	読売新聞	気持ち引き締め初稽古/長崎で剣道演武大会
2011年1月11日	長崎新聞	「龍馬伝館」が閉館/長崎歴史文博 目標上回る46万人超/高知「龍馬であい博」も
2011年1月13日	長崎新聞	「龍馬伝館」延長希望へのお答え/長崎歴史文化博物館館長/大堀哲
2011年1月18日	長崎新聞	バイオリン工房開設支援/長崎歴史文博に30万円を寄付 十八銀基金
2011年1月23日	長崎新聞	中国の神々紹介「神仙図」を特集展示 長崎歴史文博
2011年1月25日	長崎新聞	ふるさと総合/中国のTV局長崎ロケ/辛亥革命100周年で番組/孫文、梅屋のつながり取材
2011年1月25日	西日本新聞	中国中央TV長崎取材/辛亥革命100年 孫文ゆかりの地訪問
2011年1月25日	西日本新聞	上海摩登女子(モダンガール)の時代/チャイナドレス展から 1/清朝貴族の服に由来
2011年1月26日	西日本新聞	上海摩登女子(モダンガール)の時代/チャイナドレス展から 2/西洋的女性美を追求

2011年1月26日	西日本新聞	チャイナドレス170点/29日から長崎歴史文化博物館で展示
2011年1月27日	西日本新聞	上海摩登女子(モダンガール)の時代/チャイナドレス展から 3 /古今の「中国」を象徴
2011年1月28日	西日本新聞	上海摩登女子(モダンガール)の時代/チャイナドレス展から 4 /下駄をはいて上海へ
2011年1月28日	西日本新聞	服飾に刻む中国近代史/今日からチャイナドレス展
2011年1月29日	西日本新聞	News/「チャイナドレス展」開会式
2011年1月29日	西日本新聞	上海摩登女子(モダンガール)の時代/チャイナドレス展から 5 /東アジアのリポート
2011年1月30日	西日本新聞	上海モダンの魅力語る/チャイナドレス展開幕/長崎歴史文化博物館 謝黎さん講演
2011年1月30日	西日本新聞	ひと/チャイナドレス研究の第一人者/謝黎さん
2011年1月30日	朝日新聞	チャイナドレス変遷たどる170点/長崎
2011年2月3日	朝日新聞	バイオリン作り名匠の技目前に/伊在住・石井さん、長崎で14日まで/天正遣欧使節の研究が縁
2011年2月7日	読売新聞	市民寸劇「長崎奉行所」が人気/平均65歳、笑いと涙誘う/初演から5年 3000回突破/歴史文化博物館
2011年2月5日	長崎新聞	石だたみ
2011年2月8日	長崎新聞	跡地に奉行所復元を/県庁舎の整備をめぐって/外山幹夫/かつて存在した「西役所」中心部再生の切り札
2011年2月9日	西日本新聞	「友情」軸に中国人へPR/孫文・梅屋庄吉企画始動/巡回展、映画製作支援など 長期的戦略も不可欠
2011年2月9日	読売新聞	「孫文と梅屋庄吉」発信/官民一体で推進、協議会設立
2011年2月9日	朝日新聞	梅屋庄吉 龍馬に続け/観光振興へ「孫文の盟友」/推進協設立 企画展や映画も
2011年2月9日	長崎新聞	孫文と梅屋庄吉発信プロジェクト/地域活性狙い推進協/官民一体 映画や特別展支援
2011年2月11日	長崎新聞	うず潮/大堀哲/「大河ドラマ館」オープン
2011年2月11日	西日本新聞	チャイナドレスと上海モダン展/長崎市・長崎歴史文化博物館/来月27日まで/流行の変遷たどる177点展示
2011年2月11日	長崎新聞	きょうから大河ドラマ館/長崎歴史文化博物館/50作紹介
2011年2月17日	長崎新聞	上海航路に3.3億円/県予算 アジア戦略、魅力PR
2011年2月11日	西日本新聞	大河ドラマ館きょう開館/50作品を紹介 長崎歴史文化博物館
2011年2月17日	朝日新聞	経済・雇用対策に重点/県11年度予算案 一般会計7090億円
2011年2月20日	西日本新聞	「上海モダン」女優通し解説/長崎歴史文化博物館で講演
2011年2月19日	朝日新聞	長崎今昔/長大写真コレクション/幕末中国人男女の正装/満州族の「旗袍」着用
2011年2月21日	長崎新聞	私の紙面批評/森草一郎さん/長崎歴史文化博物館の5年検証/研究部門の弱さ指摘
2011年2月25日	西日本新聞	胡弓の演奏会や中国茶芸体験も/チャイナドレス展に合わせ/長崎歴史文化博物館
2011年3月2日	長崎新聞	「大浦慶 戯曲化したい」/市川さん、本馬さん対談
2011年3月4日	西日本新聞	100年前の肖像写真/上野彦馬開設の上海支店撮影/長崎歴史文化博物館で初公開へ
2011年3月4日	西日本新聞	長崎歴史文化博物館と小値賀中/ネットで遠隔授業/「郷土史にも興味持って」
2011年3月4日	朝日新聞	小値賀中で遠隔授業/長崎の博物館から中継
2011年3月17日	長崎新聞	中国・福建博物館を知って/所蔵品などを紹介/長崎歴史文化博物館27日までパネル展
2011年3月27日	長崎新聞	石だたみ
2011年3月26日	長崎新聞	震災復興支援/きょうコンサート/長崎歴史文化博物館

2 広報印刷物

・長崎れきぶんNEWS





れきぶんの夏休み2009

今年も「れきぶんの夏休み」は長崎の歴史や文化をテーマにしたイベントが盛りだくさん！新しい発見や思い出がいっぱい待っているよ。

長崎伝統工芸まつり
8/16日

つわり三人組の夏休み
7/22日～9/14日

れきぶん ナイトミュージアム
7/25日

奉行所夏祭り
8/16日

おもしろ

光のサーカス

空撮撮影「Waterloop」& ニューズコープ
作品名「Giant Light Circus」& ジャイアントライトサーカス

「長崎奉行所」お月見コンサート
2009.10.31日

秋の調べ～人形浄瑠璃 室内楽コンサート
2009.10.10日

古楽コンサート
17世紀オランダ音楽
～レンブラントの街をめぐって～

2009年11月28日(土) 19:30開演

れきぶんのお正月2010

遊 1月3日(土)～1月3日(日) 13:00～16:00

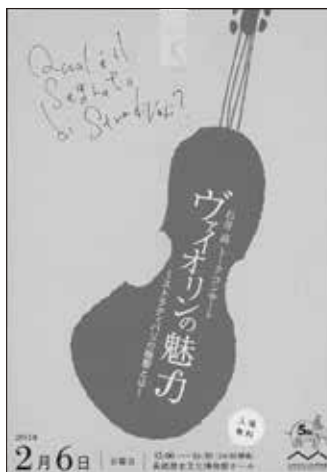
楽 12月26日(土) 18:00～19:30

響 1月2日(土) 13:30～15:00

音 1月2日(日) 13:00～

楽 新春恒例行事～室内演奏 1月10日(日) 13:30～16:00

弾 新春恒例行事～華やかに弾き語り 1月11日(日) 11:30～13:30

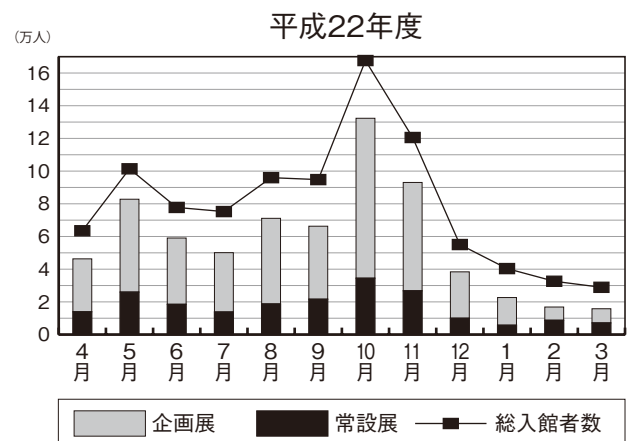
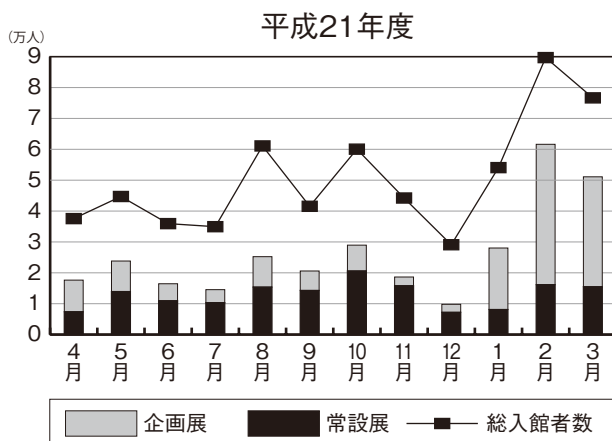
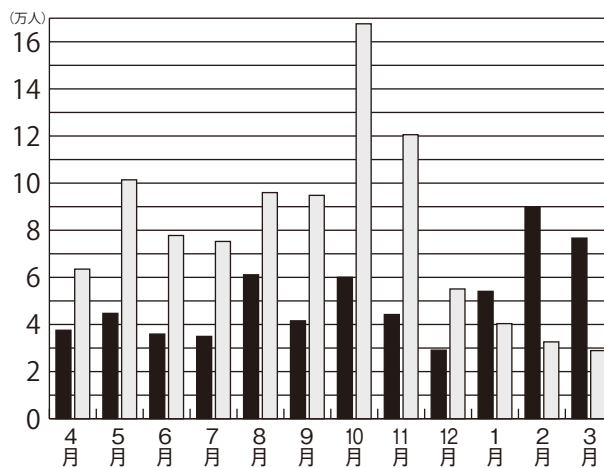
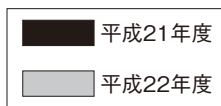


1 来館者統計

■入館者数

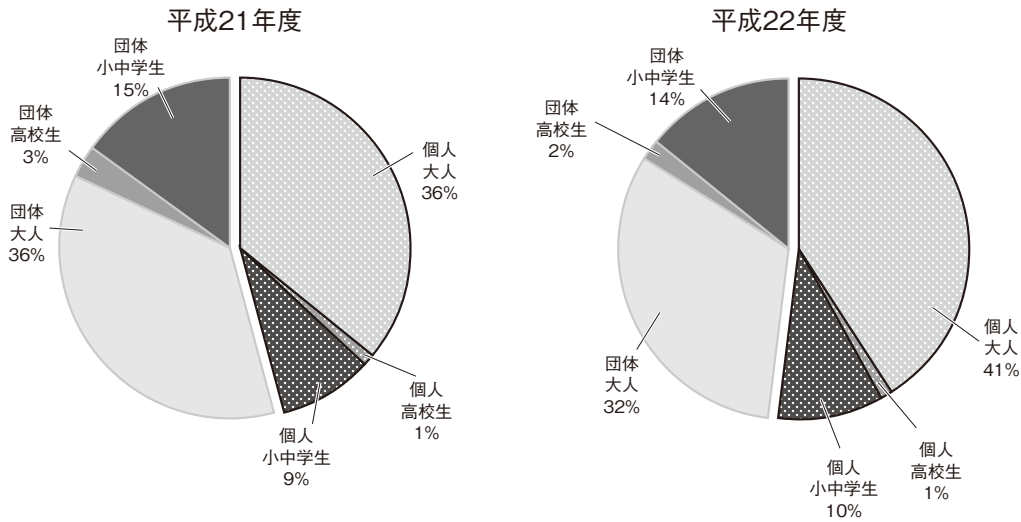
	平成21年度			平成22年度		
	総入館者数	常設展	企画展	総入館者数	常設展	企画展
4月	37,557	7,373	10,260	63,498	13,920	32,404
5月	44,717	13,917	9,902	101,399	25,980	56,817
6月	35,933	10,938	5,523	77,774	18,494	40,578
7月	34,941	10,332	4,216	75,245	13,806	36,302
8月	61,090	15,361	9,869	95,984	18,718	52,394
9月	41,545	14,282	6,312	94,810	21,615	44,677
10月	60,048	20,583	8,379	167,633	34,467	97,852
11月	44,226	15,799	2,844	120,555	26,758	66,298
12月	29,095	7,196	2,604	55,074	9,997	28,379
1月	54,069	8,105	19,929	40,367	5,719	16,937
2月	89,700	16,143	45,478	32,609	8,736	8,122
3月	76,656	15,478	35,615	28,912	7,112	8,690
合計	609,577	155,507	160,931	953,860	205,322	489,450

平成21・22年度
総入館者数



■常設展入館者内訳

		平成21年度	平成22年度
個人	大人	55,786	83,125
	高校生	1,721	1,798
	小中学生	14,357	21,473
団体	大人	55,672	65,153
	高校生	5,170	5,048
	小中学生	22,801	28,725



2 主な来訪者・出来事

2009年

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| 4月7日(火) 清峰高校野球部員来館(選抜高校野球優勝記念) | 10月13日(火) チャールズ・ブルース第12代エルギン伯爵後継者来館 |
| 4月7日(火)～4月30日(木) 選抜高校野球優勝記念写真展 | 10月23日(金) ロナルド・プラステルク オランダ教育文化大臣来館 |
| 7月6日(金) 長崎県博物館協会総会(大村市) | 10月24日(土) 中国福州市・泉州市訪問(文化庁支援事業) |
| 7月20日(月) 壱岐神楽公演 | 12月14日(月) 「徳川家康朱印状」来日記念セレモニー |
| 8月14日(金) 来館数200万人達成 | 12月14日(月) フィリップ・ドゥーヘア 駐日オランダ王国大使来館 |
| 9月2日(水)～9月11日(金) 09長崎ミュージアムメッセ | 12月14日(月)～1月11日(火) オランダ・ゼーランド州刺繍展 |
| 10月1日(木) 石井高ヴァイオリン工房開設 | |
| 10月5日(月) 行啓(皇太子殿下ご来館) | |

2010年

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1月3日(日) 坂本龍馬・岩崎彌太郎像除幕式 | 4月10日(土) 幕末長崎古写真展開幕 龍馬伝館10万人セレモニー |
| 1月9日(土) 長崎奉行所龍馬伝館オープン | 5月21日(金) 龍馬伝館15万人達成 |
| 2月15日(月) プリティッシュ・カウンシル駐日代表 ジェイソン・ジェイムズ氏来館 | 6月1日(火) 在デンマーク特命全権大使近藤誠一氏来館 |
| 2月25日(木) 龍馬伝館5万人達成 | 7月3日(土) 龍馬伝館20万人セレモニー |
| 3月6日(土) 「書で楽しむ龍馬伝」紫舟氏 | 7月20日(火) 中国福州市長来館 |
| 3月13日(土) ルイス・ニシザワ美術館(メキシコ)館長 マルガリータ・ガルシアナ・ルナ氏来館 | 9月19日(土) 龍馬伝館30万人セレモニー |
| 3月17日(木) シーボルト・ハウス(オランダ)ハンス・カイパーズ館長来館 | 10月13日(水) 入場者数300万人達成 |
| 3月19日(金) カナダ国立文明博物館学芸員 アラン・エルダー氏・三木美裕氏来館 | 11月13日(土) 龍馬伝館40万人セレモニー |
| | 11月15日(月) 福建博物院友好館締結に関する協定書調印式 |
| | 11月18日(木) 開館5周年記念レセプション |

2011年

- 1月3日(月) 高木義明文部科学大臣来館

収 支

平成21年度

〈負担金事業〉

項 目	細 目	予算額	実績額	予算差異
収 入 合 計		345,995,000	340,748,444	- 5,246,556
設置者負担金		345,445,000	340,284,094	- 5,160,906
利用者負担金収入		550,000	464,350	- 85,650
支 出 合 計		345,995,000	340,748,444	- 5,246,556
管理運営人件費		118,675,000	117,610,695	- 1,064,305
運営事業費	長崎学生涯学習支援事業	13,697,000	15,691,827	1,994,827
	調査研究事業	14,878,000	15,533,421	655,421
光熱水費		76,053,000	67,017,071	- 9,035,929
維持管理費	施設設備保守点検業務	45,677,000	48,778,937	3,101,937
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	40,882,000	39,918,371	- 963,629
	受付案内業務	33,481,000	33,598,492	117,492
	発券機、車両リース	2,652,000	2,599,630	- 52,370
負担金事業 収支		0	0	0

〈利用料金及びその他自主事業〉

項 目	細 目	予算額	実績額	予算差異
収 入 合 計		170,785,200	246,924,709	76,139,509
観覧料	常設展・企画展収入	87,959,200	100,483,395	12,524,195
	協賛金等収入	20,000,000	21,705,354	1,705,354
その他利用料金	駐車場収入	9,600,000	15,336,853	5,736,853
	施設貸し出し収入	4,600,000	8,117,939	3,517,939
ミュージアムショップ収入		27,929,000	60,469,920	32,540,920
飲食施設収入		20,697,000	23,150,990	2,453,990
収蔵資料データ整理事業		0	4,709,826	4,709,826
龍馬伝館観光・物産コンシェルジュ事業		0	8,577,327	8,577,327
美術館・博物館活動基盤整備支援事業		0	4,373,105	4,373,105
支 出 合 計		170,753,000	223,821,464	53,068,464
展覧会事業費	常設展示事業費	9,709,000	5,253,567	- 4,455,433
	展覧会・企画展事業費	80,830,000	93,790,189	12,960,189
業務経費	博物館「運営協議会」運営費	350,000	125,000	- 225,000
	広報・マーケティング費	13,600,000	9,422,562	- 4,177,438
	駐車場運営費	4,715,000	8,340,869	3,625,869
	その他利用料金事業	14,264,000	19,191,386	4,927,386
ミュージアムショップ収入		27,494,000	48,843,338	21,349,338
飲食施設収入		19,791,000	21,194,295	1,403,295
収蔵資料データ整理事業		0	4,709,826	4,709,826
龍馬伝館観光・物産コンシェルジュ事業		0	8,577,327	8,577,327
美術館・博物館活動基盤整備支援事業		0	4,373,105	4,373,105
利用料金及びその他自主事業 収支		32,200	23,103,245	23,071,045

平成22年度
〈負担金事業〉

項 目	細 目	予算額	実績額	予算差異
収 入 合 計		346,397,000	332,674,691	- 13,722,309
設置者負担金		345,847,000	331,864,541	- 13,982,459
利用者負担金収入		550,000	810,150	260,150
支 出 合 計		346,397,000	332,674,691	- 13,722,309
管理運営人件費		118,010,000	113,114,960	- 4,895,040
運営事業費	長崎学生涯学習支援事業	14,910,000	13,790,306	- 1,119,694
	調査研究事業	14,680,000	14,252,280	- 427,720
光熱水費		76,000,000	70,959,625	- 5,040,375
維持管理費	施設設備保守点検業務	47,365,000	45,022,322	- 2,342,678
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	36,968,000	37,058,350	90,350
	受付案内業務	35,812,000	35,982,313	170,313
	発券機、車両リース	2,652,000	2,494,535	- 157,465
負担金事業 収支		0	0	0

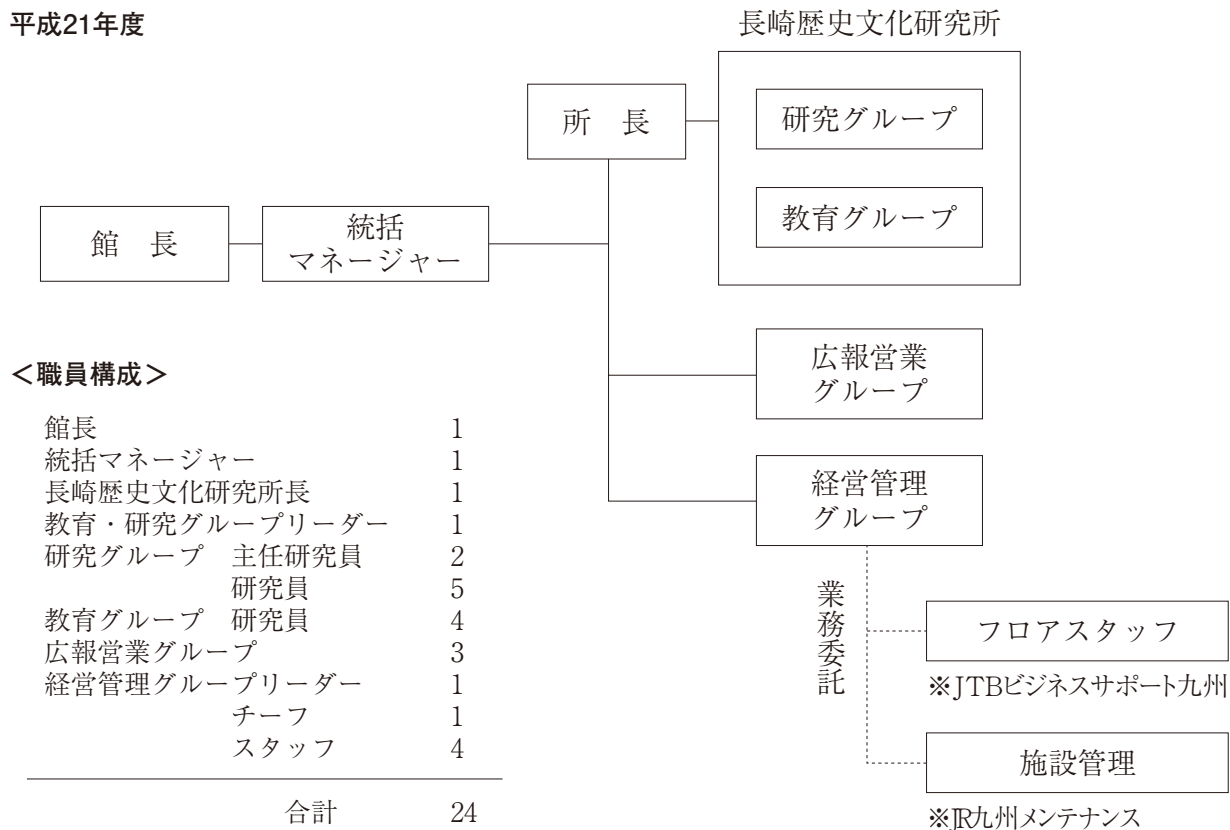
〈利用料金及びその他自主事業〉

項 目	細 目	予算額	実績額	予算差異
収 入 合 計		415,497,000	485,547,853	70,050,853
観覧料	常設展・企画展収入	255,541,000	258,844,200	3,303,200
	協賛金等収入	4,000,000	7,781,634	3,781,634
その他利用料金	駐車場収入	25,650,000	27,054,004	1,404,004
	施設貸し出し収入	2,400,000	5,580,493	3,180,493
ミュージアムショップ収入		51,870,000	126,892,230	75,022,230
飲食施設収入		38,428,000	27,149,449	- 11,278,551
収蔵資料データ整理事業		8,301,000	7,510,652	- 790,348
龍馬伝館観光・物産コンシェルジュ事業		29,307,000	24,735,191	- 4,571,809
支 出 合 計		385,504,000	402,309,234	16,805,234
展覧会事業費	常設展示事業費	10,004,000	3,358,429	- 6,645,571
	展覧会・企画展事業費	200,755,000	197,276,530	- 3,478,470
業務経費	広報・マーケティング費	20,700,000	25,696,045	4,996,045
	駐車場運営費	20,675,000	15,453,540	- 5,221,460
	その他利用料金事業	23,148,000	19,037,701	- 4,110,299
ミュージアムショップ収入		44,339,000	87,969,753	43,630,753
飲食施設収入		28,275,000	21,271,393	- 7,003,607
収蔵資料データ整理事業		8,301,000	7,510,652	- 790,348
龍馬伝館観光・物産コンシェルジュ事業		29,307,000	24,735,191	- 4,571,809
利用料金及びその他自主事業 収支		29,993,000	83,238,619	53,245,619

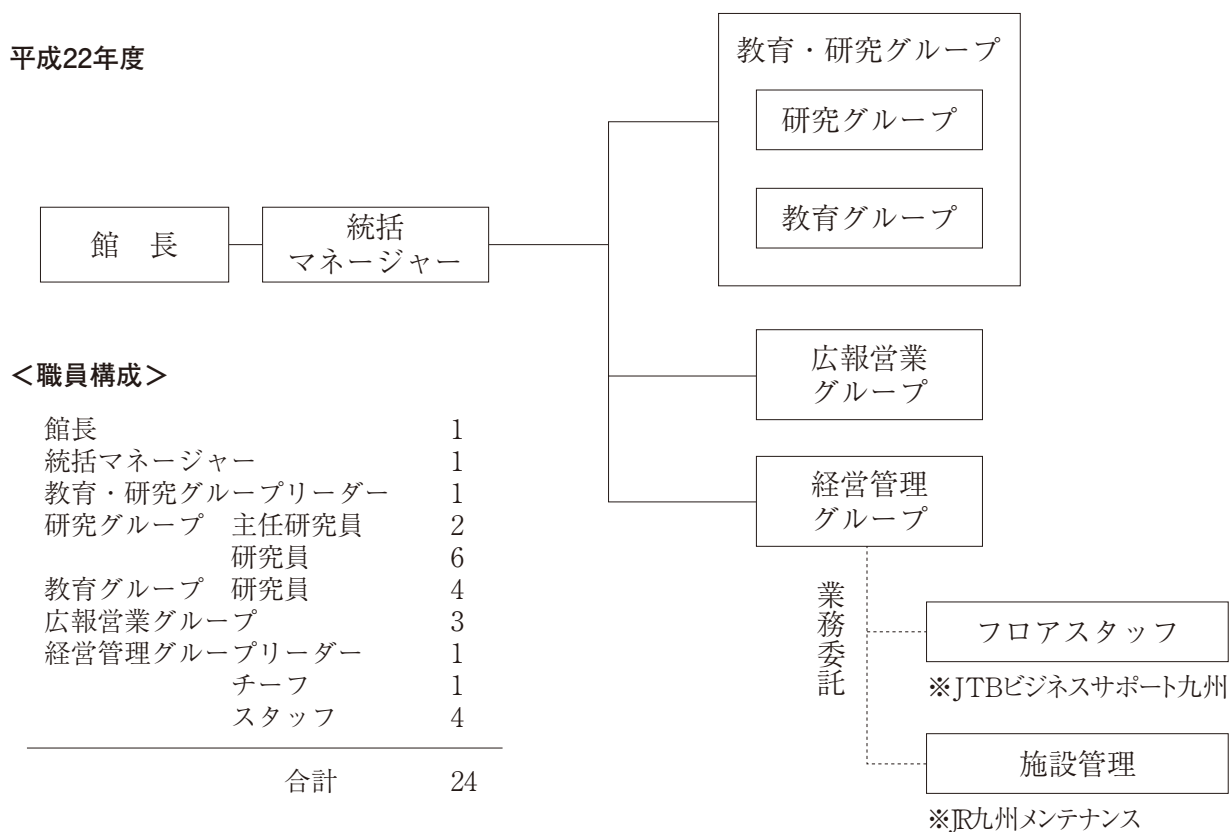
12 組 織

1 職員

平成21年度



平成22年度



平成21年度

名誉館長	市川 森一
館長	大堀 哲
統括マネージャー	野間 誠二
長崎歴史文化研究所長	原田 博二
教育・研究グループリーダー	竹内 有理
研究グループ主任研究員(美術工芸)	越中 勇
研究グループ主任研究員(科学史)	平岡 隆二
研究グループ研究員(日本近世史)	深瀬 公一郎
研究グループ研究員(日本近世史)	岡本 健一郎
研究グループ研究員(日本美術史)	植松 有希
研究グループ研究員(保存修復)	富川 敦子
研究グループ研究員(資料管理)	関 裕典
教育グループ研究員	加藤 謙一
教育グループ研究員	久保 憲司
教育グループ研究員	下田 幹子
教育グループ研究員	一瀬 勇士
広報営業グループリーダー	繁村 敏巳
広報営業グループ	向井 百合子
広報営業グループ	中村 仁美
経営管理グループリーダー	山崎 竜太
経営管理グループチーフ	松尾 純也
経営管理グループ	真崎 俊介
経営管理グループ	有馬 由紀子
経営管理グループ	境 陽子
経営管理グループ	石田 智美

平成22年度

名誉館長	市川 森一
館長	大堀 哲
統括マネージャー	野間 誠二
教育・研究グループリーダー	竹内 有理
研究グループ主任研究員(美術工芸)	越中 勇
研究グループ主任研究員(科学史)	平岡 隆二
研究グループ研究員(日本近世史)	深瀬 公一郎
研究グループ研究員(日本近世史)	岡本 健一郎
研究グループ研究員(日本美術史)	植松 有希
研究グループ研究員(保存修復)	富川 敦子
研究グループ研究員(資料管理)	関 裕典
研究グループ研究員(資料管理)	大野 和則
教育グループ研究員	加藤 謙一
教育グループ研究員	久保 憲司
教育グループ研究員	下田 幹子
教育グループ研究員	一瀬 勇士
広報営業グループリーダー	繁村 敏巳
広報営業グループ	向井 百合子
広報営業グループ	木原 政樹
経営管理グループリーダー	山崎 竜太
経営管理グループチーフ	松尾 純也
経営管理グループ	真崎 俊介
経営管理グループ	有馬 由紀子
経営管理グループ	境 陽子
経営管理グループ	石田 智美

※研究員は長崎歴史文化研究所研究員を兼ねる。

2 ボランティア

■第1期登録

(平成17年度～)

荒濱 茂
有馬 佐恵子
池崎 淑子
池角 久子
池田 正豊
池邊 文子
石神 いつ子
泉田 正和
泉田 昌俊
板山 典子
今道 顕治
岩永 加寿子
岩本 喜子
永川 道明
老松 眞紀子
大川 ゆかり
小国 良子
兼松 博子
桜井 蓉子
上西 秀男
河合 亮輝
川口 真一郎
川浪 英也
空閑 和美
黒川 みゆき
小松 由美
境 民子
佐藤 眞一
三田 久美代
篠原 幹雄
島内 真知子
白地 和幸
末永 榮子
田川 文夫

田中 節子
田中 比月
田中 勝
田中 安次郎
田端 光男
鴫田 暉子
友澤 宏之
中尾 勇次
中嶋 豊
中村 薫
中村 公三郎
中本 良一
西本 浜路
西山 りょう子
浜口 正志
林 美智恵
林田 直子
原 和弘
原口 和代
平川 辰興
福田 早葉子
福田 哲也
松本 淳美
松本 和子
眞野 正行
間瀬 美保
光武 妙子
光富 博
三丸 正紀
宮崎 健
宮下 栄
宮田 修二
山下 將能
湯藤 康子
吉沢 隆平
吉田 勲
吉田 敬三郎

吉野 誠次
吉原 麻由美
渡部 富重

■第2期登録

(平成18年度～)

稲田 香苗
江越 弘人
末永 浩
棚倉 はる子
東海 安興
林田 早弓
日宇 孝良
藤 由美子
松谷 武利
本村 隆重
山下 哲郎

■第3期登録

(平成19年度～)

天野 一朗
石橋 久美子
井手 新吾
稲田 雅厚
岡田 望
岡部 さつき
奥川 義孝
長船 恵美
小畑 俊夫
高 芳
小島 瑞穂
小林 晃
佐藤 喜代子
里村 恵津子
相田 全民

立山 幸見
藤本 篤子
古沢 喜代子
松尾 博之
松尾 正次
溝田 みどり
村田 真弓
八木 久雄
山口 文子
山崎 睦枝
吉田 由香里
若杉 昭子

■第4期登録

(平成20年度～)

麻生 美香
池田 直子
浦川 卓
大神 美智子
金子 祐子
嘉松 かめ代
川口 美智子
河内 恵子
白地 弘奈
武田 成子
武藤 治子
田中 保幸
中川 知昭
中牟田 晶子
馬場 公子
別頭 幸子
松田 米人
宮崎 芳子
山下 富久美

3 アドバイザリー会議

委員

脇田 安大(会長)	ながさき地域政策研究所理事長
堀内 伊吹(副会長)	長崎大学教育学部教授(副学部長)
阿部 成人	長崎新聞社生活文化部長
植木 宏治	NHK長崎放送局放送部長
木田 昌宏	松浦史料博物館館長
黄 禹生	孔子廟・中国歴代博物館館長
小松 雄介	西日本菱重興産株式会社取締役社長
伊達木 百合子	花芸安達流長崎県理事
陳 東華	ホテルJALシティ長崎代表取締役社長
塚田 恵子	NBC長崎放送アナウンス部長
馬場 幸子	長崎県音楽ボランティア協会会長
林 敏幸	会楽園支配人
松尾 法道	興福寺住職
松田 祥吾	株式会社多津屋代表取締役社長
宮坂 正英	長崎純心大学人文学部教授
山口 広助	丸山ぶらぶら散策倶楽部代表

第4回長崎歴史文化博物館運営アドバイザー会議

日時 平成21年11月9日(月) 14:00～16:00

内容

- (1) 事業実施状況報告
- (2) 大河ドラマ館「龍馬伝館」の入館者対策について
- (3) ポスト龍馬伝の博物館事業について
- (4) その他

第5回長崎歴史文化博物館運営アドバイザー会議

日時 平成23年3月9日(水) 14:00～16:00

内容

- (1) 事業実施状況報告
- (2) 平成23年度事業について
- (3) その他

4 友の会

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
個人会員	276人	367人	287人
賛助会員	23団体	25団体	7団体

賛助会員：

(平成21年度)

日本紙工印刷株式会社 崎永海運株式会社 株式会社インテックス ジェイ
 アール九州メンテナンス株式会社 扇精光株式会社 株式会社ライトハンズ
 株式会社JTBビジネスサポート九州 長崎菱興サービス株式会社 進和
 テック株式会社福岡営業所 ラッキー自動車株式会社 小鳩幼稚園 株式会
 社南西電通 有限会社葵巧芸社 岡崎建工株式会社 有限会社藤勝苑 長崎
 空港ビルディング株式会社 三菱電機ビルテクノサービス株式会社長崎支店
 ホテルウイングポート長崎 (株)マルクスインターナショナル うなぎ割烹井
 手 株式会社あうらA. P. L. 山下孝行 九州電力株式会社長崎支店 株
 式会社ケイジェイ企画 長崎外国語大学

(平成22年度)

長崎学国語大学 うなぎ割烹井手 有限会社葵巧芸社 株式会社ひろたか
 山下孝行 長崎空港ビルディング株式会社

<個人会員>

○年会費 5,000円

○有効期間 1年間

○特典

1. 常設展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展等を無料でご観覧いただけます。
3. 「長崎れきぶんNEWS」を年4回お届けいたします。
4. 館内ミュージアムショップで1割引のお買い物ができます。
5. 館内レストランは1割引でご利用いただけます。
6. 音声ガイド(常設展)の利用金額が無料になります。
7. 佐賀宇宙科学館に2割引で入場できます。

<賛助会員>

○年会費 1口 50,000円

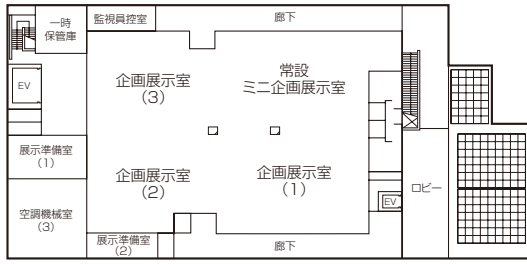
○有効期間 1年間

○特典

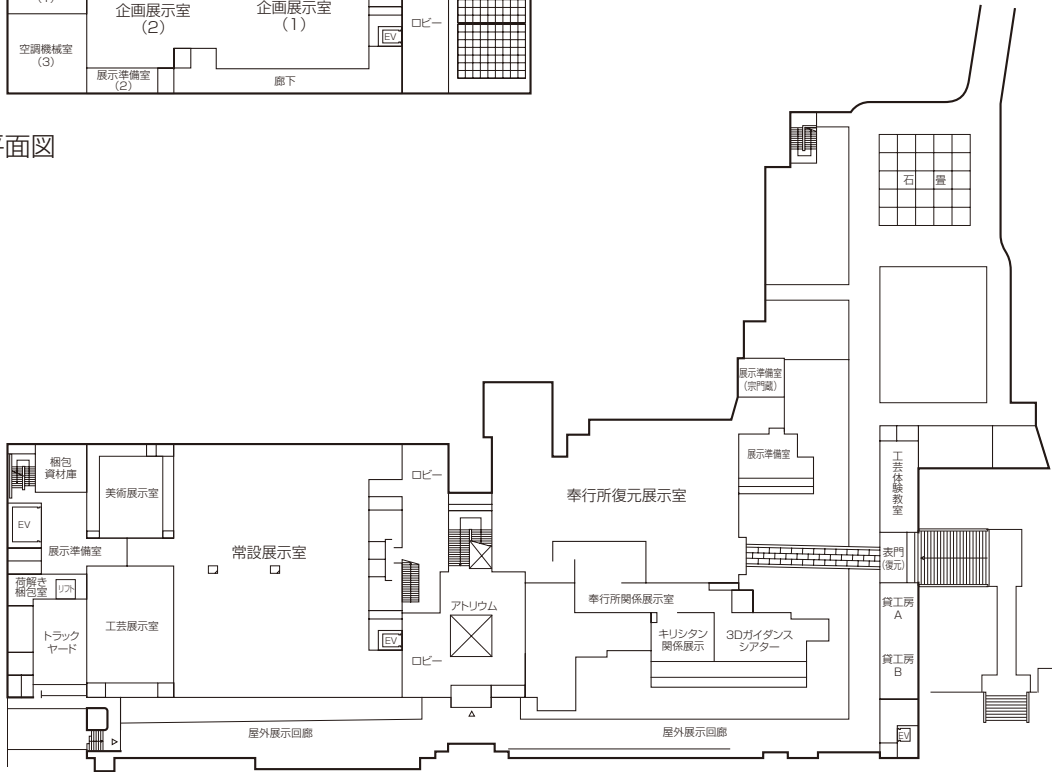
1. 会員証のご提示により同伴1名まで常設展及び当館主催企画展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展チケット、1口50枚をお渡しいたします。常設展チケット、1口30枚をお渡しいたします。
3. 当館主催の企画展の開会式および特別展覧会に1名ご招待いたします。
4. 「長崎れきぶんNEWS」を年4回お届けいたします。
5. 館内ミュージアムショップで1割引のお買い物ができます。
6. 館内レストランは1割引でご利用いただけます。
7. 音声ガイド(常設展)の利用金額が無料になります。
8. 佐賀宇宙科学館に2割引で入場できます。
9. 館内貸室は2割引でご利用できます。
10. 1階エントランスにて賛助会員名を掲示させていただきます。

館名	長崎歴史文化博物館 Nagasaki Museum of History and Culture
設置者	長崎県、長崎市
運営者	指定管理者(株)乃村工藝社
博物館法分類	相当施設
開館年月日	平成17年11月3日
所在地	〒850-0007 長崎県長崎市立山1丁目1-1 Tel 095-818-8366 Fax 095-818-8407
建築構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造、3階建
建築設計	(株)黒川紀章建築都市設計事務所
建築施工	竹中・親和・古賀特定建設工事共同企業体
展示設計施工	(株)乃村工藝社
敷地面積	14,413㎡
建築面積	5,091㎡
延床面積	13,309㎡(駐車場2,581㎡を含む)
建築工事	平成15年7月19日～平成17年8月31日
展示工事	平成15年10月3日～平成17年8月31日
総事業費	約80億円 (長崎県：長崎市 = 2 : 1) 県 53億円 市27億円

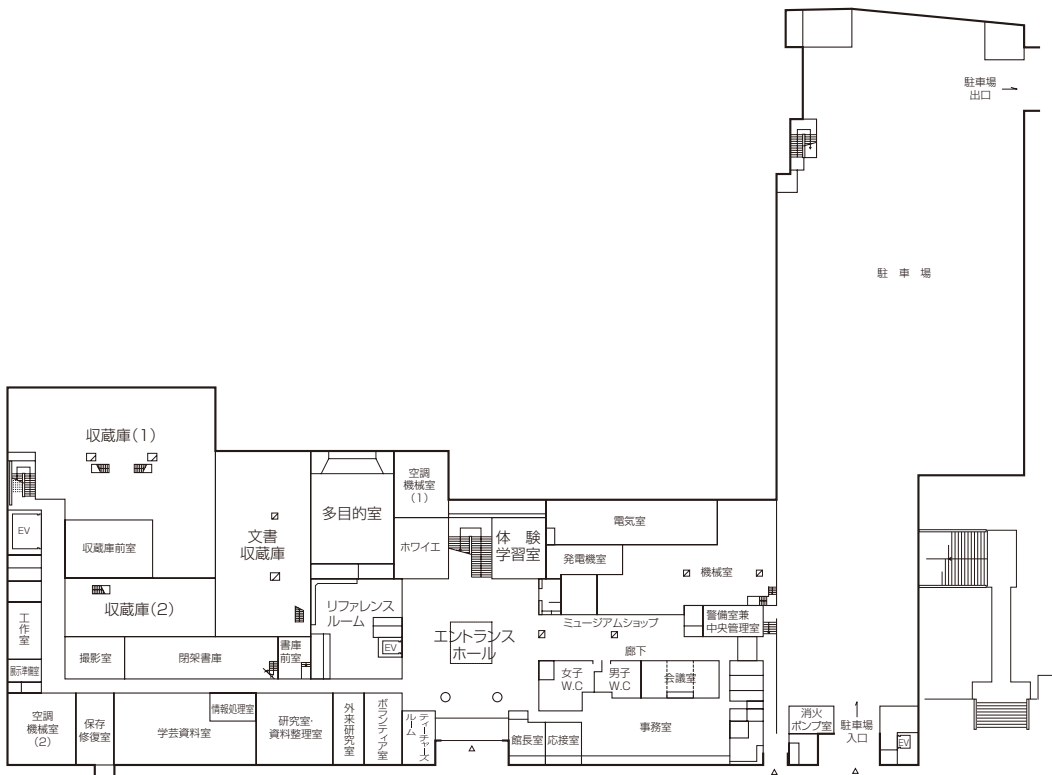
施設面積	
展示関係	常設展示室 1,273.3㎡ 長崎奉行所展示室 380.6㎡ 長崎奉行所立山役所(木造部分) 494.6㎡ 企画展示室 1,030.8㎡
教育普及関係	資料閲覧室／長崎学相談コーナー 140.0㎡ 閉架書庫 114.2㎡ ホール 178.3㎡ 講座室 66.2㎡ ボランティア室 47.1㎡
収蔵関係	収蔵庫1 491.0㎡ 収蔵庫2 158.5㎡ 収蔵庫前室 88.4㎡ 文書収蔵庫 312.9㎡ 文書収蔵庫前室 26.0㎡
調査研究関係	学芸資料室・情報処理室 175.9㎡ 研究室・資料整理室 92.4㎡ 外来研究室 37.9㎡
設備の概要	
電気	高圧受電(6600V)トランスで低圧変換後各EPSに配電
給排水	上水、雨水処理2系統加圧直送給水方式、汚水排水 屋内外合流方式 公共下水道放流
消火	消火器とハロゲン化合物消火設備
空調設備	熱源 ガス炊吸収冷温水発生機
空調方式	エアーハンドリングユニット、定風量単一ダクト方式、中央監視システム



2階平面図



1階平面図



地下1階平面図

14 関連法規

○長崎歴史文化博物館条例

平成16年10月15日
長崎県条例第56号

長崎歴史文化博物館条例をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例

(設置)

第1条 貴重な長崎の歴史及び文化に関する資料(以下「資料」という。)の観覧及び学習の機会を提供することを通じて、情報の交流と文化活動の活性化を図り、もって長崎の学術及び文化の発展並びに地域の振興に寄与するため、長崎県は長崎市と共同して長崎歴史文化博物館(以下「博物館」という。)を長崎市に設置する。

(事業)

第2条 博物館は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 資料の収集、保管、修理、展示及び利用に関する事業
- (2) 資料に係る情報の提供に関する事業
- (3) 資料に係る調査及び研究に関する事業
- (4) 生涯学習に対応した講演会、講座等に関する事業
- (5) 広報、出版等の普及活動に関する事業
- (6) 学校との連携に関する事業
- (7) 他の博物館、美術館等との連携を図る事業
- (8) 前各号に掲げる事業の企画その他この条例の目的を達成するために必要な事業

(博物館の管理)

第3条 博物館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

(指定管理者の業務)

第4条 指定管理者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館の利用の許可に関する業務
- (2) 博物館の利用に係る利用料金に関する業務
- (3) 博物館施設、その附属設備等の維持及び修繕に関する業務
- (4) 第2条各号に掲げる事業に関する業務(同条第1号に掲げる事業にあつては、その決定に係る知事の権限に属するものを除く。)
- (5) 前各号に掲げるもののほか、この条例の目的を達成するために必要な業務

(指定管理者の指定の手続)

第5条 第3条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に次の各号に掲げる書類を添えて、知事に対しその定める時期までに提出しなければならない。

- (1) 博物館の管理運営に関する事業計画書
- (2) 前号に掲げるもののほか、規則で定める書類

(指定管理者の指定の基準)

第6条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号に掲げる基準により指定管理者の候補を選定し、議会の議決を経て指定管理者の指定をするものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、住民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、第4条各号に掲げる業務を行うことにより、博物館の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図ることができるものであること。
- (3) 指定を受けようとするものが有する物的能力及び人的能力が、事業計画書に沿った博物館の管理運営を安

定して行うことができるものであること。

(4) この条例の目的に照らして、長崎県との連携が十分に図られるものであること。

(5) 県内に事務所を有する法人であること。

(開館日)

第7条 博物館は、指定管理者が定める月に1回の施設の保守点検等のための休館日を除き開館するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

(開館時間)

第8条 博物館の開館時間は、規則で定める。

(利用の許可等)

第9条 博物館を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可を受けようとする者の利用が次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用の許可をしてはならない。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 集団的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。

(3) 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるとき。

(4) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理運営上支障があると認められるとき。

3 指定管理者は、第1項の許可に、博物館の管理運営上必要な範囲内で条件を附することができる。

4 第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、その権利を第三者に譲渡し、若しくは担保に供し、又は許可を受けた場所の全部若しくは一部を転貸してはならない。

(利用の許可の取消及び利用の中止)

第10条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

(1) その利用が前条第2項各号のいずれかに該当することが明らかになったとき。

(2) 前条第3項の規定による条件に違反したとき。

(3) 前条第4項の規定に違反したとき。

(4) 虚偽その他不正な行為により前条第1項の許可を受けたとき。

(5) 公益上やむを得ない事由が生じたとき。

(利用許可事項の変更)

第11条 利用者が第9条第1項の規定により許可を受けた事項を変更し、又は利用を中止しようとするときは、指定管理者の承認を受けなければならない。

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る利用料金を納めなければならない。

2 指定管理者は、この条例の定めるところにより、利用料金を定めるものとする。

3 指定管理者は、利用料金を定める場合は、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。これを変更しようとする場合も、同様とする。

4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が博物館と規模、形態等において類似の博物館の同種料金と比較して、均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。

5 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用料金の減免)

第13条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の還付)

第14条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 第10条第5号の規定に該当することを理由として、同条の規定により利用の許可を取り消され、又はその利用を中止されたとき。
- (2) 利用者の責めに帰することができない理由により、第11条の規定による利用の許可の変更又はその利用の中止に係る承認を受けたとき。

(原状回復)

第15条 利用者は、博物館の利用を終了したとき又は第10条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消され、若しくは利用を中止させられたときは、速やかに原状に回復しなければならない。

(損害賠償等)

第16条 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第17条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して1年2月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第2条から第6条までの規定及び第17条の規定は公布の日から、第9条から第14条までの規定は公布の日から起算して1年を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成17年規則第69号で附則本文に規定する規則は平成17年11月3日から施行)

(平成17年規則第69号でただし書に規定する規則は平成17年8月5日から施行)

○長崎歴史文化博物館条例施行規則

平成17年8月5日
長崎県規則第68号

長崎歴史博物館条例施行規則をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、長崎歴史文化博物館条例（平成16年長崎県条例第56号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定申請)

第2条 条例第5条に規定する申請書は、長崎歴史文化博物館指定管理者指定申請書(別紙様式第1号)によるものとする。

2 条例第5条第1号に規定する事業計画書は、長崎歴史文化博物館に係る次に掲げる事項を記載するものとする。

- (1) 長崎歴史文化博物館の管理運営方針に関する事項
- (2) 中期計画に関する事項
- (3) 事業項目及びその内容に関する事項
- (4) 収支計画に関する事項
- (5) 組織及び人員に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

3 条例第5条第2号に規定する規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 役員の名簿及び履歴書
- (3) 団体の概要に関する書類
- (4) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

(開館時間)

第3条 条例第8条に規定する博物館の開館時間は、午前8時30分から午後9時までとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、これを変更することができる。

(その他)

第4条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第3条の規定は平成17年11月3日から施行する。

別紙様式第1号

長崎歴史文化博物館の管理運営に関する基本協定書

長崎県（以下「甲」という。）と長崎歴史文化博物館条例（平成16年10月15日付長崎県条例第56号、以下「条例」という。）第3条の規定に基づき指定管理者として指定する株式会社乃村工藝社（以下「乙」という。）とは、長崎歴史文化博物館の管理にあたり、次のとおり基本協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、長崎歴史文化博物館において乙が行う指定管理者の業務（以下「指定管理業務」という。）の遂行にあたり、必要な基本的事項を定めることを目的とする。

（管理運営を行う施設等）

第2条 甲は乙に次の施設等（以下「施設等」という。）の管理運営業務を委任する。

- （1）名 称 長崎歴史文化博物館
- （2）所在地 長崎市立山1丁目1番1号
- （3）施設等 別添図面の範囲の土地（植栽を含む）、建物、付帯設備及び別に甲が提示する物品台帳登載の物品

（指定期間）

第3条 長崎歴史文化博物館の指定管理期間は、平成22年4月1日から平成28年3月31日までとする。

（事業年度）

第4条 指定管理期間は、各年4月1日から翌年3月31日までを一事業年度として区分する。

（使命）

第5条 長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、別紙1「長崎歴史文化博物館の使命」のとおりであり、指定管理者はこの使命の達成に努めなければならない。

（指定管理者の業務範囲）

第6条 条例第4条に基づく、長崎歴史文化博物館にかかる乙の指定管理業務の範囲は、別紙2「指定管理業務の範囲」のとおりとする。

（施設等の利用）

第7条 甲は、指定管理業務を遂行するために必要な施設等を、無償で乙に利用させるものとする。

（法令等の遵守）

第8条 乙は、指定管理業務の遂行にあたっては、次に掲げる法令等を遵守しなければならない。

- （1）地方自治法
- （2）長崎歴史文化博物館条例
- （3）長崎歴史文化博物館条例施行規則
- （4）労働基準法
- （5）その他、当該指定管理業務の遂行に関連する法令等及び長崎歴史文化博物館に関し議会の議決した事項

（基本的遵守事項）

第9条 乙は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- （1）指定管理業務の遂行にあたっては、善良なる管理者の注意義務をもってあたらなくてはならない。
- （2）公の施設として、住民の公平かつ平等な利用を確保しなければならない。

（事業計画）

第10条 乙は、甲との協議に基づき、事業年度ごとに事業計画を策定する。

2 事業計画の内容については、事業年度ごとに細目協定として締結するものとする。

- 3 乙は事業計画に沿って、指定管理業務を実施するものとする。
- 4 乙が事業計画を変更しようとするときは、事前に甲と協議するものとする。

(利用の許可に関する事項)

第11条 乙は、条例第9条及び第10条並びに第11条の規定に基づき、利用許可事務を行うものとする。

(開館日)

第12条 乙は、条例第7条第2項の規定に基づき、月に1回の施設の保守点検等のための休館日以外の日には休館する場合、又は臨時に休館日に開館する場合は知事への承認申請を行わなければならない。

(利用料金・利用料金の減免)

第13条 利用料金とは施設等の観覧料金及び使用料金を指し、乙が収受する。

- 2 乙は、条例第12条第3項の規定に基づき、利用料金について知事への承認申請を行わなければならない。
- 3 乙は、条例第13条の規定に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(その他事業)

第14条 乙は条例第2条第8項の規定に基づき、ミュージアムショップや飲食施設をはじめとした条例の目的を達成するために必要なその他の事業（以下「その他自主事業」という。）を行うことができる。

- 2 前項の収入については乙が収受する。

(管理に要する経費の負担)

第15条 甲は、乙に対し、乙が行う指定管理業務の遂行に要する事業経費のうち、利用料金及びその他自主事業収入を適用しない経費（以下「負担金」という。）を負担する。

- 2 利用料金及びその他自主事業収入を適用する経費ならびに、負担金の内容区分については、別紙3「事業経費区分表」のとおりとする。

(負担金の支弁方法等)

第16条 負担金は、事業年度ごとに支弁するものとし、その額及び支弁方法については、毎事業年度前に、事業計画の内容等を考慮し、甲乙協議のうえ、事業年度ごとに締結する細目協定により定める。

(リスク分担)

第17条 指定管理業務に関する甲と乙のリスク分担については、別紙4「リスク分担表」のとおりとする。

- 2 前項に定める事項以外の不測のリスクが生じた場合は、甲乙協議のうえでリスク分担を決定する。

(個人情報の保護)

第18条 乙は、長崎県個人情報保護条例（平成16年3月23日付長崎県条例第3号）第11条第4項の規定に基づき、指定管理業務を行うため個人情報を取り扱う場合は、別紙5「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

- 2 乙が、指定管理者業務の遂行にあたり、その一部を業務委託する場合においては、個人情報取扱特記事項第7の規定に基づき、予め甲の承認を得ること。

(業務報告)

第19条 乙は、毎日閉館後に次に掲げる事項を甲に報告するものとする。

- (1) 入館者数、前日の売上
- (2) 実施した事業の内容及び実績

- 2 前項のほか、主要な事業の実績について必要な都度、乙は甲に報告するものとする。

(事業報告)

第20条 乙は、毎事業年度終了後、指定期日までに管理業務に係る事業報告書を甲に提出し、その承認を得なければ

ばならない。

2 前項の事業報告に記載する事項及び提出指定期日は、次のとおりとする。

- (1) 指定管理業務の実施状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (2) 施設の利用状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (3) 利用料金及びその他自主事業の収入見込、支出の実績見込：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (4) 負担金の実績：毎事業年度終了後7日以内

(事業評価)

第21条 乙は、毎事業年度、事業分野の各項目毎に目標値を設定し、実績等をもとに自己評価を行い、毎事業年度終了後、2ヶ月以内に事業評価報告書を甲に提出しなければならない。

(事故の報告)

第22条 乙は、指定管理業務の遂行等において、事故が発生したときは、これを甲に速やかに報告しなければならない。

(損害賠償)

第23条 乙は、指定管理業務の遂行にあたり、乙の責めに帰すべき事由により、甲又は第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。

(権利の譲渡の禁止)

第24条 乙は、この協定により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは継承させ、又は権利を担保に供することはできない。

2 乙は、その業務の全てを再委託することはできない。ただし、その業務の一部について、甲の承諾を得たうえで、業務委託を行うことができる。

(指定管理者への指示)

第25条 甲は、長崎歴史文化博物館の管理の適正を期するため、乙に対して指定管理業務及び経理の状況に関し報告を求め、実地について調査及び評価を行い、又は必要な指示をすることができる。

(指定管理者の指定の取消し)

第26条 地方自治法第244条の2第11項の規定に基づき、乙が、前条の指示に従わないとき、その他乙による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて指定管理業務の全部又は一部の停止を命ずることができる。

2 乙は、前項の規定により、指定を取り消された場合には、第15条に定める指定管理者負担金を返還しなければならない。また、前項の規定により、期間を定めて管理業務の全部又は一部の停止を命じられた場合は、当該停止期間中の経費相当分について、これを甲へ返還しなければならない。

(指定期間終了に伴う原状回復)

第27条 乙は、指定期間の満了又は指定の取消しにより長崎歴史文化博物館の指定管理業務が終了したときは、速やかに原状に回復のうえ、甲に返還するものとする。

(情報公開について)

第28条 乙は、指定管理業務の遂行にあたって、作成し、又は取得した文書、図面及び電磁的記録（電子的方式）、磁気的方式その他の知覚によって認識することができない方式で作られた記録をいう。）であって、乙の役職員が組織的に用いるものとして、乙が保有しているものについて、乙が別に定める情報開示基準により、開示するものとする。

2 乙は、前項の情報開示基準を定めるにあたっては、甲と協議して定めるものとする。

(疑義の決定)

第29条 この協定に関して、疑義が生じたときは、甲乙協議して定めるものとする。

この協定の成立を証明するため、本書2通を作成し、甲乙が記名押印のうえ、各自1通を保有するものとする。

平成22年3月25日

甲 長崎市江戸町2番13号
長崎県
長崎県知事 中村 法道

乙 東京都港区台場2丁目3番4号
株式会社 乃村工藝社
代表取締役社長 渡辺 勝

(別紙1)

長崎歴史文化博物館の使命

長崎歴史文化博物館は、長崎県長期総合計画・後期5カ年計画において「交流を拓げる魅力的なまちづくり」という重点目標を推進する拠点施設として位置づけられるとともに、長崎市第三次総合計画においては「人間性を育む個性豊かな国際平和文化都市」実現のための重要な施策として位置づけられている。この目標・施策を実現するために長崎歴史文化博物館は、歴史資料の保存・研究・展示という基本的な使命の遂行に加え、従来型の博物館像にとらわれず、地域に求められている重要な機能のひとつであるという認識のもと、中長期的なビジョンに沿って、長崎独自の歴史や文化を整理・編集し、地域の魅力として発信し、現在及び未来に生きる県民・市民ひとりひとりの豊かな暮らしの実現と地域の活性化に努めなければならない。

長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、下記1～10のとおりである。

使命1. 多くの人に鑑賞・学習・体験の機会を提供する

海外交流史を中心とする常設展示室においては、館が所蔵するコレクションや他館等から借用している資料を活用し、初めての来館者からヘビーユーザーまで、誰がいつ来ても本県独自の歴史・文化に親しみ楽しく学べるよう充実した展示を行う。企画展示室においては、県民ニーズに沿った展覧会と、専門的かつ質の高い展覧会をバランスよく開催すること。レファレンスサービスにおいても、館の資料や情報等の的確かつ円滑な提供に努めること。また、展示室以外の施設やスペースにおいても、長崎の歴史・文化の魅力に触れることのできる活用策を積極的に講じる。

さらに来館がかなわない県民・市民のために、遠隔授業や移動博物館など様々な手法を講じ、一人でも多くの方に長崎の歴史・文化の魅力を再認識する機会を提供する。

使命2. 所蔵資料の保存・管理を適切に行う

県民・市民の財産である貴重な歴史資料を適切に保管、管理、修復するとともに、長崎の歴史のデータバンクとして、それらの情報を必要としている利用者の要望に対して十分にかつ円滑に対応できる体制を整え、資料の価値を最大限に発揮させる。

使命3. 長崎学の研究を推進し、その成果を具体的に地域に還元する

長崎歴史文化博物館と県、市が連携を図り、さらに館外の研究者との相互協力関係のもと充実した研究体制を構築し、長崎に関する歴史・文化の調査、研究を多角的に行う。さらに、その研究成果を様々な形で県民・市民、地域に還元するとともに、地域活性化の様々な取り組みの素材として各方面の活用に応ずる。特に、県内各地の歴史・文化を紹介する地域展の開催を通じて、地域間交流による活性化を積極的に促進する。

長崎歴史文化博物館の施設、環境を最大限に活用し、歴史・文化の研究、体験等を通じて県民ひとりひとりが自己実現を図り、豊かな人生を築くための生涯学習の場を提供する。

使命4. 博物館に親しみ、ふるさとに誇りを持つ子どもたちを育てる

長崎歴史文化博物館の施設の活用や貴重な歴史資料の様々な展示により、長崎の歴史の重要さや魅力子ども達に理解してもらい、長崎に生まれたこと、暮らすことを誇りに思い、長崎への愛着を醸成する取り組みを進める。

長崎歴史文化博物館ならではの楽しいユニークな体験を提供する。特に、子どもたちには博物館に行くという習慣を身につけてもらい、成長し大人になったら子どもを連れて博物館に足繁く通う、という好循環を創り出す。

また、長崎に暮らす人々にとって、ふるさとを訪れた大切なお客様を招待し長崎の歴史を紹介する場所として愛される施設となるよう努める。

使命5. 交流人口の拡大に寄与する

県、市の活性化の重要なキーワードのひとつに「交流人口の拡大」がある。

長崎独自の歴史の魅力を活かして広く情報発信を行い、長崎を訪れる人々を増やし、長崎の新しい観光地として地域の活性化に寄与する。

使命6. 地域活性化、まちづくりの拠点として活動する

長崎の歴史が持つ魅力を最大限に活用し、さまざまな知識・情報・資料を集積し、創造性を発揮して編集し長崎発の新しい文化を創りだす。このような博物館活動を通じて、コミュニティの維持・再構築を図るとともに、産業化、商品化を視野に入れた歴史・文化のコンテンツ化に積極的に取り組む。

また、長崎の様々な祭りやイベントと連携し、長崎歴史文化博物館はじめ他の文化・観光施設との相乗効果を生み出しながら地域の活性化の拠点として積極的に活動する。

さらに、大学や企業、民間団体と連携し、歴史・文化を活用した地域の活性化や様々な課題への対応ができる体制整備と人材育成に取り組む。

使命7. 県の中核的博物館として県内の博物館や地域の指導・育成に努める

長崎県美術館と連携し、県内の博物館、美術館、資料館、さらに市町など、地域の歴史を活かした活性化に取り組む様々な組織体に対し、中核博物館として協力、指導を行い、県全体及び各地域の歴史による魅力づくり、情報発信などを通じた地域ブランドの向上を図る。

そのために

使命8. 新しい運営方針を示し、ビジネスモデルを構築する

緻密なマーケティングと総合的なマネジメントによる博物館運営を行い、効率的な経営と質の高い博物館活動という相反しがちな両面について、高い次元で両立させる。

マネジメントをも熟知した学芸・研究部門と、歴史・文化をも理解している管理部門の両者が、密接な連携を図り、高い相乗効果を発揮することが求められ、そのためには職員の育成も不可欠である。

また、館単独での収支バランスを適正に保つことはもとより、来館者による経済効果、商品開発、本県の地場産地との連携による産業振興など、歴史・文化を切り口とした経済・産業振興上の役割も求められている。

使命9. 建築理念を管理運営に活かす

由緒ある諏訪の森地区に復元された長崎奉行所立山役所の重厚で落ち着いたたたずまいなど、立地条件、設計・デザインの優位性を最大限に活かしたイベントや仕掛けを工夫し、長崎歴史文化博物館そのものを愛するファンを生み出す。

さらにその中から一部の人々にはボランティア活動を通して一人ひとりの生き甲斐を長崎歴史文化博物館に見いだして頂くなど、運営面においても開かれた博物館を具現化する。

使命10. 周辺と一体となった運営を行う

県民・市民の憩いの場である諏訪の森地区など周辺の歴史的地区、さらに近隣の企業・ホテル、地元商店街・自治会、各種団体、大学・学校などと連携し、人が行き交い、楽しさに満ち溢れたまちのにぎわいを創り出す。

(別紙2)

指定管理業務の範囲

長崎歴史文化博物館にかかる指定管理業務の範囲は下記(1)~(13)のとおりとする。

記

(1)管理運営業務基準への対応

①開館日

開館日は、長崎歴史文化博物館条例第7条の規定に基づき、原則として次に掲げる日を除き、開館するものである。

・指定管理者が定める月1回の施設保守点検等のための休館日

②開館時間

午前8時30分から午後7時までの10時間30分

(レストラン銀嶺は午前10時30分から午後9時まで)

③公平性の確保

長崎歴史文化博物館の管理運営にあたっては、住民の公平な利用について確保する。

④禁止行為

公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるもの。

集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるもの。

収蔵資料、歴文博施設及びその附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるもの。

⑤人権への配慮

展示や教育普及事業、情報発信、その他全ての博物館活動において、人権の保護に最大限の配慮を行うこと。

⑥管理運営を通じて取得した個人に関する情報の取扱い

指定管理者は、長崎県個人情報保護条例第11条の規定に基づき、別途締結する協定書において、「受託者が講ずべき安全確保の措置」として県が明示した措置を実施するものである。また、個人情報取扱事務に従事している者又は従事していた者は、当該事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない(退職後もその対象となるものである)。違反した場合は、同条例の罰則規定の適用がある。

⑦情報公開

長崎県情報公開条例第31条の2の規定に基づき、指定管理者が保有する情報のうち、長崎歴史文化博物館の管理に係るものの公開に積極的に努める必要がある。

⑧環境マネジメントシステムへの取組

管理運営にあたっては、県が推進している環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた環境保全の活動に積極的に取り組む必要がある。

⑨危機管理体制の構築

不特定多数の人が集まる公の施設として、災害、有事、伝染病等の緊急時には県、市、警察、消防など関係者との協議のうえ、適切な対応をとらなければならない。そのためには事前に県と協議し、危機管理体制の整備、職員への講習等を行うものとする。

⑩県及び市との緊密な連携

管理運営にあたって県及び市との緊密な連携のため、以下の業務を行う必要がある。

- ・日報による入館者数及び売上報告
- ・定例会(業務進捗報告、施設管理報告等)
- ・緊急時、非常時の対応マニュアル作成及び連絡体制の確立
- ・事業報告(年度末、約半年毎、重要事項については随時)

(2)収蔵資料の収集・保管・修復・利用及び展示に関する業務

①収蔵資料の収集に関する調査

収蔵資料を基に、より特色のある質の高いコレクションの形成を行うため、以下の収集方針に基づき、収集のための調査及び県への支援を行う。資料1-1「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に

関する要綱」、資料1-2「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」を参照すること。なお、長崎歴史文化博物館として収集した資料の所有権は県又は長崎市に帰属する。

- ・海外交流史に関する資料
- ・近世長崎の美術資料、工芸資料
- ・長崎奉行所に関する資料
- ・長崎文化に関する資料

② 収蔵資料の保管業務と修復業務

ア) 管理状況の確認

資料の材質や性質に適した保存環境を維持するため、収蔵庫や展示室等の日常的な空調管理及び湿度管理を実施するとともに、損傷、カビや害虫など危険因子に対する適切な処置を行う。

イ) 修復

収蔵資料の安全な保存・展示のために、計画的に、修復・汚損除去・保護用ガラス装着等の適切な処置を行う。

ウ) 収蔵品及びデータベースの管理・更新

収蔵資料の情報を適正に管理、更新するとともに、収蔵資料については、年間1,000点以上の点検を行う。うち、重要物品である収蔵資料については毎年全数点検を行う。

③ 収蔵資料の利用(貸出)等

他館等への収蔵資料の貸出について、資料2「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準」に基づき貸出しを行う。また、収蔵資料の撮影、画像の使用等についても同様の業務を行う。

なお、資料の貸出しにあたっては、原則として、所有者である県及び市との協議を行う。

④ 歴史・美術資料の展覧会業務

展覧会を行う際の主な業務内容

- ア) 展覧会の企画及び当該企画を実現するための調査業務
- イ) 展覧会の企画を実現するための他館の歴史・美術資料等の貸借に係る交渉業務
- ウ) 展覧会に係る歴史・美術資料運搬(立会、付添い)等の業務
- エ) 展覧会に係る広報等の集客業務
- オ) 展覧会に係る図録、報告書等の作成業務
- カ) 展覧会の歴史・美術資料監視・点検業務
- キ) 展覧会の歴史・美術資料説明業務

〈1〉常設展示

- 1) 館の特色や姿勢を表す博物館活動の柱と位置づけ、県民・市民の長崎の歴史と文化に対する関心を高め、観光客に対しても長崎の歴史と文化をアピールする。
 - ・通史展示(古代から現代までの長崎の歴史を一覧できる)
 - ・近世長崎の海外交流史を主題とした歴史文化展示
 - ・美術、工芸展示
 - ・長崎奉行所関連・情景展示
 - ・常設ミニ企画展(常設展を補完する地域展やテーマ展示など)
- 2) オランダのライデン国立民族学博物館から、毎年資料を借用し、常設展示室のライデンコーナーで展示する。
- 3) 東京国立博物館から、重要文化財「長崎ゆかりのキリシタン資料」を2年毎に借用し、奉行所展示室で展示する。

〈2〉企画展示

常設展示だけでは十分に紹介できない長崎の多彩な歴史・文化等について、様々な視点で企画する展覧会を開催する。

また、長崎学の研究拠点を目指す立場から、展覧会の開催を通して長崎学に関する情報を世界に発信し、集客範囲を国内のみならず、アジアはじめとする海外までを対象にした活動を行う

- ・独自の調査研究に基づく自主企画展
- ・県内の地域の歴史や文化を取り上げる展覧会
- ・他館や新聞社・放送局等との共同企画による展覧会

・国内外の博物館と連携して所蔵資料を相互利用し企画・巡回する展覧会等

(3)長崎の歴史・文化に関する調査及び研究に関する業務

- ①歴文博の収蔵資料に関する調査研究
- ②資料の保存修復に関する調査研究
- ③展覧会企画に関する調査研究
- ④生涯学習支援に関する調査研究
- ⑤長崎の歴史・文化に関する調査研究

(4)教育普及・生涯学習支援に関する業務

- ①様々な世代や幅広い層のニーズに対応した、近世長崎の歴史文化や美術に関する研究の成果等に関する講演会や講座、各種イベント等を行い、施設を有効活用した生涯学習活動に取り組む。なお、参加者から受講料として、一部利用者負担を求めることができる。
- ②修学旅行生、観光客等の来館者に対する体験学習、資料の解説等を行う。
- ③伝統工芸体験工房で、長崎の伝統工芸を伝え、来館者が体験できる工房を設置運営する。
- ④県民、市民の博物館参加を推進し、ボランティア制度の充実を図る。
- ⑤学校教育の一環として館を利用してもらうなど、学校との連携を積極的に行い、子供たちの利用促進を図る。
- ⑥離島等の遠隔地や様々な理由で文化的資産にふれる機会が少ない人々を対象として、遠隔授業や移動博物館を実施する。

(5)長崎の歴史・文化情報の提供に関する業務

レファレンスルームやミュージアムネットワークシステムの適切な管理運営を図るとともに、情報提供サービスとして資料等に関する情報、収蔵図書に関する情報、県内の史跡等の情報、全国の博物館情報等の提供を行う。なお、「ながさきミュージアムネットワークシステム」のデータ更新や管理運営作業、収蔵資料のデジタルデータ化作業を適宜行う。

(6)広報・マーケティング業務

年間総入館者数42万人以上を達成するため、効率的で効果的な広報・マーケティング業務を行う。

- ①積極的にマーケティング活動を行う。
- ②展覧会ごとに戦略的な広報活動及び集客活動を行う。
- ③会員事業を実施する。
- ④定期的なアンケートの実施及び県への報告を行う。
- ⑤館の利用促進を図るためのイベント等を開催する。

(7)他の博物館・美術館、学校等との連携、支援に関する業務

- ①県内の中核博物館としての取組(各種技術指導を含む)
- ②県及び市の政策に基づく国内外の博物館等と多角的な連携による事業を推進
- ③オランダのライデン国立民族学博物館等との交流・連携

(8)博物館の利用許可及び利用料金に関する業務

- ①利用料金の設定、変更に関する業務
利用料金の設定及び変更にあたっては、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。
- ②利用許可申請の受付、利用許可証の交付及び利用料金の徴収業務
ホール、講座室、イベントの間、会議室、イベント広場等の施設貸出について利用促進を図るとともに、住民の公平な利用を確保すること。
- ③観覧券の発券及び観覧料金の徴収業務

(9)ミュージアムショップ・レストランの運営に関する業務

- ①ミュージアムショップの管理運営

収蔵資料及び展覧会に関連した商品や長崎の歴史や文化にちなんだ商品の開発及び販売を行う。

②レストランの管理運営

来館者の休憩・飲食・会食の場として、料理や飲料等を提供するレストランを運営する。

(10)博物館施設及び附属設備等の維持管理及び修繕に関する業務

- ①指定管理者は、県との緊密な連携の下、善良な管理者の注意義務をもって施設及び附属設備等を適正に維持管理する。収蔵品を除く物品については、年1回全数点検を行う。なお、物品のうち収蔵品については、(2)②ウ)による。
- ②施設及び附属設備等の維持管理にあたっては、各種マニュアルに従って行う。
- ③施設及び附属設備等(物品を含む)の構造・造作を改変することはできないものである。ただし、あらかじめ県の承認を得た場合はこの限りではない。
- ④原則として、1件あたり20万円以下の少額修繕については、指定管理者の責任において行うものである。1件あたり20万円以上の修繕については、県と指定管理者が協議のうえ、責任分担を決定する。
- ⑤県及び市が館の管理運営に必要と認めた備品については、県及び市が整備するので、原則として設置者負担金での備品購入は認めない。
- ⑥長崎歴史文化博物館の災害保険契約については、県が(財)都道府県会館建物共済事業(地方自治法第263条の2の規定による都道府県有財産の損害に対する相互共済事業保険契約)に基づき措置する。施設賠償責任及び来館者傷害保険については、指定管理者が負担金事業として措置する。収蔵資料についての保険について県は措置しない。
- ⑦施設及び附属設備等に係る維持管理業務の詳細については、資料3の「博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様」のとおりである。

(11)地域づくりと観光振興に資する業務

長崎歴史文化博物館は県内の博物館等の中核施設として、また、長崎市内を中心に長崎県内の歴史文化資源を紹介する中核施設として、長崎県内の様々な歴史文化施設、史跡、観光施設、祭り・イベント、自治会・団体等と連携しながら、新しい視点で地域の活性化に貢献することを目指した事業展開を推進し、交流人口の拡大による本県の活性化に寄与する。

さらに、大学や民間団体等と連携して、歴史・文化を活用した活性化や地域が抱える様々な課題に対する施策の推進と人材育成に取り組む。

(12)評価システム・モニタリングシステムの構築、運用

県との協定に基づく博物館活動について、中期的視点から適正に評価し、さらなる県民サービスの向上、博物館活動の充実につなげるため、県と協議のうえ評価システムを構築、運用する。また、年間の業務の進捗管理と業務改善を行うため、業務のモニタリングシステムの構築と実効性のある運用を行う。

(13)その他設置目的や長崎歴史文化博物館の使命を達成するために必要となる業務

県及び市の文化振興及び地域振興に資する業務に取り組む。

以上

〈資料1-1〉

長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱(県資料分)

(目的)

第1条 この要綱は、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館（以下「美術館・博物館」という。）に収蔵し、展示するために収集する資料(以下「資料」という。)について、必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この要綱において、収集とは県が資料を購入、寄贈、又は寄託を受けることをいう。

(収集の基本方針)

第3条 資料の収集は、次の基本方針に基づいて行うものとする。

(1)長崎県美術館の基本方針

- 一 長崎ゆかりの美術や郷土作家の作品
- 二 須磨コレクションを起点とするスペイン美術
- 三 美術館にふさわしい優れた美術作品

(2)長崎歴史文化博物館の基本方針

- 一 海外交流史に関する資料
- 二 近世長崎の美術資料、工芸資料
- 三 長崎奉行所に関する資料
- 四 長崎文化に関する資料

(寄贈)

第4条 県へ資料を寄贈しようとする者は、寄贈申込書(様式第1号)を提出するものとする。

2 県は、寄贈の受納が決定したときは、申込者に対し、寄贈受領書(様式第2号)を通知するとともに、寄贈品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。

(寄託)

第5条 県へ資料を寄託しようとする者は、寄託申込書(様式第3号)又は寄託承諾書(様式第4号)を提出するものとする。

2 県は、前項の規定による寄託を受けたときは、申込者に対し、寄託証書(様式第5号)を交付するとともに、寄託品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。

(資料調査)

第6条 収集にあたっては、あらかじめ県及び美術館・博物館の学芸員等が資料調査を行い、県に調査報告を行うものとする。

(預かり)

第7条 前条による調査資料は、所有者の了解を得て、美術館・博物館において必要な期間、次の条件を付して預かることができる。

- 一 預かった資料は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館収蔵資料管理基準により、一時保管庫に保管する。
- 二 美術館・博物館が預かり資料の模写、模造、撮影若しくは図書等に掲載する必要が生じたとき、又は美術館・博物館外に持ち出す必要が生じた場合は、事前に所有者の承諾を受けること。
- 三 資料を預かるにあたっては、預かる期間、輸送等に要する経費(輸送費、保険料等)の負担及び資料の評価額を事前に所有者と協議すること。

- 2 資料を預かる場合は、資料預かり書(様式第6号)を所有者に交付し、資料預かり簿(様式第7号)に、資料名、所有者、預かり期間、担当者等の必要事項を記載すること。
- 3 やむを得ず、預かり期間を延長する必要がある場合は、所有者と協議のうえ決定すること。

(資料収集委員会及び価格評価委員会)

第8条 資料の収集にあたって、県は資料収集委員会(以下「収集委員会」という。)を設置する。また、価格評価にあたっては価格評価委員会(以下「評価委員会」という。)を設置する。

- 2 収集委員会及び評価委員会に関する事項は別に定める。

(収集)

第9条 県は収集委員会及び評価委員会が提出する答申に基づいて収集の可否を判断する。

(資料の管理)

第10条 収集した資料は美術館・博物館に収蔵し、管理は美術館・博物館の指定管理者がそれぞれ行う。

長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱（市資料分）

（目的）

第1条 この要綱は、長崎市が長崎歴史文化博物館(以下「博物館」という。)において取得、保管及び活用する資料について必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この要綱において、取得とは長崎市が購入、又は寄贈もしくは寄託を受けることをいう。

（取得する資料の範囲）

第3条 長崎市が博物館において保管活用するために取得する資料は次の各号のとおりとする。なお、資料の製作・伝来時期は、概ね長崎の開港から外国人居留地が廃止された時期とする。

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
- (2) 長崎奉行所に関する資料
- (3) 長崎の美術工芸資料
- (4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料

（事前調査）

第4条 市長は、資料を取得しようとするときは、事前に調査を行い、資料調書を作成しなければならない。

2 前項に規定する資料調書には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- (1) 名称(フリガナ)
- (2) 作家・著者
- (3) 生産地
- (4) 製作・伝来時期
- (5) コレクション・文庫等の名称
- (6) 員数(単位)
- (7) サイズ
- (8) 素材・技法
- (9) 形態・形状
- (10) 付属品
- (11) 箱・箱書き等
- (12) 署名・落款・印章・サイン・賛等
- (13) 文化財指定等の状況
- (14) 資料を取得することが望ましい理由
- (15) その他、市長が必要と認める事項

（資料の一時保管）

第5条 市長は、資料の事前調査及び取得に要する手続きを行う期間中、所有者の承諾を得て、取得しようとする資料を博物館に保管することができる。なお、必要な輸送費などの経費の負担については、市長と所有者で協議して定める。

2 前項の規定により資料を保管する場合は、市長は、所有者に預書(様式第1号)を発行しなければならない。

3 第1項の規定に基づき資料を保管する場合は、長崎市が所蔵する資料と同じ注意をもって保管するものとする。

（博物館資料取得委員会の設置）

第6条 資料の取得について、その適正を期するため、必要により長崎歴史文化博物館資料取得委員会(以下「取得委員会」という。)を置く。

(取得委員会の組織)

第7条 取得委員会は、資料の数量と内容に応じて委員2人以上20人以内をもって組織する。

2 取得委員会の委員(以下「委員」という。)は、次に掲げるすべての条件を満たす者のなかから市長が委嘱する。

- (1) 資料に関する学識を有する者
- (2) 人格高潔であり、公正な判断ができる者
- (3) 収集する資料に対する利害関係のない者

(委員の任期)

第8条 委員の任期は、当該審議及び報告が終了するまでの間とする。

(取得委員会の所掌事務)

第9条 取得委員会は、市長の求めに応じ、取得しようとする資料の学術的価値および価格について審議し、資料取得の是非及び価格を報告する。

2 前項に定める報告を行う場合、取得委員会は、次に掲げる事項を記載した資料の評価調書を作成し、委員全員が署名及び捺印して市長に提出しなければならない。

- (1) 名称(フリガナ)
- (2) 作家・著者
- (3) 生産地
- (4) 製作・伝来時期
- (5) コレクション・文庫等の名称
- (6) 員数(単位)
- (7) サイズ
- (8) 素材・技法
- (9) 形態・形状
- (10) 付属品
- (11) 箱・箱書き等
- (12) 署名・落款・印章・サイン・賛等
- (13) 文化財指定等の状況
- (14) 評価金額
- (15) その他、市長が必要と認める事項

(取得委員会の会長)

第10条 取得委員会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、取得委員会を代表する。

3 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(取得委員会の会議)

第11条 取得委員会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 取得委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 取得委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(謝礼金)

第12条 委員が取得委員会に出席した場合には、市長は委員に対して長崎市会計規則(昭和39年長崎市規則第21号。以下「会計規則」という。)が定める方法により、謝礼金を支払う。

(守秘義務)

第13条 委員は、取得委員会において知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。ただし、資料の所有者及び市長の許可を得た場合は、この限りではない。

(台帳への登載)

第14条 市長は、寄贈を受け、又は購入した資料につき博物館収蔵資料管理データベースに登載するとともに会計規則に定める備品台帳に登載し、常に保有を明らかにしておかなければならない。

2 市長は、寄託された資料を適切に管理するため、前項に規定する備品台帳に準じた台帳を別途作成しなければならない。

(管理の委託)

第15条 市長は、資料を取得したときはその旨を長崎県に通知し、長崎歴史文化博物館条例(平成16年長崎市条例第145号)第2条の規定により、当該資料の管理を長崎県に委託する。

(県との協議)

第16条 長崎市と長崎県が共同で資料を取得しようとするときは、この要綱にかかわらず長崎市と長崎県が協議しておこなう。

(取得に関する事務)

第17条 この要綱に規定する資料の取得に関する一切の事務は、文化観光部文化財課が処理する。

(委任)

第18条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は市長が定める。

附則

この要綱は、平成20年5月12日から施行する。

長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準

(目的)

第1条 この基準は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館(以下「美術館・博物館」という。)において収蔵し、展示する資料(以下「資料」という。)の管理について、必要な事項を定める。

(管理者)

第2条 資料の管理は、美術館・博物館の指定管理者(以下「指定管理者」という。)が行う。

2 指定管理者は、善良なる管理者の注意をもって、資料を適正に保存管理し、取り扱わなければならない。

(管理基準)

第3条 資料の適正な保存管理及び取扱については、次の基準による。

- (1)指定管理者は、資料を取り扱う職員及び保存担当の職員に必要な研修を行うこと。
- (2)美術館に収蔵する資料は、収蔵庫1、収蔵庫2、収蔵庫3、展示室、一時保管庫、城栄町収蔵庫(以下「美術館収蔵庫等」という。)で保管すること。博物館に収蔵する資料は、第1収蔵庫、第2収蔵庫、文書収蔵庫、展示室、一時保管庫(以下「博物館収蔵庫等」という。)で保管すること。
- (3)収蔵する資料は、その性質に応じて適正な温湿度に保つこと。
- (4)指定管理者は、美術館・博物館収蔵庫等の温湿度のデータを前月分のデータを翌月5日までに県に報告すること。
- (5)展示している資料については、毎日目視による点検を行い、それを記録すること。異常があるときは直ちに県に報告すること。
- (6)展示替え、貸し出し、修理等により資料を移動する場合は、県学芸員等の指示または立会により点検を行い、それを記録すること。
- (7)美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺は常時点検を行い清潔に保つこと。虫等が発見された場合は、直ちに必要な処置を行い、県に報告すること。
- (8)預かり等により新たに美術館・博物館に持ち込んだ資料は、必ず観察室に入れて虫や菌の付着がないか調査すること。必要な場合はくん蒸等の処置を行ってから保管すること。
- (9)鍵の管理、美術館・博物館収蔵庫等の入室者管理、夜間の警備は厳重に行うこと。
- (10)美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺に第三者が立ち入らないようにすること。開館時間中の展示室内には、警備員を配置して安全管理を図ること。

(指導助言)

第4条 県は、資料の管理状況を、随時点検するとともに、指定管理者に対して適切な指導助言を行う。

(資料の貸し出し)

第5条 指定管理者は、資料を借用しようとする者の主催する展覧会での出品を目的とし、その展覧会が公共性の高いものであると認められる場合、又は特に必要と認められる場合に限り、資料を貸し出すことができる。

2 貸し出しを許可するにあたって指定管理者は、あらかじめ県と協議しなければならない。

(貸し出しを許可する施設)

第6条 資料を貸し出すことのできるのは、次の条件を満たしている施設とする。

- (1)保管、展示場所の温湿度の管理が適正に行われていること。
- (2)資料の保管、展示に係る保安体制等が整っていること。
- (3)貸し出しする資料の取り扱いを適正に行うことができる学芸員等が配置されていること。

(貸し出し条件)

第7条 資料の貸し出しにあたっては、次の条件を付するものとする。

- (1)資料の取扱いについては、県及び美術館・博物館の学芸員の指示に従うこと。
 - (2)資料の展示先の施設についてのファシリティレポートを提出すること。
 - (3)寄託資料の貸し出しを受けようとする者は、自己の責任を持って、寄託者に承諾を得ること。
 - (4)資料の展示にあたっては、「長崎県美術館蔵」又は「長崎歴史文化博物館蔵」など、美術館・博物館に収蔵している資料であることを明記すること。寄託資料の場合は、寄託者の意思に従うこと。
 - (5)貸し出し先の負担により、適正な保険を付保すること。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(借用)

第8条 指定管理者は美術館・博物館での展示のために、他に所蔵する資料を借用することができる。但し、県において借用することが適当な場合は、県が借用の手続きを行う。

2 借用資料の管理については、第2条及び第3条に準じる。

(閲覧等)

第9条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料の閲覧及び特別閲覧(以下「閲覧等」という。)を許可することができる。

- (1)閲覧等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
- (2)展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
- (3)公序良俗に反する用途に供するために閲覧等が行われると認められる場合
- (4)その他、閲覧等を許可することが適当でないと認められる場合

2 閲覧等を許可するにあたって指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(閲覧等許可条件)

第10条 閲覧等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1)閲覧等は、原則として美術館・博物館内で、県及び美術館・博物館の学芸員等立会のもとで行うこと。
- (2)閲覧等にあたっては、県及び美術館・博物館学芸員等の指示に従うこと。

2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(写真利用等)

第11条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料写真の利用、撮影、模写・模造(以下「写真利用」等という)を許可することができる。

- (1)写真利用等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
- (2)展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
- (3)公序良俗に反する用途に供するために写真利用等が行われると認められる場合
- (4)その他、写真利用等を許可することが適当でないと認められる場合

2 写真利用等を許可するにあたって、指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(写真利用許可条件)

第12条 写真利用等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1)事前に申請した目的以外に使用しないこと。
- (2)寄託資料については、事前に所有者の承諾を得ること。
- (3)掲載等の場合には、「長崎県美術館蔵」及び「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
- (4)提供した写真等は、使用後速やかに美術館・博物館に返却すること。
- (5)新たに資料を撮影した場合、撮影したフィルム又は画像データを一部納付すること。
- (6)掲載等の場合には、その掲載誌紙を2部以上、美術館・博物館に無償で納付すること。
- (7)デジタルデータを使用した場合は、使用後必ずデータの削除を行うこと。
- (8)CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、二次使用が不可能な措置をすること。

2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様

1 維持管理の対象

博物館の敷地内及び建物全体とする。

2 要求水準

建物の点検等は、原則として国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」の最新版に基づき実施するものであるが、以下の点にも留意する必要がある。

(1)建築物一般に関する事項

- ア 屋根
 - ・漏水がない状態を保つこと。
 - ・瓦屋根の割れや浮き、ずれがないこと。
 - ・ルーフトレイン及び樋等が詰まっていないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
 - ・落ち葉、ごみ、砂等が集積していないこと。
- イ 外壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
- ウ 建具
 - ・可動部分が円滑に動くこと。
 - ・設計図書に定められた水密性、気密性、耐風圧性が保たれていること。
 - ・ガラスの破損、ひび割れがないこと。
 - ・自動扉は正常に作動すること。
 - ・開閉、施錠装置が正常に作動すること。
 - ・金属部分の錆、腐食がないこと。
- エ 天井、内壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・結露やカビが生じないこと。
- オ 床、階段
 - ・汚損やひび割れ、浮き、磨耗等がないこと。
 - ・展示や来館者の通行等に支障をきたさないこと。

(2)外構に関する事項

- ア 工作物
 - ・汚損や破損等がないこと。
 - ・門扉や塀等については、防犯対策に考慮し、良好な状態を保つこと。
- イ 植栽等
 - ・敷地内の緑樹を保護し、周辺環境と調和した景観を保持すること。
 - ・剪定、除草、施肥、散水及び害虫防除等を計画的に行い、植栽を良好な状態に保つこと。

(3)博物館特有の事項

設計図書(建築設計、展示設計)に定められた所用の性能及び機能を保ち、収蔵資料、展示資料及び来館者に支障をきたさないこと。

- ア 収蔵庫
 - ・室内環境について、仕上げ材の調湿性、断熱性、中性性を保持すること。
 - ・収蔵庫扉の耐火性及び気密性を保持すること。
 - ・収蔵棚等の維持管理を適切に行うこと。
- イ 展示室
 - ・展示造作物、展示機器等を、適切な状態に保つこと。
 - ・展示壁面について、展示替えに伴う修復を行うこと。
 - ・展示壁面について、しみや汚れがないこと。
- ウ 空調管理
 - ・収蔵庫、展示室内の環境管理を適切に行い、恒温恒湿状態を保つこと。
(展示ケース内も同様とする。)

(4)清掃に関する事項

施設の環境、衛生を維持し、博物館としての快適な空間を保つため、清掃業務を行う。目に見える埃、汚れがない状態を維持し、衛生的でなければならない。

ア 建物内清掃

- ・毎日実施する日常清掃は、できる限り博物館運営の妨げにならないように行う。
- ・清掃に使用する洗剤等は、展示資料に影響を及ぼす有害物質を発生しないものを使用すること。
- ・日常清掃とワックス塗布等の定期清掃を組み合わせ、館内の良好な環境を保つこと。

イ 外構清掃

- ・敷地内のごみ、落ち葉、泥汚れ等を除去し、敷地内の環境を良好に保つとともに、近隣に迷惑を及ぼさないようにすること。
- ・舗装面等に雑草が繁茂するのを除去すること。

ウ ごみの収集

- ・ごみは、所定の場所に集積し、保管すること。
- ・分別等は、長崎市の収集方法に従うこと。

(5)警備に関する事項

施設のすべての財産を保全するために、常駐警備及び機械警備による警備業務を実施すること。警備業務の詳細については、あらかじめ県と協議すること。

また、展示室では、展示資料の保全を図るために、監視員を配置する必要がある。

(6)保守管理記録の作成

施設の保守管理記録等を作成し保管すること。なお、修理等において設計図面に変更が生じた場合は、変更箇所を反映させておくこと。

- ・点検記録
- ・補修記録
- ・事故記録
- ・営繕工事完成図書

(7)緊急時、非常時の対応

施設内において破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合は、あらかじめ県と協議の上作成したマニュアルに従い、被害防止に必要な措置を取るとともに、県及び関係先へ至急報告すること。

台風等の事前に想定される非常事態の場合は、休館及び閉館の決定、一般人への周知方法、来館者対応、博物館職員等の対応、施設設備及び附属設備の運営等について、事前に県と協議を行うこと。また、定期連絡及び事後報告も行うこと。

3 業務内容

事業計画書を作成するにあたり、維持管理業務について想定される項目を次に掲げているので参考にすること。(追加すべき業務項目がある場合は、適宜、業務項目を追加すること。)

(1)保守管理運営業務

ア 施設全体の統括管理業務

建築物環境衛生管理技術者を配置し、建物管理の全体スケジュールの調整等を行うこと。

イ 環境衛生管理業務

- | | | | |
|--------------|-----------------|--------------|----------|
| ・空気環境測定 | 法定点検：6回／年(27箇所) | | |
| ・雑用水大腸菌群検査 | 法定点検：6回／年 | ・雑排水槽清掃 | 2回／年(法定) |
| ・雑用水PH測定 | 法定点検：2回／年 | ・ばい煙測定 | 2回／年(法定) |
| ・中水残留塩素測定 | 法定点検：1回／週 | ・グリーストラップ | 12回／年 |
| ・薫蒸装置保守点検 | 必要に応じ | ・プラスタートラップ清掃 | 2回／年 |
| ・(活性炭撤去及び廃棄) | 使用回数による | | |
| ・害虫駆除 | 法定点検 2回／年 | | |

ウ 設備常駐管理業務

- ・建物・設備の維持管理、操作盤監視、日常点検、電球交換等
1名以上常駐(8:00～17:00 1人、12:30～21:00 1人)

エ	清掃管理業務	
	・一般日常清掃	建物内を清潔に保つための日常清掃
	・特別清掃	ワックス掛け等の特殊清掃(床1回/月) (常設展示室：6回/年) (企画展示室：4回/年) ガラス清掃6回/年 (外部4回/年、内部1回/年)
オ	警備管理業務	常駐管理1名以上常駐(開館日1名(24H)) (休館日1名24H)
カ	電気設備点検保守業務	
	・受変電設備(年次・月次)	法定点検：12回/年
	・漏電測定	法定点検：12回/年
	・非常用発電機	法定点検：12回/年
キ	空調設備保守点検業務	
	・直焚吸収式冷温発生器	定期点検：6回/年
	・冷却式HPチラー	定期点検：1回/年
	・冷却塔(開放式)	定期点検：2回/年
	・水処理装置	定期点検：1回/年
	・冷却水管理装置	定期点検：1回/年
	・軟水装置	定期点検：1回/年
	・薬注ポンプユニット	定期点検：1回/年
	・蒸気ボイラー	定期点検：2回/年
	・ファンコイルユニット	定期点検：2回/年
	・パッケージエアコン	定期点検：2回/年
	・セパレートエアコン	定期点検：2回/年
	・空調機コンパクト型	定期点検：3回/年
	・空調機天吊型ほか	定期点検：2回/年
	・自動制御・中央監視装置	定期点検：2回/年
	・トイレ換気口点検	定期点検：12回/年
	・送・排風機	必要に応じ
	・中性能フィルター	フィルター交換：必要に応じ
	・ケミカルフィルター	フィルター交換：必要に応じ
ク	消防設備保守点検業務	法定点検：2回/年(機器点検・総合点検)
	・消火器、消火栓、自動火災警報機、非常放送、誘導灯等	定期点検等
ケ	昇降機設備業務(4基)	法定点検：12回/年
コ	給排水設備業務	
	・雨水濾過機	定期点検：2回/年
	・自動給水ポンプ	定期点検：1回/年
	・電気温水器	定期点検：12回/年

(2)その他付帯設備等に関する業務

ア	自動ドア装置保守点検	2回/年
イ	シャッター保守点検	1回/年
ウ	放送設備保守点検	2回/年
エ	電話交換機保守点検	2回/年
オ	調光装置設備保守点検	4回/年(うち自主2回)
カ	音響設備保守点検	1回/年
キ	駐車場料金システム保守点検	3回/年
ク	ながさきミュージアムネットワークシステム保守	12回/年 (ハードウェア保守、ソフトウェア更新)

(3)収蔵庫内等燻蒸 必要に応じ

(4)光熱水費等に係る業務

電気料金、ガス料金、水道料金、下水道料金に係る業務等

(5)その他当該施設の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

指定管理者の施設管理について、特に知事が必要と認める場合は、業務内容の変更・追加をすることがある。

(別紙3)

事業経費区分表

長崎歴史文化博物館における指定管理業務の遂行に要する事業経費の区分を以下のとおりとする。

■負担金等の対象となる業務経費

- 1 人件費(ショップ、レストラン等に係る従業員の人件費を除く)
- 2 施設維持管理業務費
 - (1)光熱水費
 - (2)施設維持管理費
 - ①施設設備保守点検費等
 - ②清掃、警備、樹木管理等
 - ③施設の修繕費・消耗品費
 - ④受付案内業務費等
- 3 事業活動費
 - (1)調査研究業務費
 - (2)教育普及・生涯学習支援業務費
 - (3)資料修復費等
- 4 その他、県が負担金で支出することが適当と認めた業務費

■利用料金等の対象となる業務経費

- 1 事業活動費
 - (1)展覧会及び展示事業費
 - ①常設展示、展示替えに係る経費
 - ②企画展示に係る経費
 - ③図録等の作成費
 - (2)業務経費
 - ①広報、マーケティング費用
 - ②寸劇、イベント等自主事業費
 - ③駐車場運営費
 - ④施設貸出業務費
 - (3)ボランティア経費
 - (4)ミュージアムショップ経費
 - (5)レストラン経費
- 2 その他
 - 博物館の管理運営に係る業務で、指定管理者が独自に実施する業務費

リスク分担表

リスクの種類	内 容	負担者	
		県	指定管理者
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○
周辺施設・住民及び施設利用者への対応	地域との協調		○
	施設管理、運營業務内容に対する住民及び施設利用者からの訴訟、反対や要望への対応		○
	上記以外	○	
法令の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす法令変更	○	
	上記以外		○
税制度の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす税制変更	○	
	一般的な税制変更		○
事業の変更	県の責めによる理由から、施設管理、運營業務の継続に支障が生じた場合、又は業務内容の変更を余儀なくされた場合の経費及びその後の維持管理経費における当該事情による増加経費負担	○	
	上記以外		○
不可抗力	不可抗力(暴風、豪雨、洪水、地震、落盤、火災、争乱、暴動、その他の県又は指定管理者のいずれの責めにも帰することのできない自然的又は人為的な現象)に伴う、施設、設備、資料の修復による経費の増加及び事業履行不能	○	
施設・設備の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
資料等の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
第三者への賠償	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外	○	
セキュリティ	警備不備による情報漏洩、犯罪発生		○
事業終了時の費用	指定管理者の期間が終了した場合又は期間中途における業務を廃止した場合における事業者の撤収費用		○

(別紙5)

個人情報取扱特記事項

(基本的事項)

第1 乙は、個人情報(個人に関する情報であつて、特定の個人を識別することができるものと認められるもの。以下同じ)の保護の重要性を認識し、指定管理業務を行うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

(秘密の保持)

第2 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。
この協定が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(収集の制限)

第3 乙は、指定管理業務を行うために個人情報を収集するときは、業務の目的を達成するために必要な範囲で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

(適正管理)

第4 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報について、盗難、漏えい、滅失及びき損の防止、乙内部における盗用の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

(目的外利用及び提供の禁止)

第5 乙は、甲が指示したときを除き、指定管理業務に関して知り得た個人情報を、協定の目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写又は複製の禁止)

第6 乙は、甲が承諾したときを除き、指定管理業務を行うため甲から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

(再委託の禁止)

第7 乙は、甲が承諾したときを除き、この協定による個人情報を取り扱う業務については、自ら行うものとし、第三者に委託してはならない。

(資料等の返還)

第8 乙は、指定管理業務を行うために甲から提供を受け、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、この協定の終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示するときはその指示に従うものとする。

(従事者への周知)

第9 乙は、指定管理業務に従事している者に対して、在職中及び退職後においても、当該業務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は当該業務の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知しなければならない。

(調査)

第10 甲は、乙が指定管理業務を行うに当たり、取り扱っている個人情報の状況について、随時調査することができる。

(立ち入り検査)

第11 甲は、必要と判断した場合には、乙が指定管理業務を遂行する事業所内部に立ち入り、その個人情報の管理

状況について検査することができる。この場合には、事前に乙に通知するものとするが、甲において緊急を要すると判断した場合には、事前の通知なく立ち入り検査を実施することができるものとする。

(事故報告)

第12 乙は、この協定に違反する事態もしくは事故が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、その指示に従うものとする。

(罰則)

第13(1)指定管理業務に従事していた者が在職中又は退職後に行った行為に関する刑罰

- ①指定管理業務に従事している者又は従事していた者(以下「従業員等」という。)が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書であって、個人の氏名、生年月日その他の記述等により当該個人を容易に検索することができるように体系的に構成されたもの(その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。)を提供したときは、2年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられる。(長崎県個人情報保護条例第63条)
- ②従業員等が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書(その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含み、前述のものを除く。)を提供したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処せられる。(同条例第64条)
- ③従業員等が、その業務に関して知り得た保有個人情報を、自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰則に処せられる。(同条例第65条)

(2)(1)の行為についての受託者に対する刑罰

従業員等がおこなった(1)の①から③までの行為については、乙(同条例第68条第1項の法人又は人をいう。)に対しても、①から③までに掲げられた罰金刑が科せられる。

長崎歴史文化博物館資料の貸し出しに関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の貸し出しに関し、必要な事項を定めるものとする。

(資料の借用願)

第2条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の借用を受けようとする者は、長崎歴史文化博物館資料借用申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項による申請書類のほかに、次に挙げる書類を提出しなければならない。

- (1) 施設案内（リーフレット、ガイドブックなど）
- (2) 展示室写真もしくは図面
- (3) ファシリティレポート
- (4) 企画展又は展覧会の概要
- (5) 輸送方法及び輸送計画

(借用の許可)

第3条 館長は、前条の申請があったときは、当該申請者が次の各号の一に該当し、かつ当該貸出が博物館の業務に支障がないものと認められるときは、長崎県と協議し承認を受けた後に、申請の許可をするものとする。

- (1) 博物館法（昭和29年法律第285号）第2条の規定による登録を受け、又は同法第29条の規定により博物館に該当する施設として都道府県の教育委員会の指定を受けたものであるとき
- (2) 資料の貸し出しを受けようとするものが、国又は地方公共団体の設置する博物館、美術館又はこれらに準ずる施設であるとき
- (3) その他館長が特に適当と認めたとき

(貸出許可証の発行)

第4条 館長は、前条の貸し出しの許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料貸出許可証（様式第2号）を発行する。

(貸出の期間)

第5条 資料の貸し出し期間は、輸送日を含めて3ヶ月以内とする。ただし、館長が特別に認めたときは、この限りではない。

(貸出の条件)

第6条 資料の貸し出しの許可を受けたものは、次の各号に掲げる貸し出しの条件を遵守しなければならない。

- (1) 貸し出しを受けた資料は、取り扱いに細心の注意を払うとともに、博物館が指示する条件のもので展示し、または保管すること。
- (2) 資料の借用に関しては、博物館が指定する金額によるドア・ツー・ドアの保険をかけるものとする。
- (3) 貸し出しを受けた資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料を現状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償すること
- (4) 当該資料の輸送及び維持管理に要する経費の一切を負担すること
- (5) 当該資料の写真撮影、模写、模造及び印刷物掲載等については、あらかじめ、館長の承認を受けること
- (6) 当該資料を貸し出しの許可に係る使用目的以外に使用し、又は展示場所及び保管場所を変更しないこと
- (7) 貸し出し期間満了の日までに指定された場所に返還すること
- (8) 資料の返還後、展示の様子が分かる写真及び、展覧会図録を2部以上提出すること。
- (9) 前各号に掲げられるもののほか、館長が指示する事項

(資料の引渡し及び返還)

第7条 資料の引渡し及び返納については原則として博物館で行うものとする。

2 資料の借用の許可を受けたものは、当該資料の引渡しを受ける際、長崎歴史文化博物館資料借用書（様式第3号）を館長に提出しなければならない。

- 3 資料の引渡しをする際には、両者立会いのもと、資料の破損等を確認し、検査調査書を作成するものとする。
- 4 館長は、資料の返還を受けたときは、貸出を受けたものに資料借用書を返却するものとする。
- 5 第2項の引渡し及び返還は、当事者双方において貸与した資料の破損等を、引渡し前に記入した検査調査書と確認したうえで行うものとする。

(貸出料)

第8条 資料の貸出しは、無料とする。

(返還請求)

第9条 館長は、資料の貸出しを受けたものが次の各号の一つに該当したときは、貸出期間にかかわらず貸出した資料の返還を請求することができる。

- (1) 第6条の規定に違反したとき
- (2) 館長が指示した事項に従わないとき

(委任)

第10条 この規定に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

(様式第1号) 年 月 日

長崎歴史文化博物館資料借用申請書

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名) 様

申請者 住所

代表者氏名 印

電話

FAX

(担当者氏名)

貴館が収蔵する資料について下記のとおり貸し出しを受けたいので申請いたします。

記

	資料名	資料番号	数量	備 考
借用を希望する資料 ※欄に記入できないときは別添すること。				
借用期間	年 月 日 から 年 月 日迄			
借用目的				

加 蓋			
--------	--	--	--

承認					
供 覧					

(様式第2号) 長崎歴史文化博物館 第 号
年 月 日

長崎歴史文化博物館資料貸出許可証

(申請者) 様

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名)

年 月 日付で申請のあった資料の貸し出しについては、下記の条件より許可いたします。

記

	資料名	資料番号	数量	備 考
許 可 資 料				
期 間	年 月 日 から 年 月 日迄			
借 用 目 的				
引 渡 及 び 返 却 先	長崎歴史文化博物館			
条 件	① 長崎歴史文化博物館資料の貸し出しに関する規程を遵守すること ② 展示の際、「長崎歴史文化博物館」と明示すること ③ 資料の取扱いについては学芸員の指示に従うこと ④			
備 考				

長崎歴史文化博物館資料特別閲覧に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の閲覧および特別閲覧について必要な事項を定めるものとする。

(資料の閲覧)

第2条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の閲覧および特別閲覧を受けようとする者（以下「閲覧者」という）は、原則として閲覧希望日の10日前までに長崎歴史文化博物館資料特別閲覧申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 館長は、前項による申請内容について必要があると認めるときは、その他の関係書類の提出を求め、又は事情聴取を行うものとする。

3 特別閲覧が必要な資料については別途定めるものとする。

(特別閲覧の許可)

第3条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、特別閲覧を許可する。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき
- (2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき
- (3) 公序良俗に反すると認められるとき
- (4) 過去において、第8条の規定による損害を与えたもの、又は第9条の規定による特別閲覧の取り消しを受けたものであるとき。
- (5) その他館長が特に不適切であると認めるとき

(特別閲覧許可の発行)

第4条 館長は、第3条の特別閲覧の承認をしたときは、長崎歴史文化博物館資料特別閲覧許可証（様式第2号）（以下「許可証」という）を発行するものとする。

2 特別閲覧を許可しない場合も、その理由を付した文書をもって通知するものとする。

(特別閲覧の時間等)

第5条 特別閲覧のできる時間は原則として午前9時30分から午後6時までとする。

(特別閲覧の条件)

第6条 閲覧者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

- (1) 職員の立会いのもとで閲覧すること
- (2) 閲覧中は職員の指示に従うこと
- (3) 承認を受けていないものを同伴しないこと

(特別閲覧の開始及び終了)

第6条 閲覧者は、特別閲覧当日に発行された許可証を持参しなければならない

(損害賠償)

第7条 閲覧者は、この規程に違反し、又は故意若しくは過失により閲覧を許可された資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料等を原状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償しなければならない。

(特別閲覧の取消)

第8条 館長は、閲覧者がこの規程に違反し、又は不都合な行為があると認めるときは、直ちに閲覧の許可を取り消し、必要な措置を講じることができる。

(委任)

第9条 この規程に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

(様式第1号)

年 月 日

長崎歴史文化博物館資料特別閲覧申請書

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名) 様

申請者 住所

所属
氏名
電話

印

長崎歴史文化博物館が収蔵する資料に関して、特別閲覧を希望するので申請いたします。

記

閲覧希望資料			
特別閲覧の目的 (閲覧資料の使用内容や 研究内容など)			
閲覧希望日	第一希望	年 月 日	
	第二希望	年 月 日	
閲覧希望時間 (9:30~18:00の間で記入)	時 分 から 時 分 まで		
備考			

※同伴者がいる場合は、備考欄に記入してください。

協			
理			

	館長	統括Mg	研究所長	リーダー	担当
承認					

(様式第2号)

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名) 様

長崎歴史文化博物館資料特別閲覧許可証

(申請者) 様

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名)

年 月 日付で申請のあった資料の特別閲覧について、下記の条件にて許可します。

記

閲覧を許可する資料名	
閲覧の目的及び 内	
閲覧承認日	年 月 日
閲覧承認時間	時 分 から 時 分 まで
閲覧場所	長崎歴史文化博物館 ()
閲覧の条件	① 長崎歴史文化博物館資料特別閲覧に関する規程を遵守すること ② 当館職員の指示に従うこと ③
備考	

※特別閲覧当日は、この用紙を持参してください。

長崎歴史文化博物館資料撮影および画像利用に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）における資料撮影および画像利用に関して、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 ここで定める写真利用等とは、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用等」という）をいうものとし、画像とは、博物館に収蔵する資料のポジフィルム、ネガフィルム、デジタルデータなどのフィルム原版（以下「画像」という）をいうものとする。

(資料の撮影および画像利用願)

第3条 博物館が収蔵する資料の写真利用等を希望する者は、資料の写真撮影を希望する場合は長崎歴史文化博物館資料撮影申請書（様式第1号）を、画像の利用を希望する場合は長崎歴史文化博物館画像利用申請書（様式第2号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、許可を受けなければならない。

(資料撮影および画像利用の許可)

第4条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、資料撮影および画像利用を許可する。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき
- (2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき
- (3) 公序良俗に反する用途に供すると認められるとき
- (4) 寄託資料について、所有者の承諾が得られないとき
- (5) その他館長が特に不適切であると認めたとき

(許可証の発行)

第5条 館長は、前条の利用の許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料撮影許可証（様式第3号）、または長崎歴史文化博物館画像利用許可証（様式第4号）を発行する。

(資料撮影および画像利用の条件)

第6条 資料撮影および画像利用の許可を受けた者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

- (1) 申請時以外の用途には使用しないこと。
- (2) 雑誌、印刷物等に掲載する場合は、「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
- (3) 掲載等の場合は、その印刷物及び、掲載誌等を2部以上、博物館に無償で納付すること。
- (4) 当該画像を複製し、第三者に譲渡しないこと。
- (5) 利用目的等が申請時の内容と変更になるときは、速やかに博物館に申し出ること。
- (6) 撮影した画像を再度利用しようとする場合は、必ず博物館に申請すること。
- (7) 当該画像は申請者側で責任を持って保管し、損失等のないように管理すること。
- (8) 当該画像の使用期間を守り、使用後は速やかに博物館まで返却すること。
- (9) 原則として撮影後のデータ及びフィルムはすべて博物館へ納付すること。
- (10) デジタルデータを使用した場合は、使用後必ずデータの削除を行うこと。
- (11) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、2次使用が不可能な措置を設定すること。
- (12) その他、館長が指示する事項

(画像の引渡し及び返却)

第7条 利用する画像の引渡し及び返却方法については、申請者の負担により次の各号に掲げる方法をとることとする。

- (1) 直接博物館で引渡し及び返却を行う。
- (2) 簡易書留または宅配便により引渡し及び返却を行う。
- (3) 電子メールによって引渡しを行う。ただし、電子メールの場合は、申請者側で使用後のデータ削除を必ず行うこと。
- (4) その他、適切と思われる方法による。

2 申請者は、利用した画像の返却を行った際に、前条に挙げた印刷物及び掲載誌を館長まで納付しなければならない。ただし、返却期日までに印刷物等が完成していない場合は、完成次第博物館に納付すること。

(写真の使用料および撮影料)

第8条 写真の使用料については別途定めるものとする。

2 使用料の支払については、写真使用期間中に支払うこと。

3 支払い方法については、郵便為替もしくは現金書留による支払いとする。

(損害賠償)

第9条 資料の撮影および画像利用に関して、当該規定を遵守せずに博物館に損害が認められた場合は、申請者はその賠償責任を負うこととする。

(委任)

第10条 この規程に定めるもののほか、必要な事項については、館長が別に定める。

附 則

この規定は、平成17年11月3日から施行する。

この規定は、平成19年4月1日から施行する。

(様式第1号) 年 月 日

長崎歴史文化博物館資料撮影申請書

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名) 様

申請者 住所
所属
代表者氏名 印
電話
Fax
(担当者名)

下記のとおり撮影したいので申請いたします。

記

資料名				
撮影形態	カメラ(デジタル・フィルム) ・ VTR ・ その他 ()			
撮影希望日	年 月 日 時 分 より			
撮影目的				
掲載媒体	<input type="checkbox"/> ポスター・チラシ <input type="checkbox"/> 展示パネル <input type="checkbox"/> 図録 <input type="checkbox"/> 書籍・雑誌(名称) <input type="checkbox"/> その他()			
備考				

承認	館長	統括Mg	研究所長	リーダー	費管担当

(様式第3号) 長崎歴史文化博物館 第 号
年 月 日

長崎歴史文化博物館資料撮影許可証

(申請者) 様 長崎歴史文化博物館
館長 (氏名)

年 月 日付で申請のあった資料の撮影について、下記の条件にて許可します。

記

資料名	画像名	数量	形態
			カメラ(デジタル・フィルム) VTR・その他()
			カメラ(デジタル・フィルム) VTR・その他()
			カメラ(デジタル・フィルム) VTR・その他()
撮影予定日	年 月 日		時 分 より
撮影目的			
利用条件	① 使用の際、「長崎歴史文化博物館蔵」と明示すること。 ② 撮影に関しては、当館職員の指示に従うこと。 ③ その他、博物館の指示に従うこと。 ④		
備考			

(様式第2号) 年 月 日

長崎歴史文化博物館画像利用申請書

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名) 様

申請者 住所
所属
代表者氏名 印
電話
Fax
(担当者名)

下記のとおり利用したいので申請いたします。

記

資料名				
利用形態	デジタル ・ ポジフィルム ・ ネガフィルム ・ その他 ()			
受取希望日	年 月 日	返却予定日	年 月 日	
利用目的				
掲載物	<input type="checkbox"/> ポスター・チラシ <input type="checkbox"/> 展示パネル <input type="checkbox"/> 図録 <input type="checkbox"/> 書籍・雑誌(名称) <input type="checkbox"/> その他()			
備考				

承認	館長	統括Mg	研究所長	リーダー	費管担当

(様式第4号) 長崎歴史文化博物館 第 号
年 月 日

長崎歴史文化博物館画像利用許可証

(申請者) 様 長崎歴史文化博物館
館長 (氏名)

年 月 日付で申請のあった画像の利用について、下記の条件にて許可します。

記

資料名	画像名	数量	形態
受渡予定日	年 月 日	返却予定日	年 月 日
利用目的			
引渡し方法			
利用条件	① 使用の際、「長崎歴史文化博物館蔵」と明示すること。 ② 使用目的の変更があったときは速やかに博物館まで届け出ること。 ③ 使用後は必ずデータの削除を行うこと。 ④		
備考			

平成21・22年度

長崎歴史文化博物館年報

2011年6月発行

編集・発行 長崎歴史文化博物館

〒850-0007 長崎市立山1-1-1

TEL 095-818-8366 FAX 095-818-8407

印刷

株式会社 インテックス